

令和元年度

全国体力・運動能力、 運動習慣等調査

報告書



令和2年3月
福岡県教育委員会

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「報告書」

目 次

I	調査の概要	1
II	児童生徒に対する調査結果の概要	
II-1	実技に関する調査	2
(1)	体力合計点及び総合評価の算出方法	2
(2)	体力合計点の調査結果の概要	4
(3)	体力合計点の全国及び福岡県の状況	4
(4)	体力合計点平均値の推移	4
(5)	体力合計点の各地区の状況	6
(6)	各種目の状況（T得点）	7
(7)	総合評価の状況	9
(8)	市町村別の状況	11
II-2	児童生徒に対する質問紙調査	27
(1)	運動やスポーツに対する意識	27
○	児童生徒質問紙「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答	
(2)	1週間の総運動時間	30
○	児童生徒質問紙「体育（保健体育）の授業以外で運動やスポーツをどれくらいしていますか」の回答	
(3)	体育（保健体育）の授業に対する意識	33
○	児童生徒質問紙「体育（保健体育）の授業は楽しいですか」の回答	
○	児童生徒質問紙「目標・振り返る・助け合う・話し合う活動を行っていますか」の回答	
III	学校に対する調査結果の概要	39
○	学校質問紙「目標・振り返る・助け合う・話し合う取組を取り入れていますか」の回答	
○	学校質問紙「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の活用状況」の回答	
IV	児童生徒の体力低下の背景について	42
○	1週間の総運動時間の推移	42
○	1日のスクリーンタイムの推移	43
○	肥満傾向・痩身傾向の出現率の推移	44
○	朝食を食べない児童生徒の推移	45
V	テーマ分析「1週間の総運動時間60分未満の児童生徒の特徴」	46
VI	今後に向けて	53

【注意】

「II-1 実技に関する調査」については、政令市（福岡市・北九州市）も含んだデータとなっていますが、「II-2 児童生徒に対する質問紙調査」以降については、政令市（福岡市・北九州市）を除いたデータとなっています。

I 調査の概要

I－1 調査の目的

I－2 調査対象の児童生徒

I－3 調査事項

I－4 調査実施時期

I－5 調査参加状況（政令指定都市を含む公立学校）



I 調査の概要

I-1 調査の目的

- (1) 子供の体力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が全国的な状況との関係において自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

I-2 調査対象の児童生徒

※ 国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象。

- (1) 児童
小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生全員
- (2) 生徒
中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の2年生全員

ただし、特別支援学校及び小学校、中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒については、その障がいの状態等を考慮して、参加の是非を適切に判断する。

I-3 調査事項

- (1) 実技に関する調査

実 技 種 目 (小・中各8種目)
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン【中学校は持久走(男子1500m、女子1000m)との選択可】、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ【中学校はハンドボール投げ】

- (2) 質問紙調査に関する調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
運動意欲、運動習慣、生活習慣、体育科・保健体育科の学習状況等に関する調査	体力向上に関する取組、体育科・保健体育科の学習指導状況等に関する調査

I-4 調査実施時期

- (1) 実 技 調 査：平成31年4月から令和元年7月末まで
- (2) 質 問 紙 調 査：調査票到着から7月末まで
(児童生徒・学校)

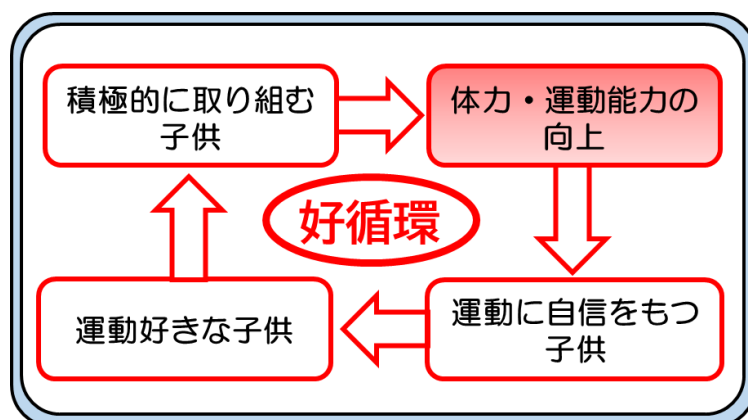
I-5 調査参加状況 (政令指定都市を含む公立学校) ※体力合計点標本数

小 学 校	標 本 数	中 学 校	標 本 数
男	福岡県 21,069	男	福岡県 17,377
子	全 国 495,427	子	全 国 417,526
女	福岡県 20,453	女	福岡県 16,835
子	全 国 479,536	子	全 国 401,891

Ⅱ 児童生徒に対する調査結果の概要

Ⅱ－１ 実技に関する調査

- (１) 体力合計点及び総合評価の算出方法
- (２) 体力合計点の調査結果の概要
- (３) 体力合計点の全国及び福岡県の状況
- (４) 体力合計点平均値の推移
- (５) 体力合計点の各地区の状況
- (６) 各種目の状況（T 得点）
- (７) 総合評価の状況
- (８) 市町村別の状況



Ⅱ 児童生徒に対する調査結果の概要

Ⅱ－１実技に関する調査

(１) 体力合計点及び総合評価の算出方法

★種目別得点表★

○小学校男子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
10	26kg以上	26回以上	49cm以上	50点以上	80回以上	8.0秒以下	192cm以上	40m以上
9	23～25	23～25	43～48	46～49	69～79	8.1～8.4	180～191	35～39
8	20～22	20～22	38～42	42～45	57～68	8.5～8.8	168～179	30～34
7	17～19	18～19	34～37	38～41	45～56	8.9～9.3	156～167	24～29
6	14～16	15～17	30～33	34～37	33～44	9.4～9.9	143～155	18～23
5	11～13	12～14	27～29	30～33	23～32	10.0～10.6	130～142	13～17
4	9～10	9～11	23～26	26～29	15～22	10.7～11.4	117～129	10～12
3	7～8	6～8	19～22	22～25	10～14	11.5～12.2	105～116	7～9
2	5～6	3～5	15～18	18～21	8～9	12.3～13.0	93～104	5～6
1	4kg以下	2回以下	14cm以下	17点以下	7回以下	13.1秒以上	92cm以下	4m以下

○小学校女子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
10	25kg以上	23回以上	52cm以上	47点以上	64回以上	8.3秒以下	181cm以上	25m以上
9	22～24	20～22	46～51	43～46	54～63	8.4～8.7	170～180	21～24
8	19～21	18～19	41～45	40～42	44～53	8.8～9.1	160～169	17～20
7	16～18	16～17	37～40	36～39	35～43	9.2～9.6	147～159	14～16
6	13～15	14～15	33～36	32～35	26～34	9.7～10.2	134～146	11～13
5	11～12	12～13	29～32	28～31	19～25	10.3～10.9	121～133	8～10
4	9～10	9～11	25～28	25～27	14～18	11.0～11.6	109～120	6～7
3	7～8	6～8	21～24	21～24	10～13	11.7～12.4	98～108	5
2	4～6	3～5	18～20	17～20	8～9	12.5～13.2	85～97	4
1	3kg以下	2回以下	17cm以下	16点以下	7回以下	13.3秒以上	84cm以下	3m以下

★総合評価基準★

○小学校男女共通

段階	6歳(1年)	7歳(2年)	8歳(3年)	9歳(4年)	10歳(5年)	11歳(6年)
A	39以上	47以上	53以上	59以上	65以上	71以上
B	33～38	41～46	46～52	52～58	58～64	63～70
C	27～32	34～40	39～45	45～51	50～57	55～62
D	22～26	27～33	32～38	38～44	42～49	46～54
E	21以下	26以下	31以下	37以下	41以下	45以下

【種目別得点表について】

- ・全学年男女別種目別に、10段階に分けて得点化している。

【体力合計点について】

- ・上掲の種目別得点表から、実技8種目の合計得点を算出した数値である。
(10点満点×8種目＝80点満点)

【総合評価基準について】

- ・体力合計点を年齢(学年)に応じた小学校男女共通の総合評価基準にあてはめ、総合評価(A～E)を判定する。
- ・総合評価については、実技8種目すべてを実施した場合に判定するものとする。

★種目別得点表★

○中学校男子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドール投げ
10	56kg以上	35回以上	64cm以上	63点以上	4'59"以下	125回以上	6.6秒以下	265cm以上	37m以上
9	51～55	33～34	58～63	60～62	5'00"～5'16"	113～124	6.7～6.8	254～264	34～36
8	47～50	30～32	53～57	56～59	5'17"～5'33"	102～112	6.9～7.0	242～253	31～33
7	43～46	27～29	49～52	53～55	5'34"～5'55"	90～101	7.1～7.2	230～241	28～30
6	38～42	25～26	44～48	49～52	5'56"～6'22"	76～89	7.3～7.5	218～229	25～27
5	33～37	22～24	39～43	45～48	6'23"～6'50"	63～75	7.6～7.9	203～217	22～24
4	28～32	19～21	33～38	41～44	6'51"～7'30"	51～62	8.0～8.4	188～202	19～21
3	23～27	16～18	28～32	37～40	7'31"～8'19"	37～50	8.5～9.0	170～187	16～18
2	18～22	13～15	21～27	30～36	8'20"～9'20"	26～36	9.1～9.7	150～169	13～15
1	17kg以下	12回以下	20cm以下	29点以下	9'21"以上	25回以下	9.8秒以上	149cm以下	12m以下

○中学校女子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドール投げ
10	36kg以上	29回以上	63cm以上	53点以上	3'49"以下	88回以上	7.7秒以下	210cm以上	23m以上
9	33～35	26～28	58～62	50～52	3'50"～4'02"	76～87	7.8～8.0	200～209	20～22
8	30～32	23～25	54～57	48～49	4'03"～4'19"	64～75	8.1～8.3	190～199	18～19
7	28～29	20～22	50～53	45～47	4'20"～4'37"	54～63	8.4～8.6	179～189	16～17
6	25～27	18～19	45～49	42～44	4'38"～4'56"	44～53	8.7～8.9	168～178	14～15
5	23～24	15～17	40～44	39～41	4'57"～5'18"	35～43	9.0～9.3	157～167	12～13
4	20～22	13～14	35～39	36～38	5'19"～5'42"	27～34	9.4～9.8	145～156	11
3	17～19	11～12	30～34	32～35	5'43"～6'14"	21～26	9.9～10.3	132～144	10
2	14～16	8～10	23～29	27～31	6'15"～6'57"	15～20	10.4～11.2	118～131	8～9
1	13kg以下	7回以下	22cm以下	26点以下	6'58"以上	14回以下	11.3秒以上	117cm以下	7m以下

★総合評価基準★

○中学校男女共通

段階	12歳(中1)	13歳(中2)	14歳(中3)	15歳(高1)	16歳(高2)	17歳(高3)
A	51以上	57以上	60以上	61以上	63以上	65以上
B	41～50	47～56	51～59	52～60	53～62	54～64
C	32～40	37～46	41～50	41～51	42～52	43～53
D	22～31	27～36	31～40	31～40	31～41	31～42
E	21以下	26以下	30以下	30以下	30以下	30以下

【種目別得点表について】

- ・全学年男女別種目別に、10段階に分けて得点化している。（小学校とは得点基準が異なる）

【体力合計点について】

- ・上掲の種目別得点表から、実技8種目の合計得点を算出した数値である。
（10点満点×8種目＝80点満点）

【総合評価基準について】

- ・体力合計点を年齢（学年）に応じた中学校男女共通の総合評価基準にあてはめ、総合評価（A～E）を判定する。
- ・総合評価については、実技8種目すべてを実施した場合に判定するものとする。

(2) 体力合計点の調査結果の概要

令和元年度	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
福岡県体力合計点平均値	54.41	55.96	43.20	50.52
全国体力合計点平均値	53.61	55.59	41.69	50.22
全国平均値との差	+0.80	+0.37	+1.51	+0.30

※体力合計点の算出方法については、P2・P3を参照のこと

(3) 体力合計点の全国及び福岡県の状況

【全国の状況】

- 体力合計点平均値については、小学校男女及び中学校男女すべての区分で昨年度を下回った。
- 小学校5年生男子は平成20年度の本調査開始以降で最低値であった。

【福岡県の状況】

- 体力合計点平均値については、小学校男女及び中学校男女すべての区分で昨年度を下回った。
- 小学校男子は5年連続、中学校男子は4年連続、小・中学校女子は3年連続で県平均値が全国平均値を上回った。

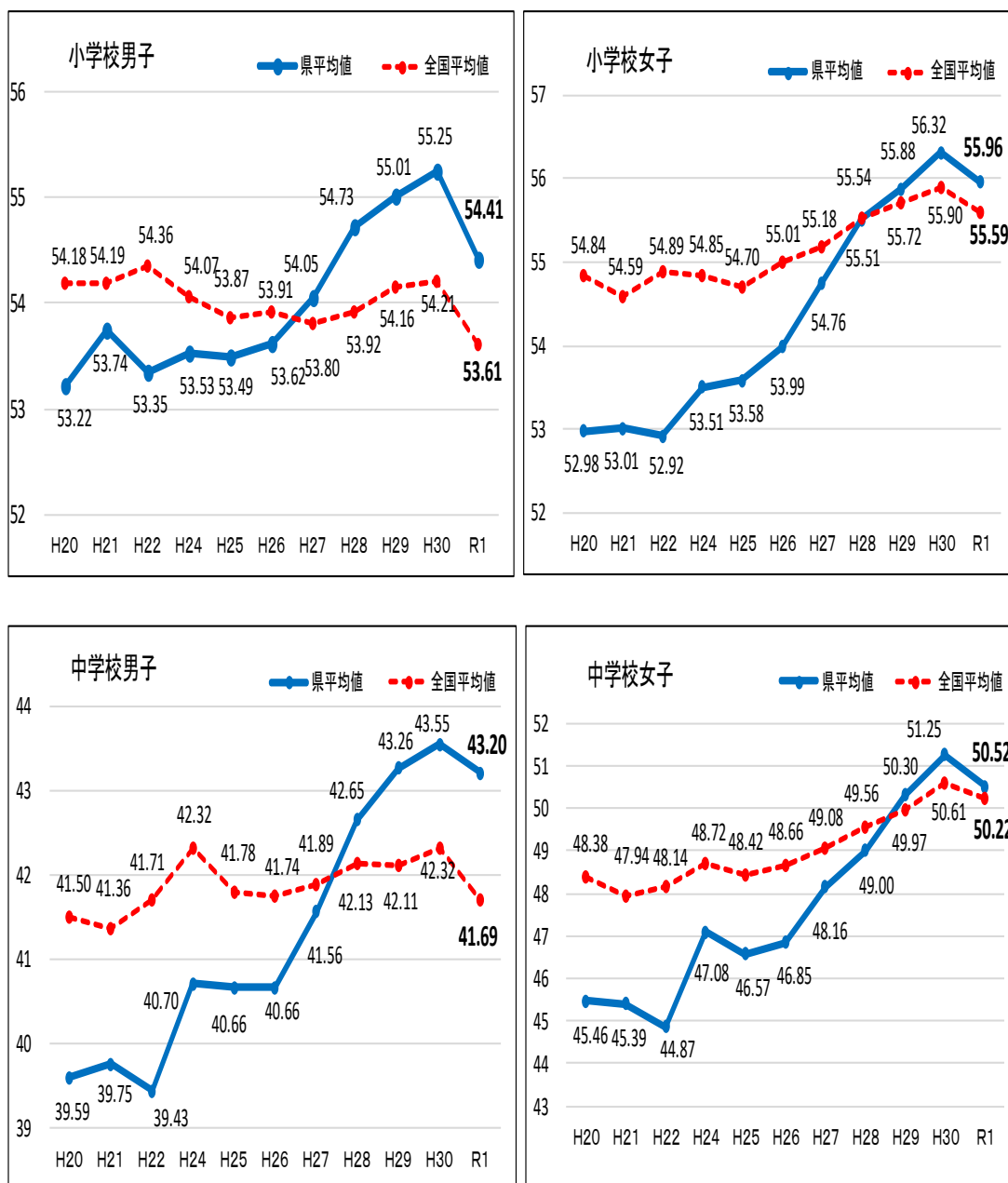
※ 平成20年度から実施されている本調査については、平成20・21・25・26・27・28・29・30年度は悉皆調査、平成22・24年度は抽出調査であった。なお、平成23年度は震災の影響により国が調査を実施しなかった。

(4) 体力合計点平均値の推移

ア 調査開始以降の県平均値と全国平均値との差の推移（表）

小学校男子	年度	県平均値	全国平均値	差
	H20	53.22	54.18	-0.96
	H21	53.74	54.19	-0.45
	H22	53.35	54.36	-1.01
	H24	53.53	54.07	-0.54
	H25	53.49	53.87	-0.38
	H26	53.62	53.91	-0.29
	H27	54.05	53.80	0.25
	H28	54.73	53.92	0.81
	H29	55.01	54.16	0.85
	H30	55.25	54.21	1.04
	R1	54.41	53.61	0.80
小学校女子	年度	県平均値	全国平均値	差
	H20	52.98	54.84	-1.86
	H21	53.01	54.59	-1.58
	H22	52.92	54.89	-1.97
	H24	53.51	54.85	-1.34
	H25	53.58	54.70	-1.12
	H26	53.99	55.01	-1.02
	H27	54.76	55.18	-0.42
	H28	55.51	55.54	-0.03
	H29	55.88	55.72	0.16
	H30	56.32	55.90	0.42
	R1	55.96	55.59	0.37
中学校男子	年度	県平均値	全国平均値	差
	H20	39.59	41.50	-1.91
	H21	39.75	41.36	-1.61
	H22	39.43	41.71	-2.28
	H24	40.7	42.32	-1.62
	H25	40.66	41.78	-1.12
	H26	40.66	41.74	-1.08
	H27	41.56	41.89	-0.33
	H28	42.65	42.13	0.52
	H29	43.26	42.11	1.15
	H30	43.55	42.32	1.23
	R1	43.20	41.69	1.51
中学校女子	年度	県平均値	全国平均値	差
	H20	45.46	48.38	-2.92
	H21	45.39	47.94	-2.55
	H22	44.87	48.14	-3.27
	H24	47.08	48.72	-1.64
	H25	46.57	48.42	-1.85
	H26	46.85	48.66	-1.81
	H27	48.16	49.08	-0.92
	H28	49.00	49.56	-0.56
	H29	50.30	49.97	0.33
	H30	51.25	50.61	0.64
	R1	50.52	50.22	0.30

イ 調査開始以降の県平均値と全国平均値との差の推移（グラフ）



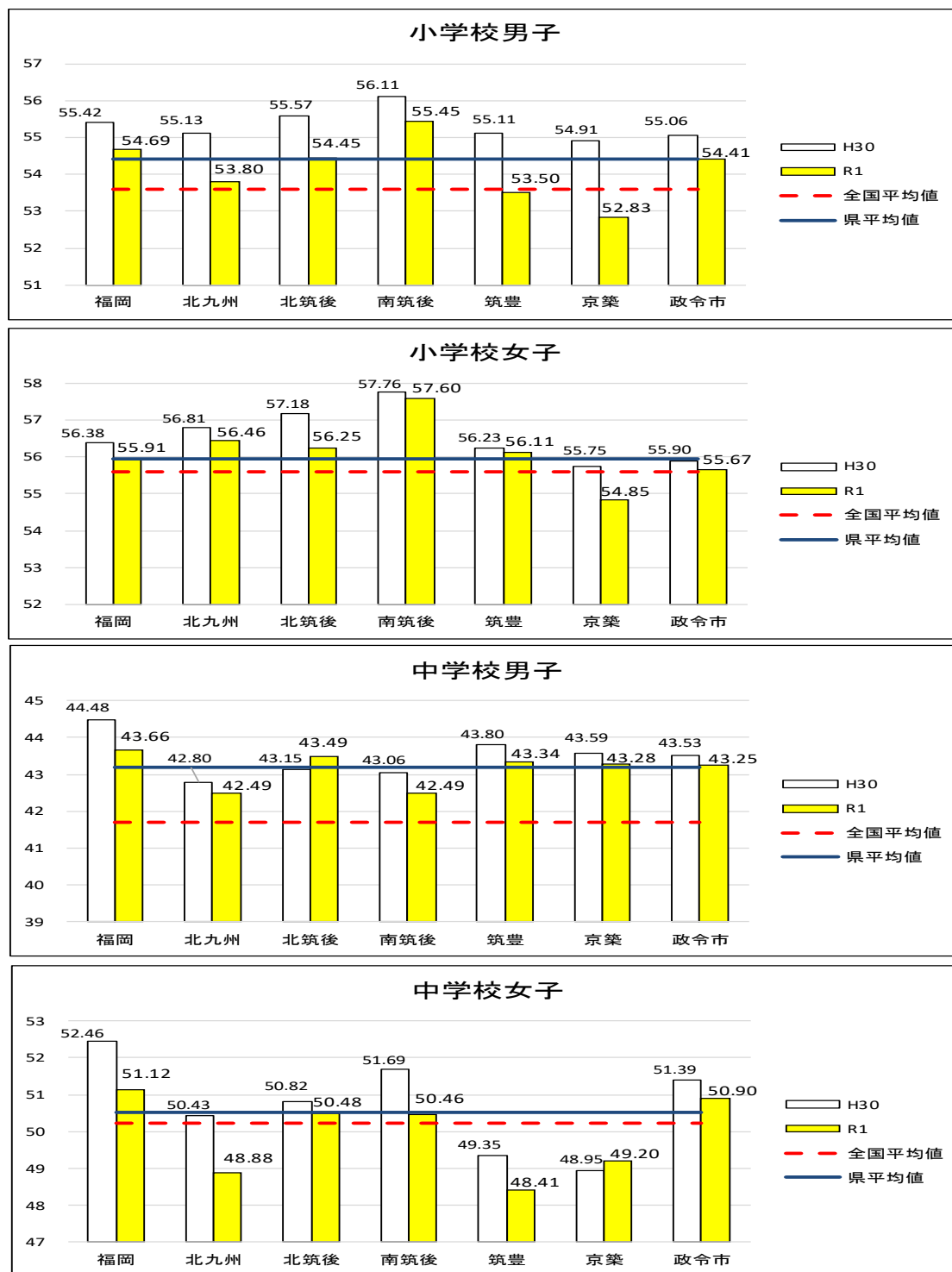
【小学校】

- 平成20年度との比較では、男子が1.19点、女子が2.98点向上した。
- また、男子においては、5年連続で全国平均値を上回り、全国との差は0.80点であった。女子においては、3年連続で全国平均値を上回り、全国との差は0.37点であった。

【中学校】

- 平成20年度との比較では、男子が3.61点、女子が5.06点向上した。
- また、男子においては、4年連続で全国平均値を上回り、全国との差は1.51点で本調査開始以降最大であった。女子においては、3年連続で全国平均値を上回り、全国との差は0.30点であった。

(5) 体力合計点の各地区の状況



※ 県内を6つの教育事務所と政令市（福岡市・北九州市）の7つの地区に分けて分析した。

【本年度における全国との比較】

- 小学校男子は、福岡・北九州・北筑後・南筑後・政令市が全国平均値を上回った。小学校女子は、福岡・北九州・北筑後・南筑後・筑豊・政令市が、全国平均値を上回った。
- 中学校男子は、すべての地区で全国平均値を上回った。中学校女子は、福岡・北筑後・南筑後・政令市が、全国平均値を上回った。

【昨年度との比較】

- 小学校男女は、すべての地区が昨年度を下回った。
- 中学校男子は、北筑後以外が昨年度を下回った。中学校女子は、京築以外が昨年度を下回った。

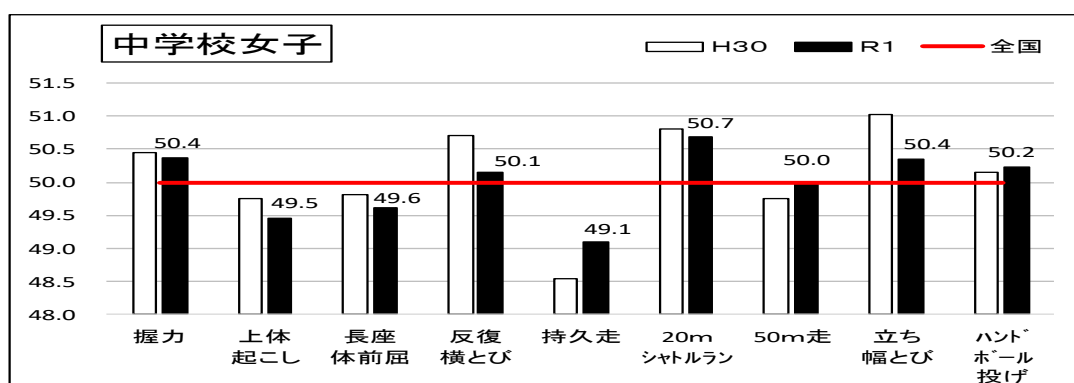
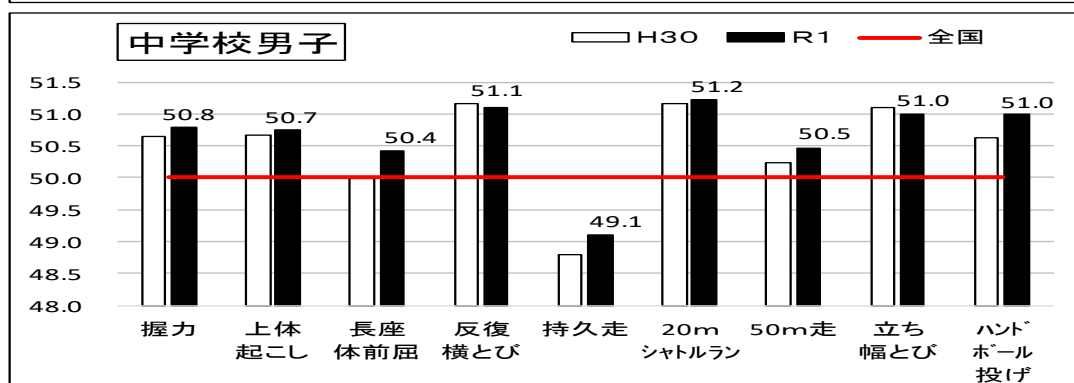
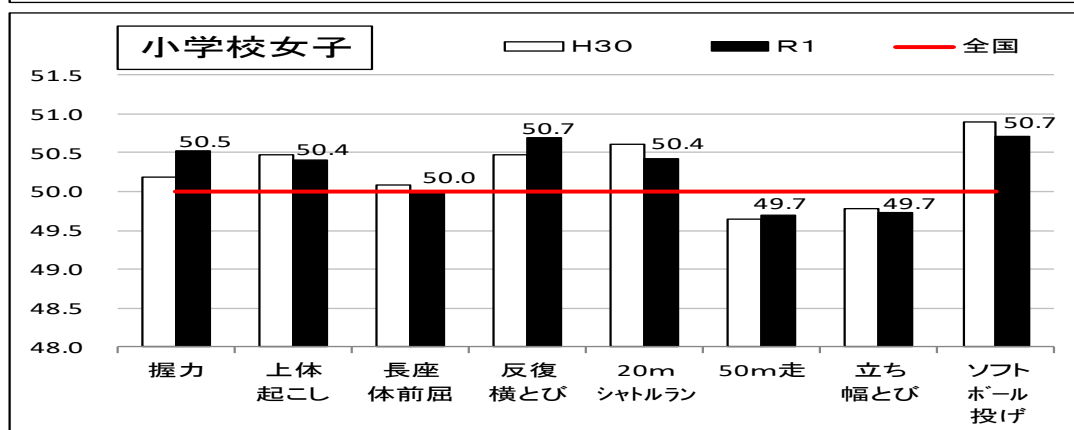
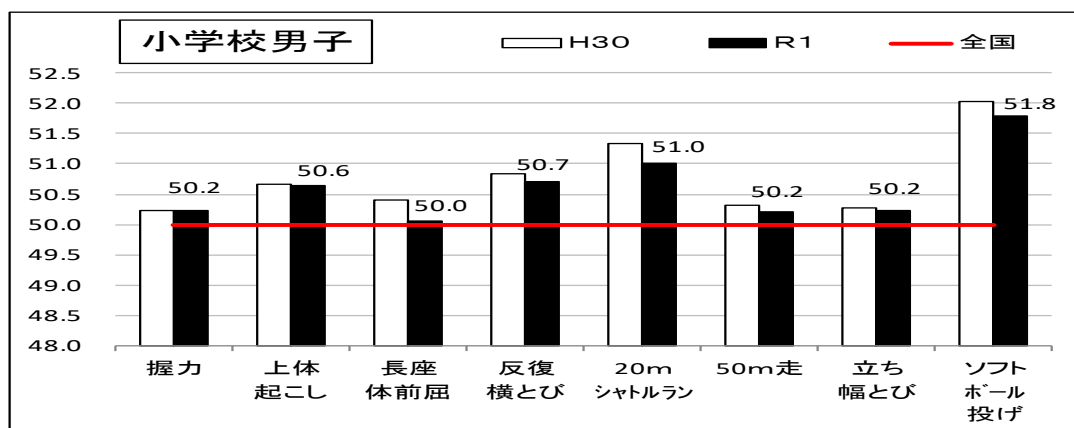
【各地区の最大最小の差】

- 小学校男女が、昨年度と比較すると、7つの地区間の最大最小の差が広がった。中学校男女が、昨年度と比較すると、7つの地区間の最大最小の差が縮まった。

(6) 各種目の状況 (T 得点)

ア 福岡県の推移と全国との比較

※ T 得点：全国平均値に対する本県平均値の相対的位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較することができるもの。(全国平均値を50点とする)



【福岡県の状況】

小学校男子は、すべての種目が全国平均値同等又は上回っている。

小学校女子は、50m走、立ち幅とび以外の種目が全国平均値同等又は上回っている。

中学校男子は、持久走以外の種目が全国平均値を上回っている。

中学校女子は、上体起こし、長座体前屈、持久走以外が全国平均値同等又は上回っている。

イ 各地区の状況

※ 色付け部分は、昨年度と比較して向上した種目である。

※ 斜線欄は、標本数が0～1であったため。

■ 小学校男子

R1	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール投
福岡	51.20	50.93	51.90	50.45	50.53	50.69	49.00	51.60
北九州	49.29	52.15	50.14	50.53	50.18	49.43	49.66	50.42
北筑後	50.24	50.95	49.82	50.37	51.84	50.32	50.24	51.76
南筑後	50.98	51.81	49.20	52.08	52.81	50.52	51.25	52.81
筑豊	50.77	49.47	49.86	51.27	49.85	48.62	50.05	50.52
京築	49.83	49.08	49.22	48.92	49.61	49.28	49.49	50.80
政令市	49.75	50.38	49.38	50.93	51.03	50.29	51.01	52.19

■ 小学校女子

R1	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール投
福岡	51.09	50.86	51.64	50.22	49.82	49.98	48.48	50.08
北九州	50.34	52.87	50.00	51.45	51.00	49.88	49.79	50.97
北筑後	50.39	50.93	49.83	50.30	51.52	49.61	50.05	51.21
南筑後	51.64	51.30	49.00	52.56	53.71	50.75	51.34	52.58
筑豊	51.79	50.37	49.32	52.25	50.42	48.68	49.78	49.93
京築	51.17	48.89	48.91	49.19	49.07	49.56	48.86	50.64
政令市	49.91	49.86	49.47	50.53	49.98	49.51	50.18	50.76

■ 中学校男子

R1	握力	上体	長座	反復	持久走	シャトル	50m走	立ち幅	ボール投
福岡	50.63	51.11	51.13	51.86	46.32	52.14	50.74	51.18	50.82
北九州	52.04	50.03	49.54	50.54		49.55	50.59	50.61	50.68
北筑後	50.82	50.16	50.52	51.19	51.13	51.32	50.79	51.58	51.20
南筑後	51.33	49.56	49.47	50.58	49.33	50.90	50.63	50.56	51.03
筑豊	50.99	51.75	49.81	51.90	49.27	50.35	51.13	51.82	50.20
京築	51.82	50.04	51.54	51.42	48.72	50.80	50.66	50.27	50.63
政令市	50.60	51.00	50.34	50.82	48.49	51.27	50.47	51.06	51.38

■ 中学校女子

R1	握力	上体	長座	反復	持久走	シャトル	50m走	立ち幅	ボール投
福岡	50.90	49.85	50.56	50.97	45.93	51.18	50.24	50.64	49.69
北九州	51.08	48.27	49.33	50.02		48.32	49.18	48.70	48.73
北筑後	49.79	48.68	49.08	50.46	50.23	50.68	49.96	51.04	50.14
南筑後	50.92	48.11	48.32	49.59	49.91	51.05	51.07	50.75	51.34
筑豊	49.27	48.70	48.54	49.81	50.48	47.86	48.17	49.21	48.91
京築	51.95	47.17	48.51	49.52	43.69	49.43	49.53	49.70	49.35
政令市	50.10	50.13	49.76	50.02	49.21	51.28	50.16	50.58	50.86

【小学校の状況】

- 昨年度のT得点と比較すると、男子については、南筑後、政令市が4種目上回った。また、女子については、北九州、南筑後、政令市が5種目上回った。

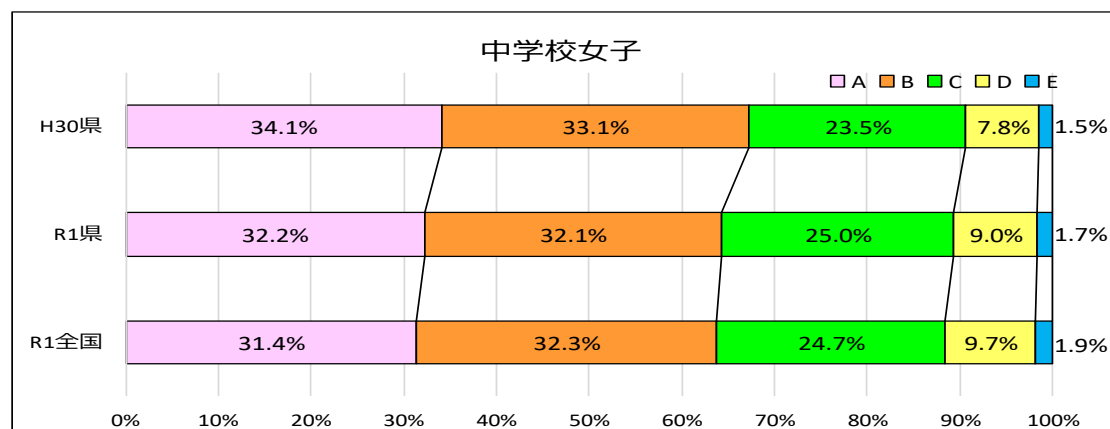
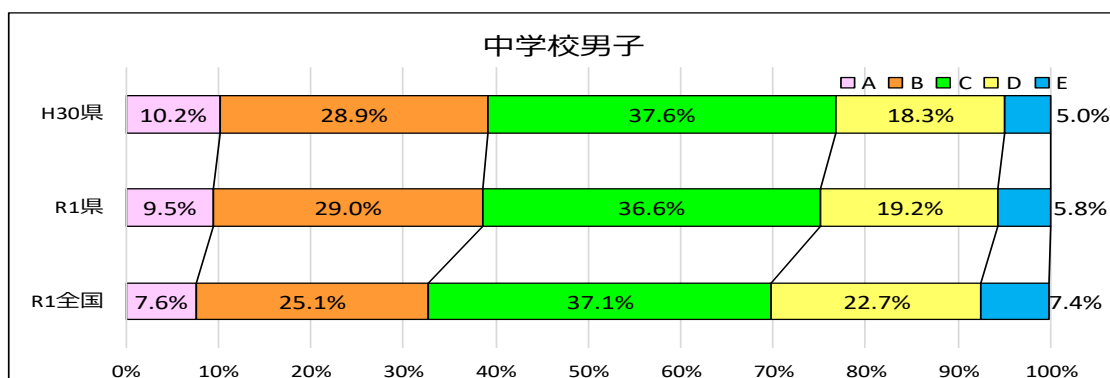
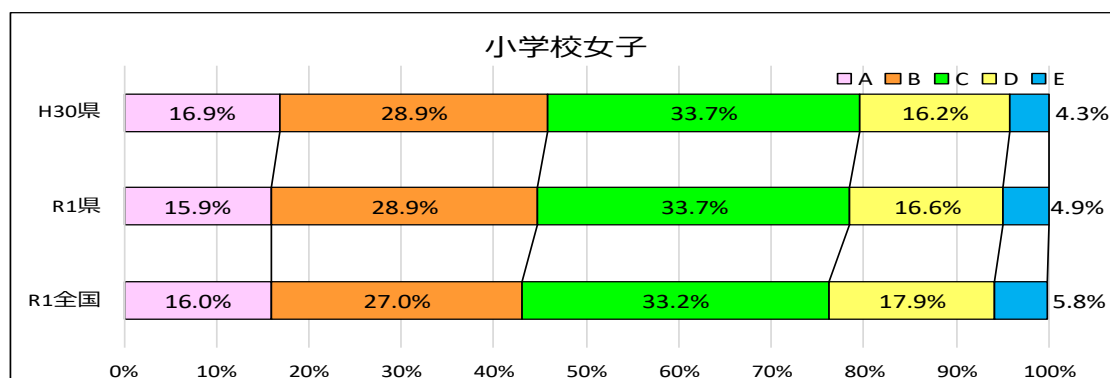
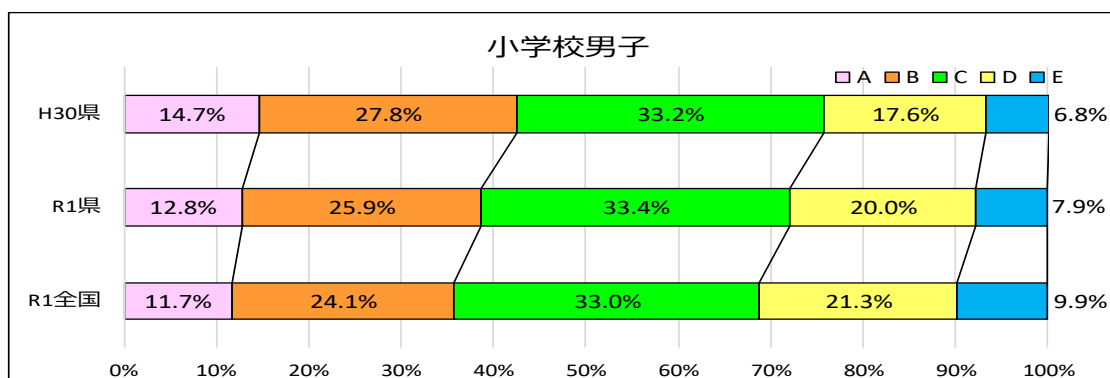
【中学校の状況】

- 昨年度のT得点と比較すると、男子については、北筑後、政令市が8種目、南筑後が5種目、北九州、筑豊が4種目上回った。また、女子については、京築が6種目、筑豊、政令市が5種目、北筑後が4種目上回った。

(7) 総合評価の状況

ア 福岡県の推移と全国との比較

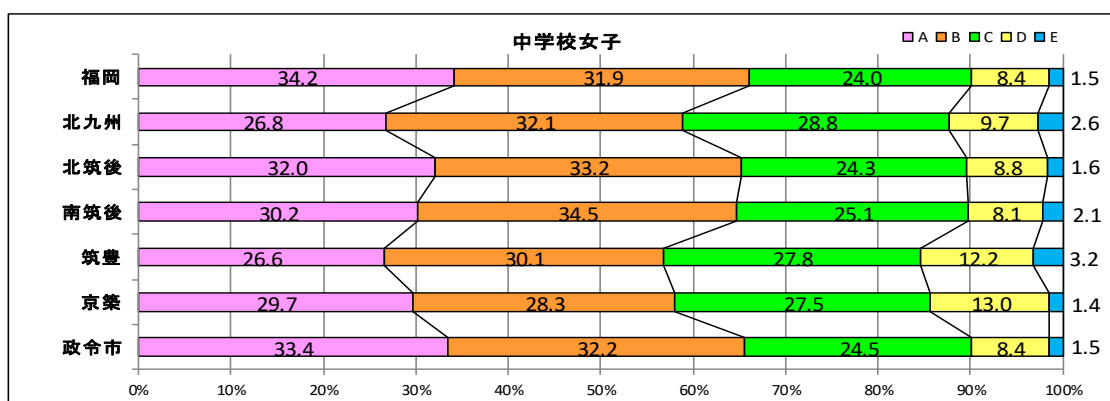
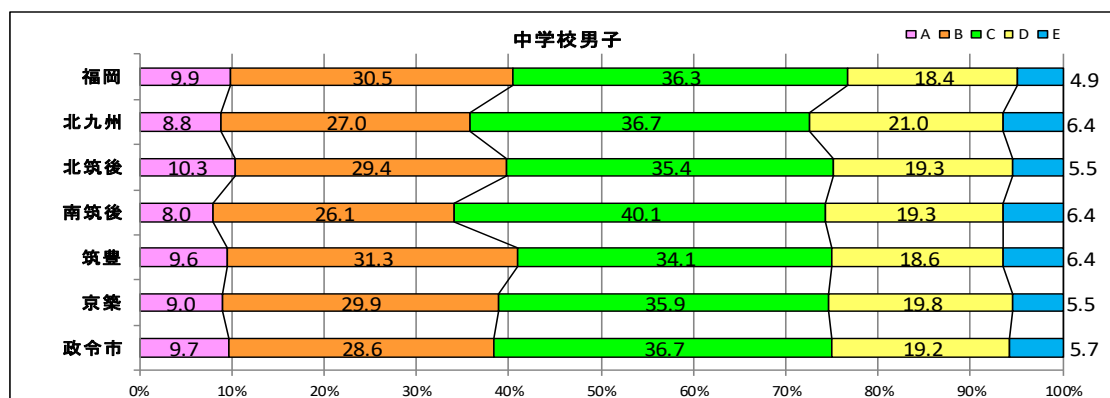
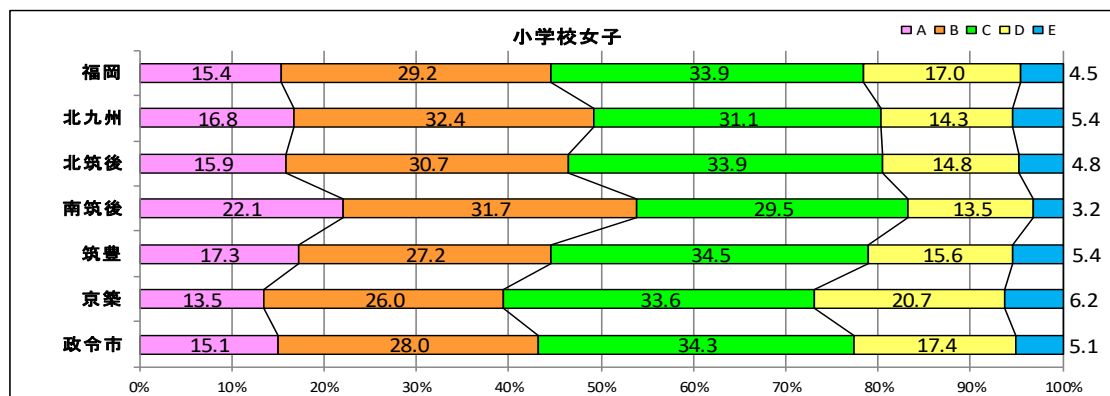
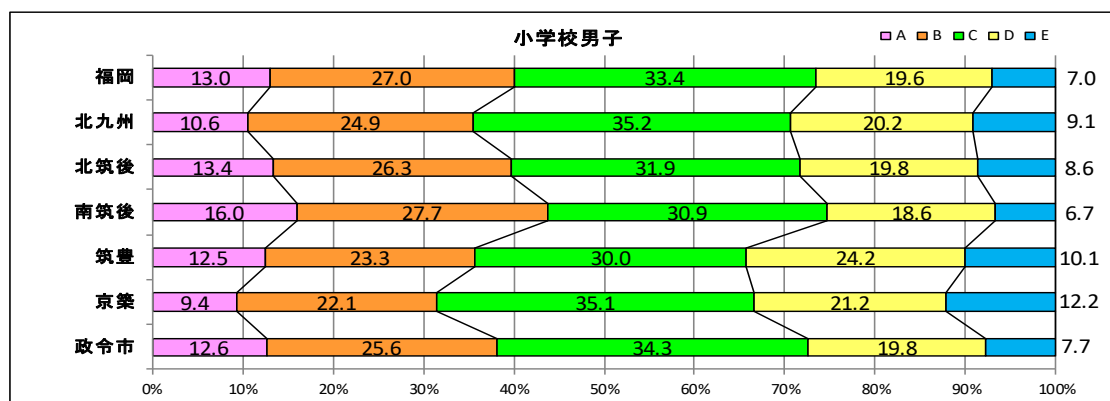
※ 総合評価の基準等については、P2・P3を参照のこと。



【福岡県の状況】

- 昨年度と比較すると、小中学校男女すべてにおいて、A+Bの値が減少している。小中学校男女すべてにおいて、A+Bの値が全国値を上回った。
- 昨年度と比較すると、小中学校男女すべてにおいて、D+Eの値が増加している。小中学校男女すべてにおいて、D+Eの値が全国値を下回った。

イ 各地区の状況



【小学校の状況】

- A + Bの値が全国値（男子 35.8% 女子 43.0%）より高いのは、男子が福岡・北筑後・南筑後・政令市、女子が福岡・北九州・北筑後・南筑後・筑豊・政令市である。また、D + Eの値が全国値（男子 31.2% 女子 23.7%）より高いのは、男子が筑豊・京築、女子が京築である。

【中学校の状況】

- A + Bの値が全国値（男子 32.7% 女子 63.7%）より高いのは、男子が全地区、女子が福岡・北筑後・南筑後・政令市である。また、D + Eの値が全国平均値（男子 30.1% 女子 11.6%）より男子は全地区で低く、女子は、北九州・筑豊・京築が全国平均値より高かった。

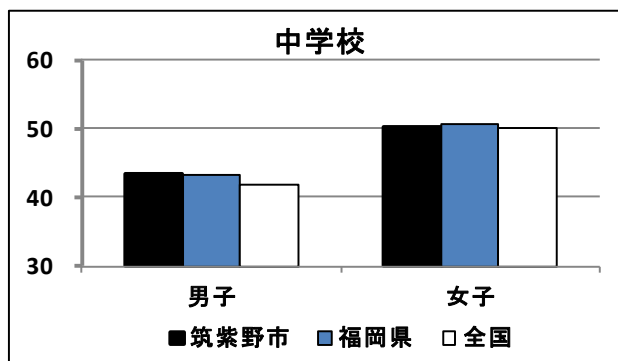
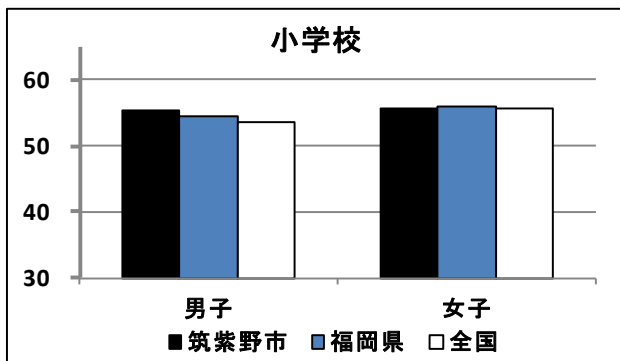
(8) 市町村別の状況

○ 市町村別の体力合計点平均値の状況

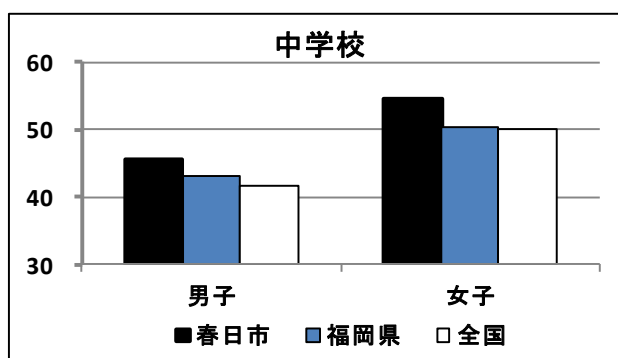
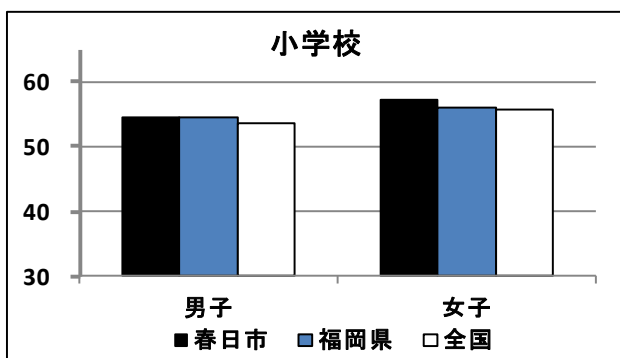
※ 同意を得た市町村のみ掲載

県教育委員会としては、市町村立学校別の公表はしないため、市町村内の学校数が1小学校、1中学校である場合は公表しない。

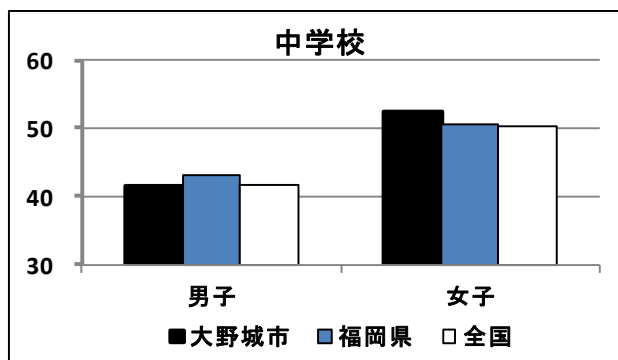
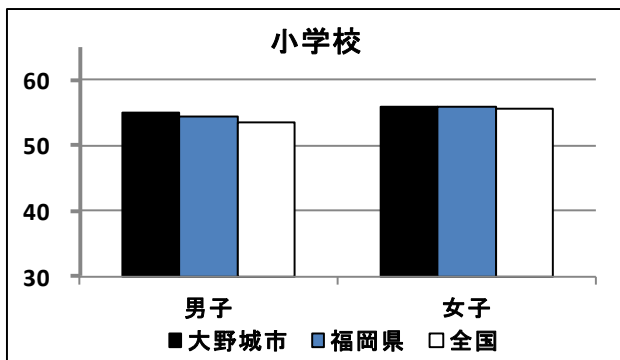
【筑紫野市】



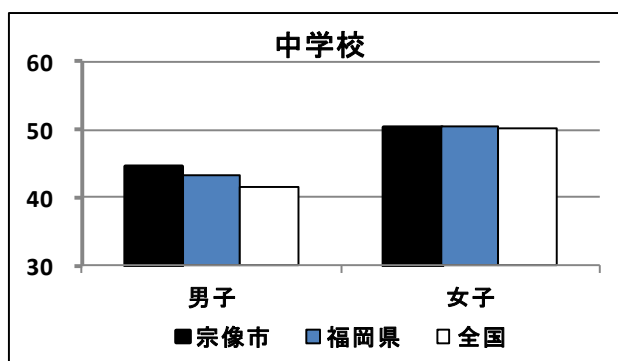
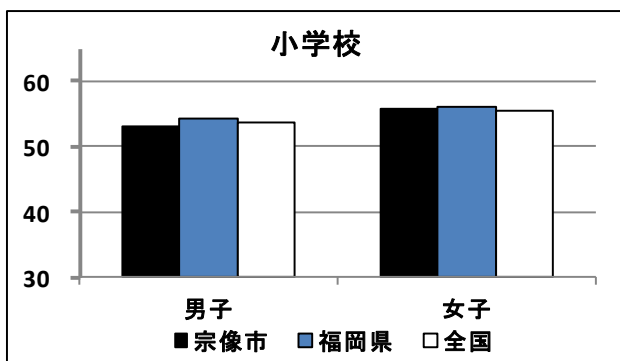
【春日市】



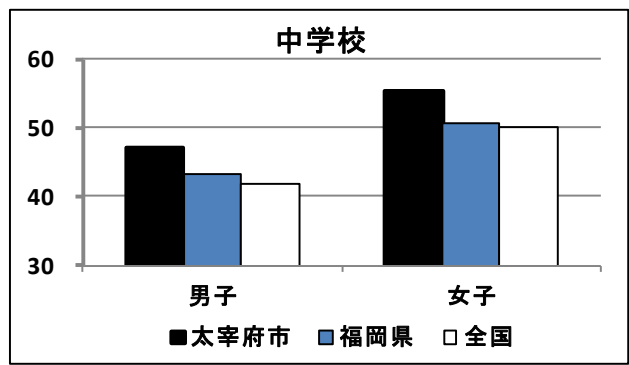
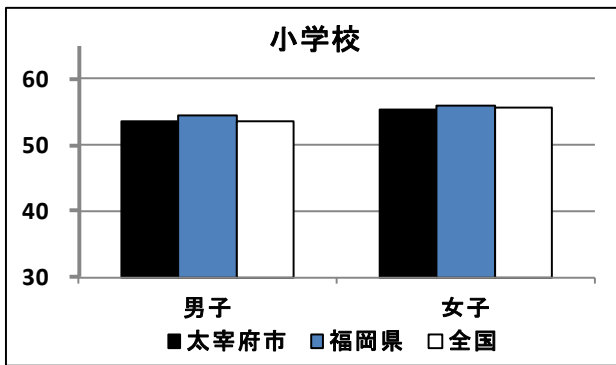
【大野城市】



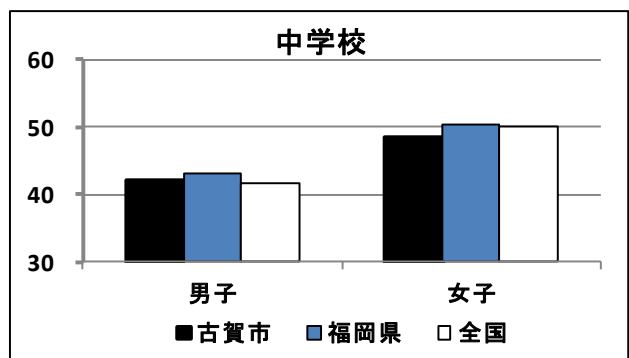
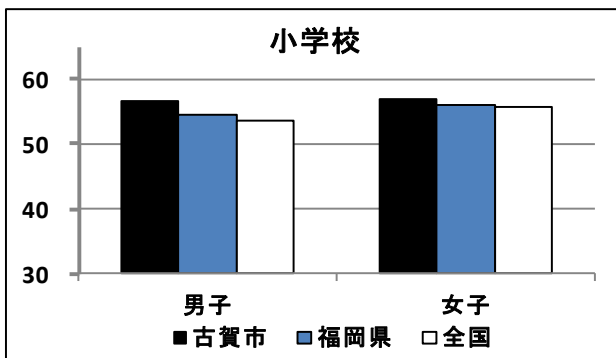
【宗像市】



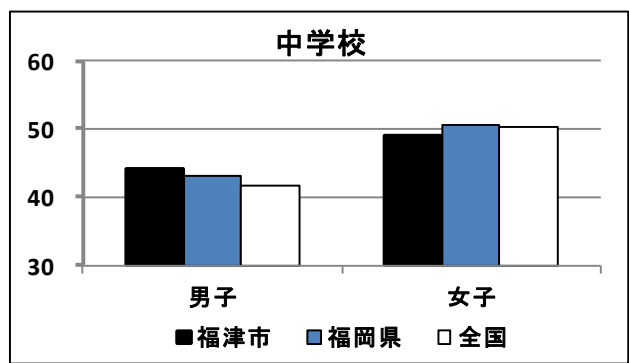
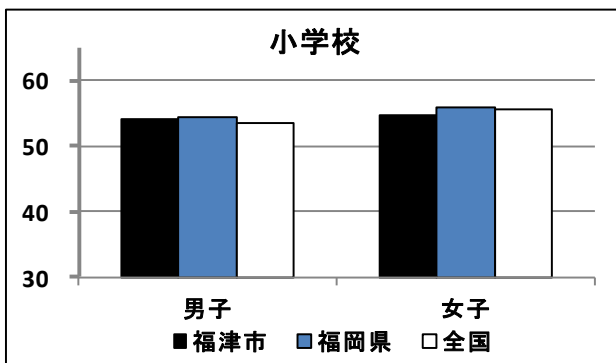
【太宰府市】



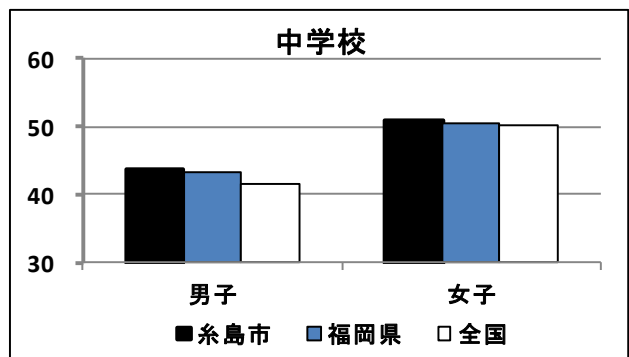
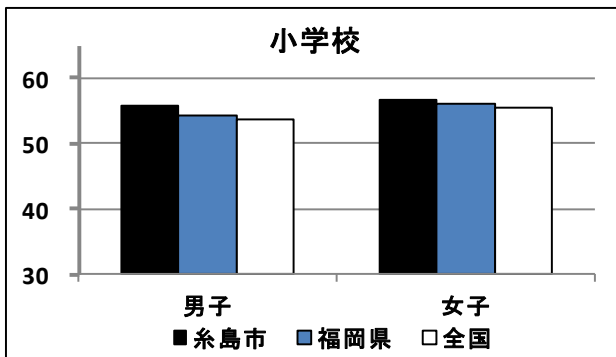
【古賀市】



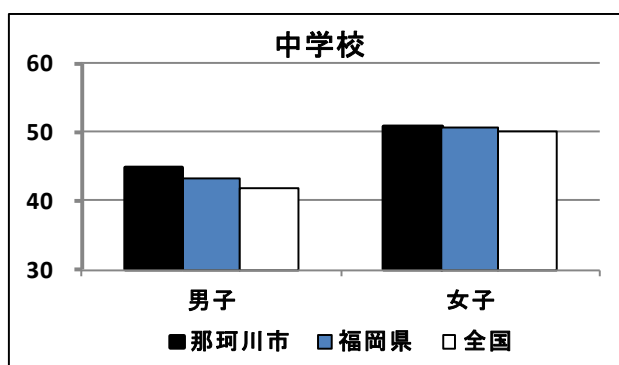
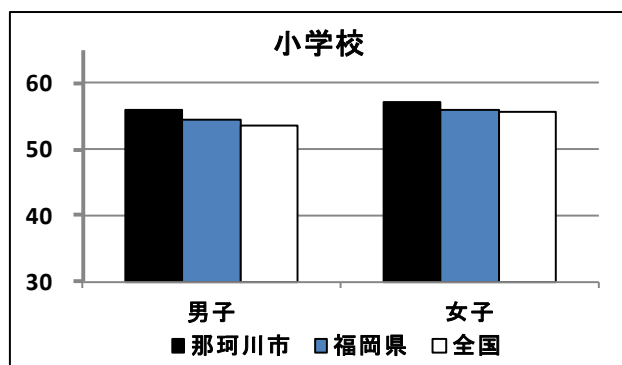
【福津市】



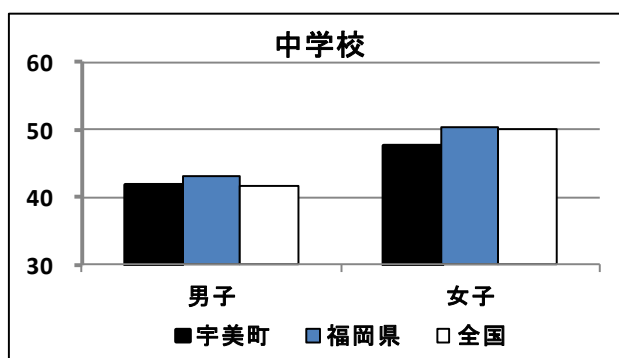
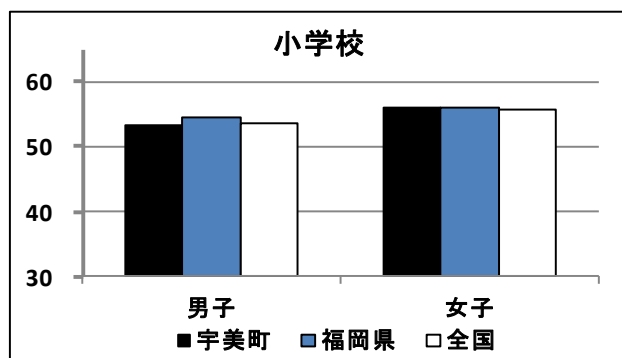
【糸島市】



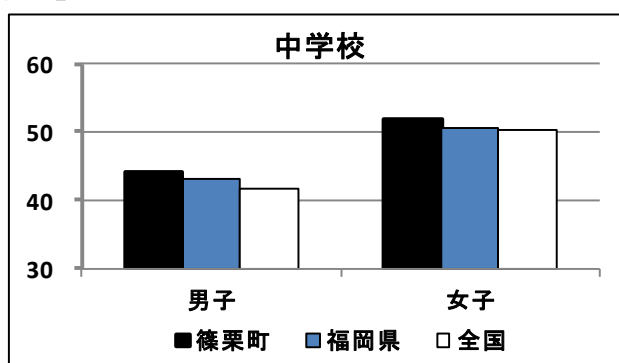
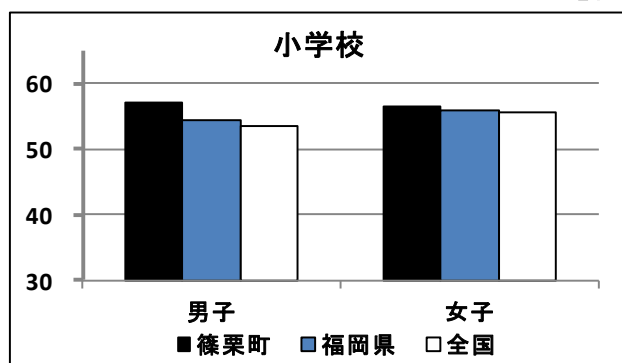
【那珂川市】



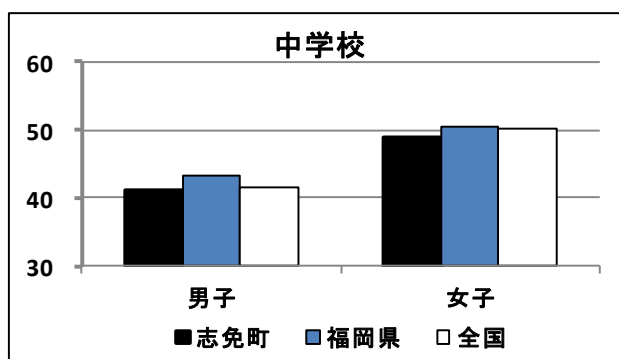
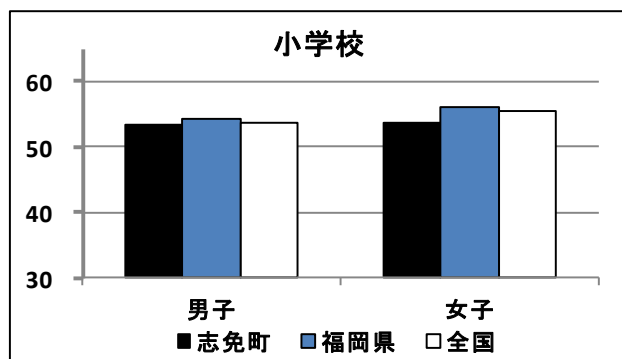
【宇美町】



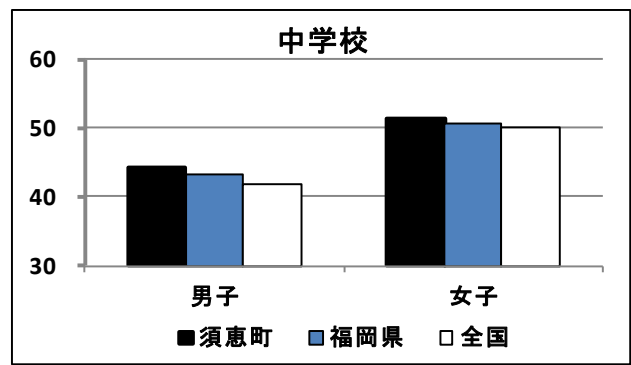
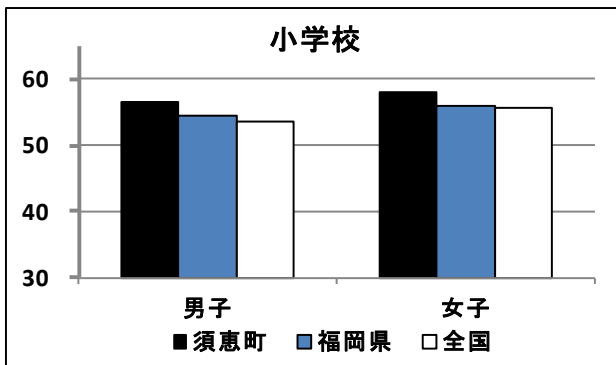
【篠栗町】



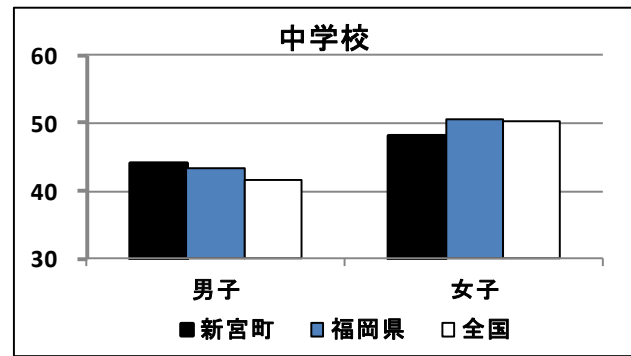
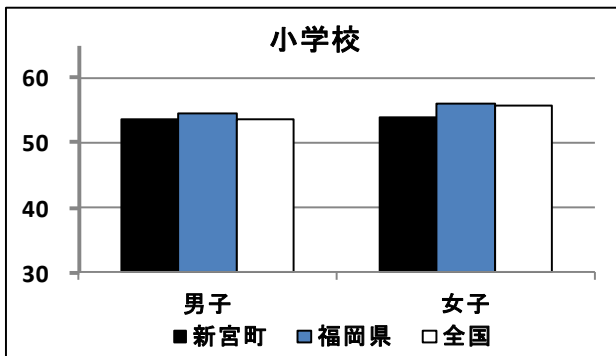
【志免町】



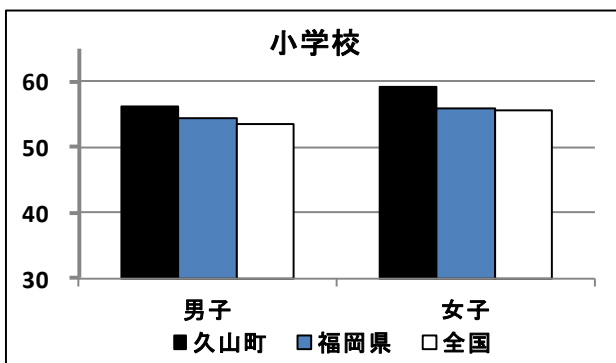
【須恵町】



【新宮町】

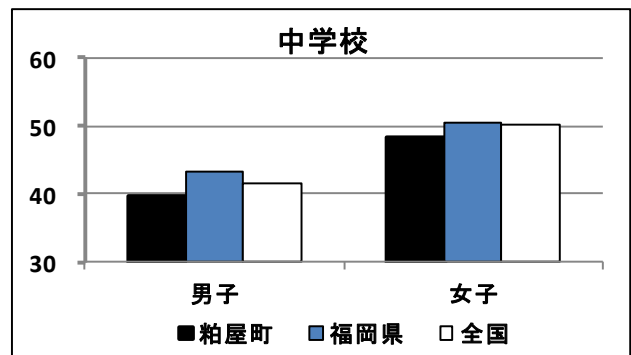
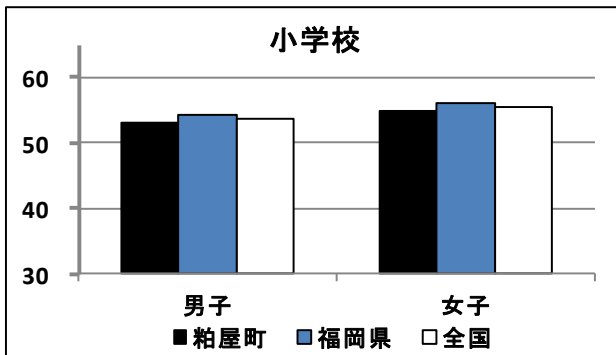


【久山町】

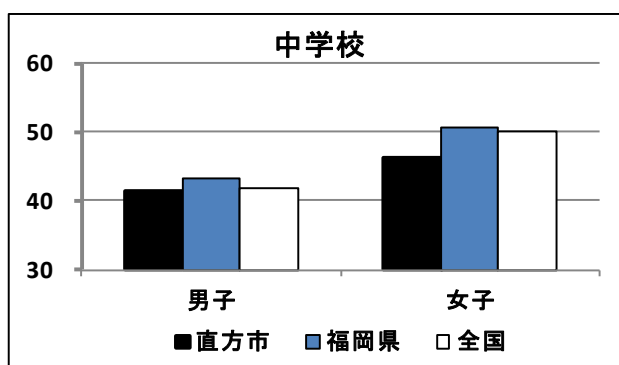
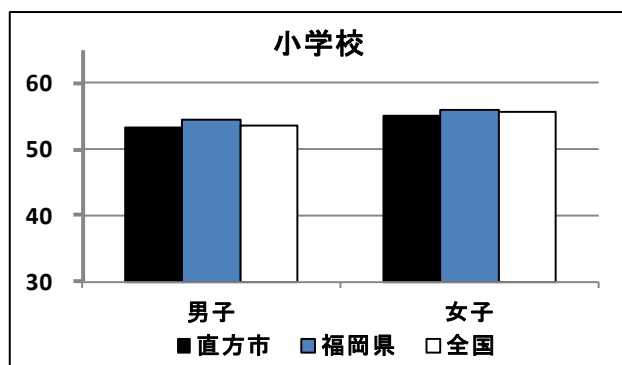


※町立中学校が1校のため、公表しない。

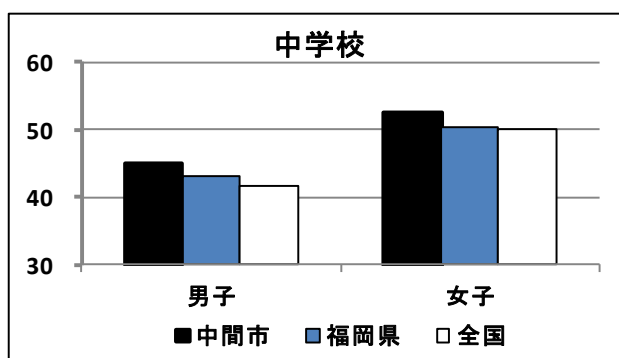
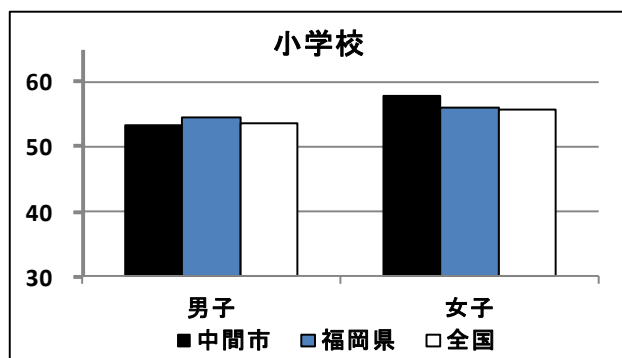
【粕屋町】



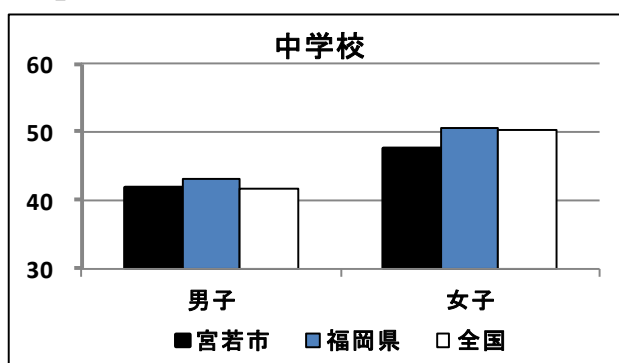
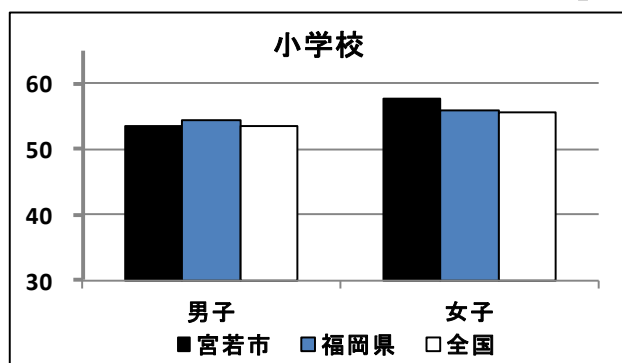
【直方市】



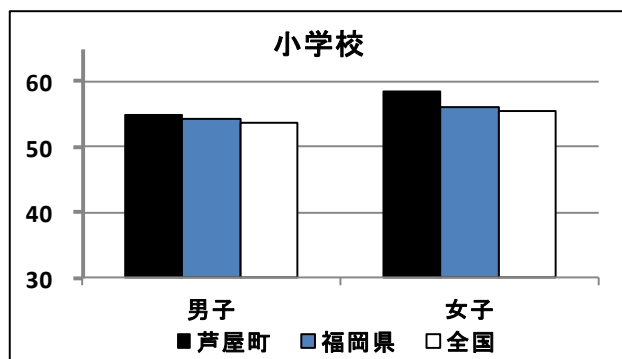
【中間市】



【宮若市】

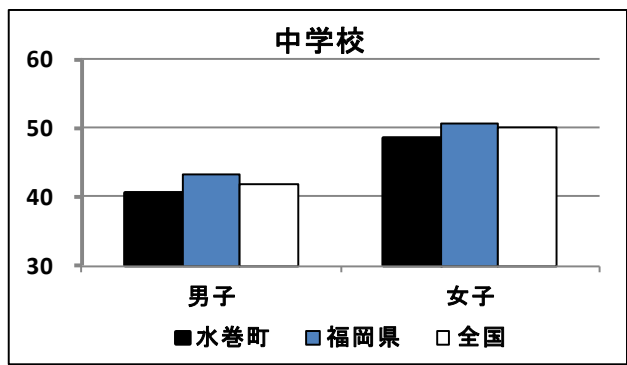
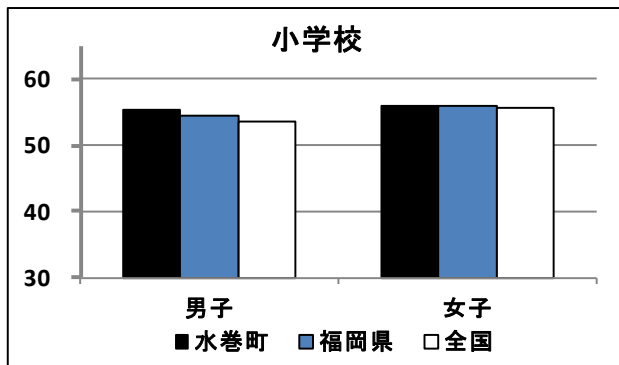


【芦屋町】

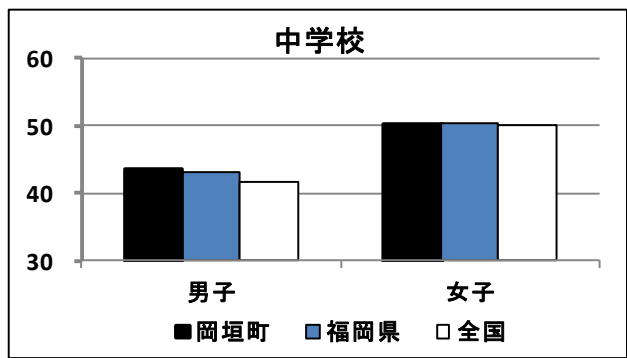
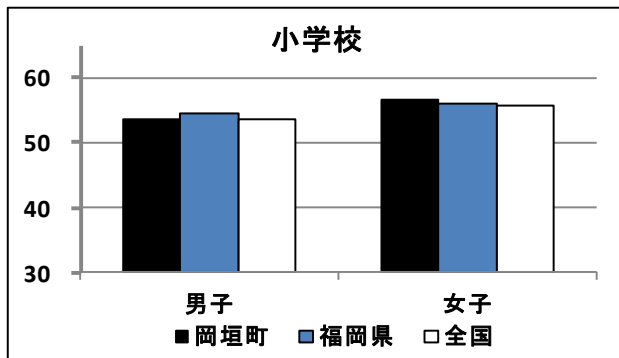


※町立中学校が1校のため、公表しない。

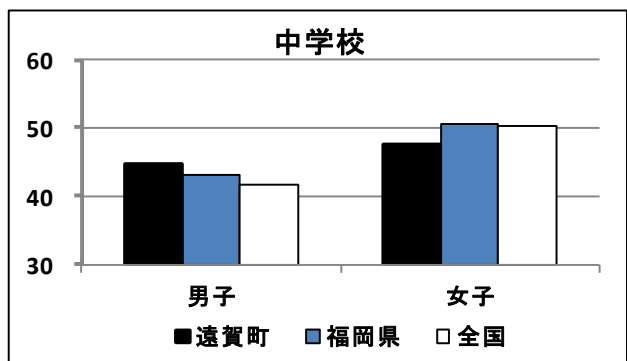
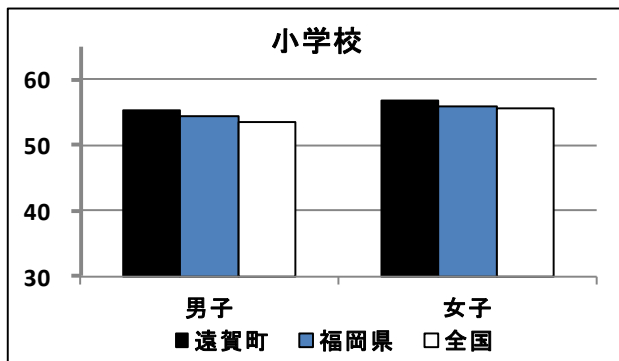
【水巻町】



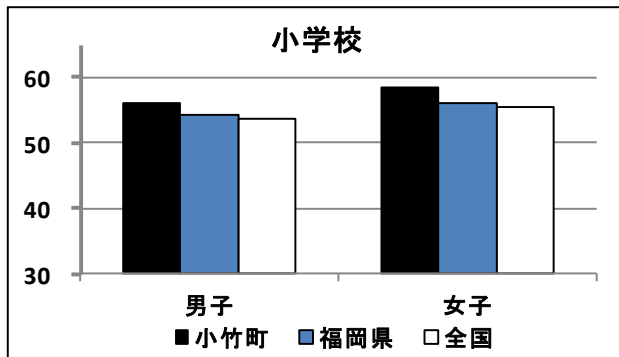
【岡垣町】



【遠賀町】

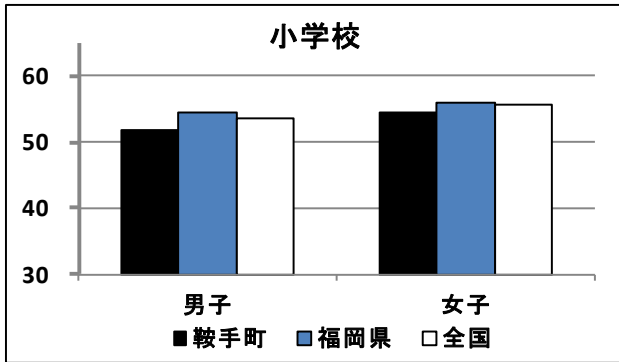


【小竹町】



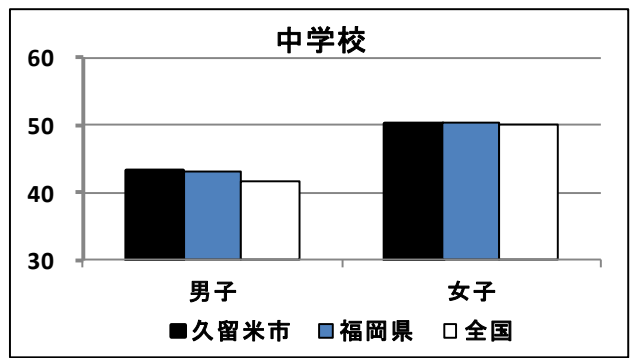
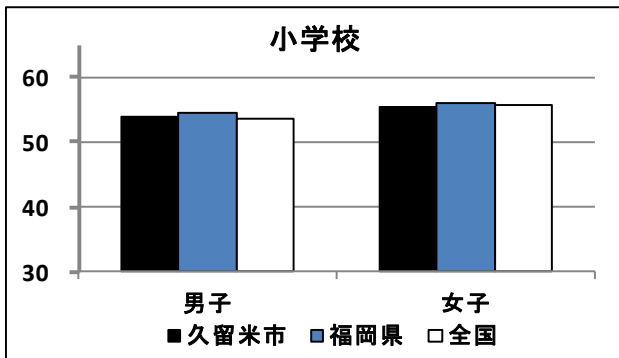
※町立中学校が1校のため、公表しない。

【鞍手町】

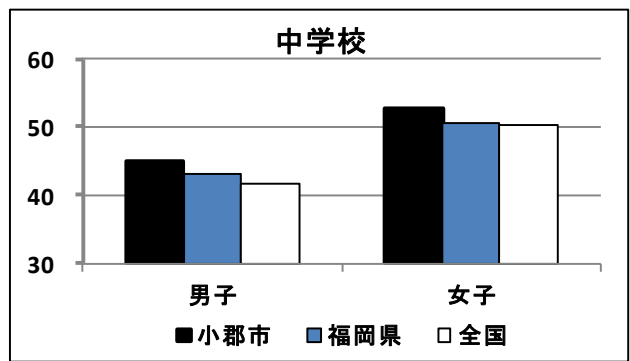
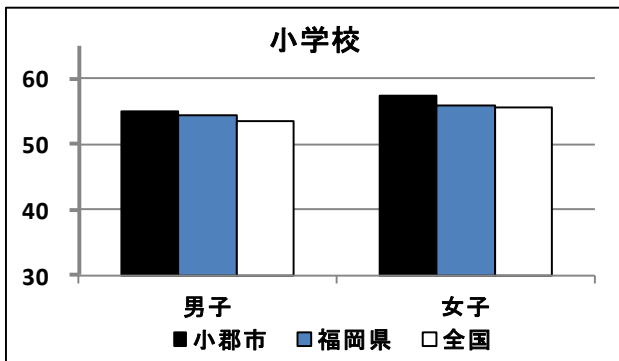


※町立中学校が1校のため、公表しない。

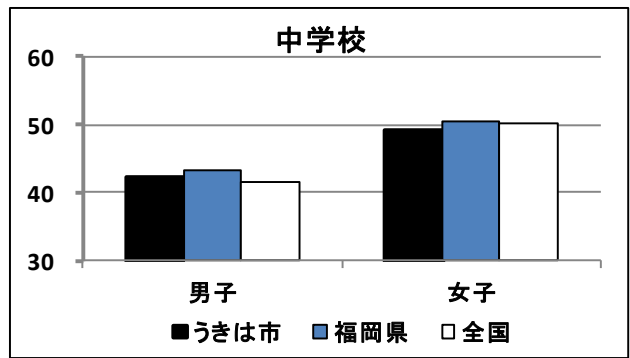
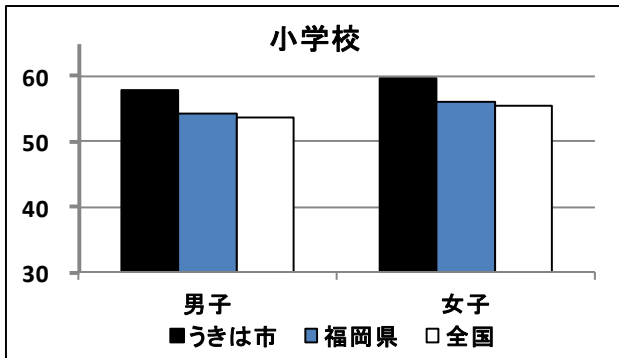
【久留米市】



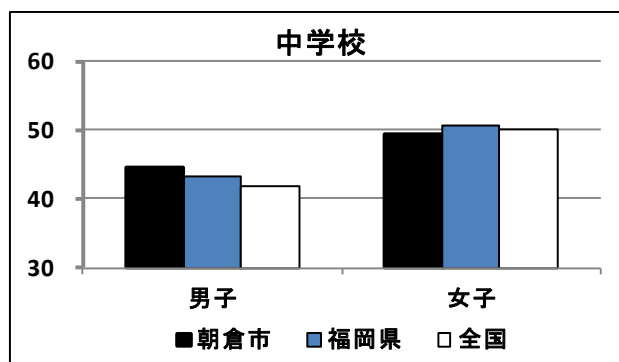
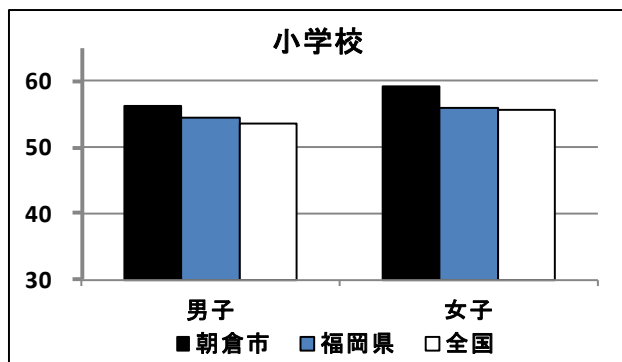
【小郡市】



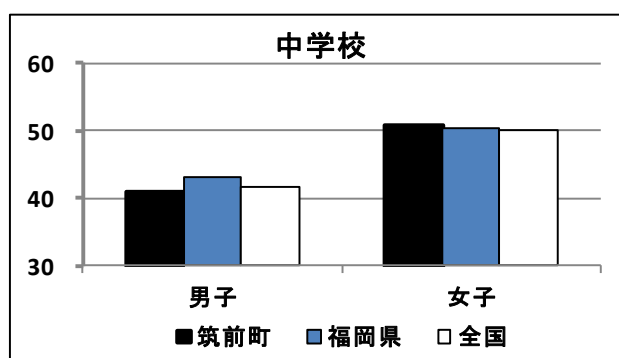
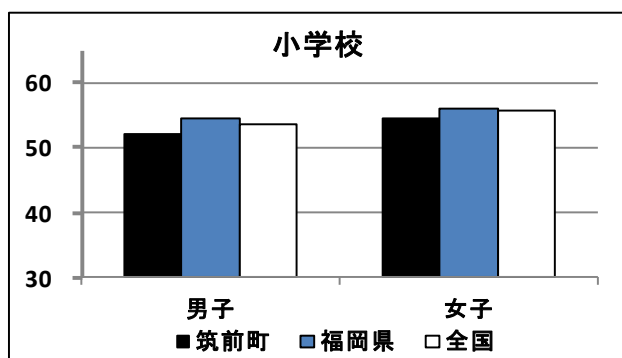
【うきは市】



【朝倉市】



【筑前町】

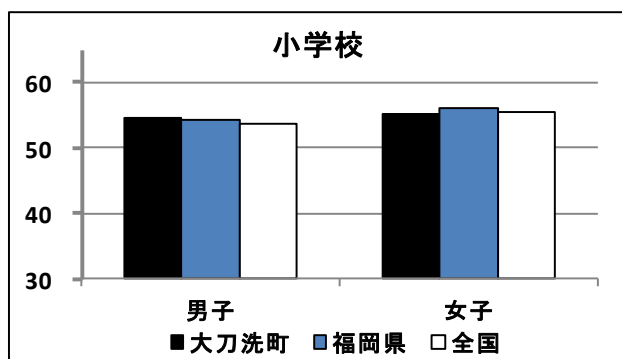


【東峰村】

※村立小学校が1校のため、公表しない。

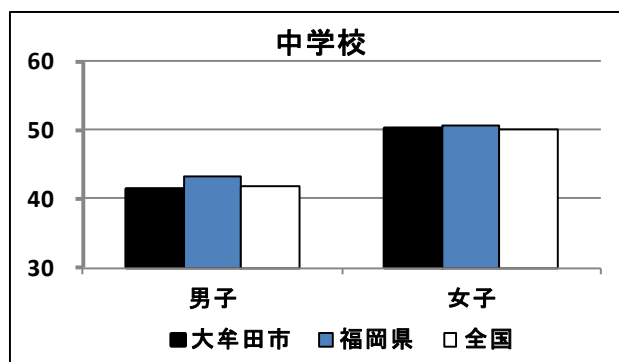
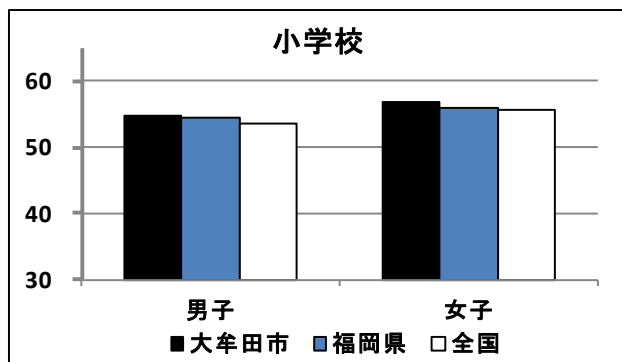
※村立中学校が1校のため、公表しない。

【大刀洗町】

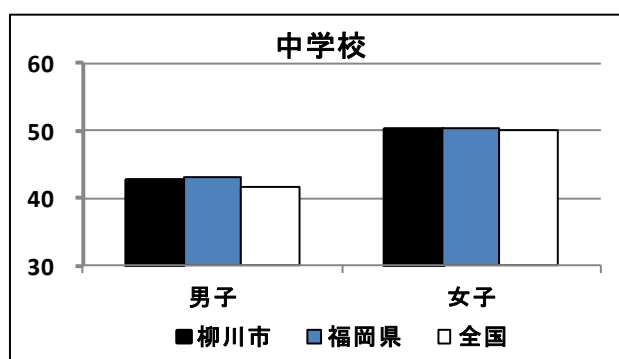
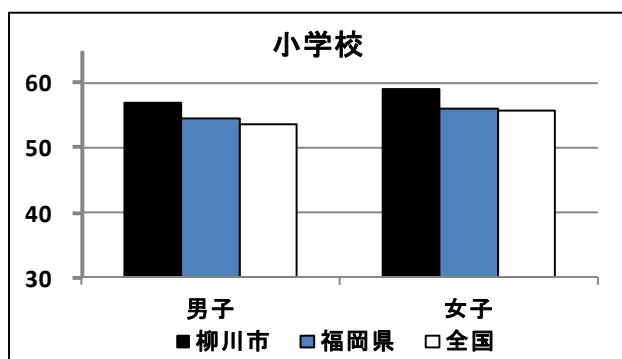


※町立中学校が1校のため、公表しない。

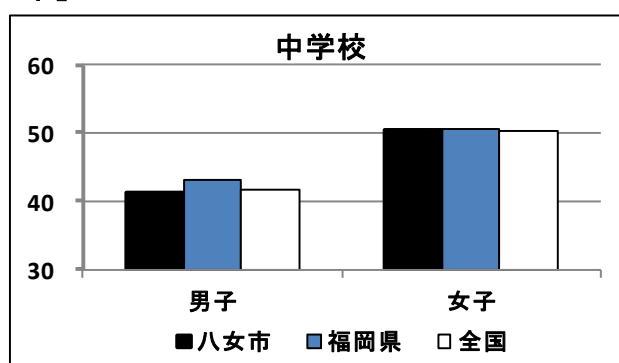
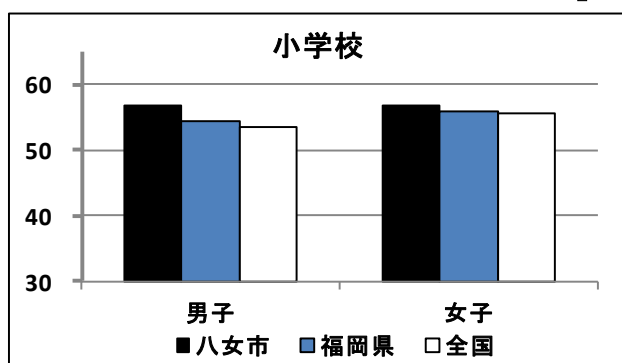
【大牟田市】



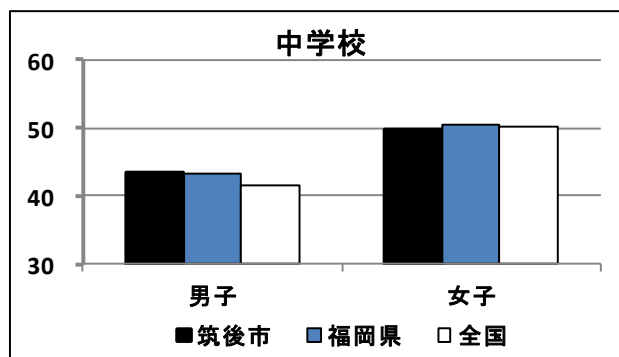
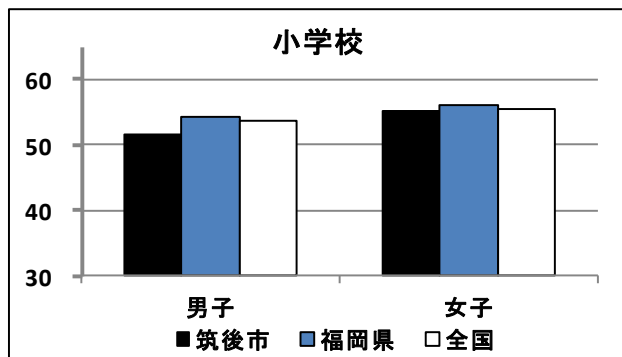
【柳川市】



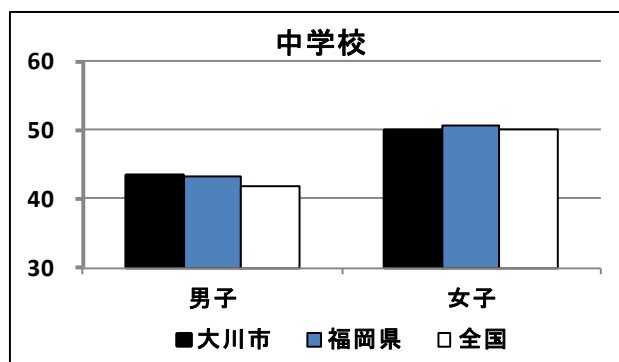
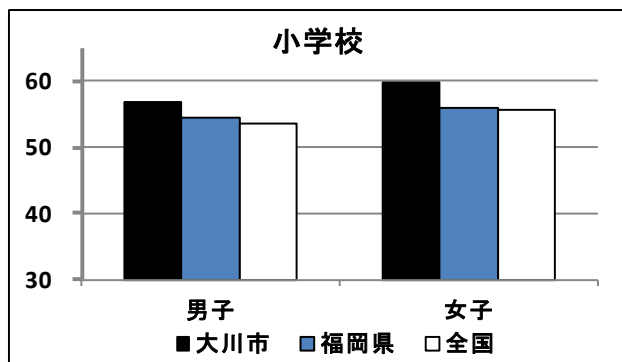
【八女市】



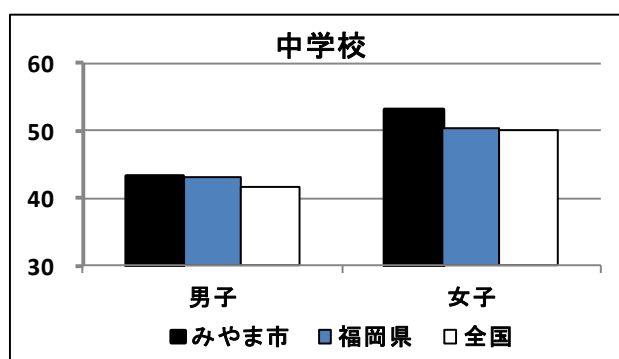
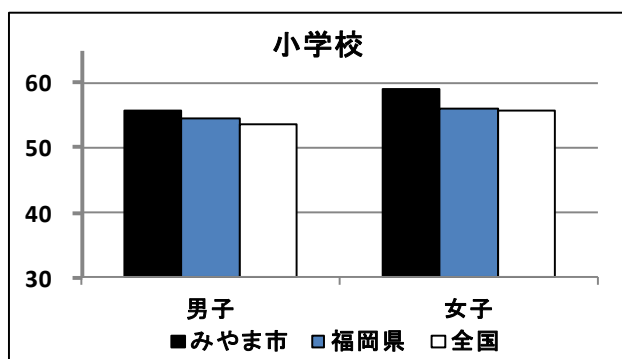
【筑後市】



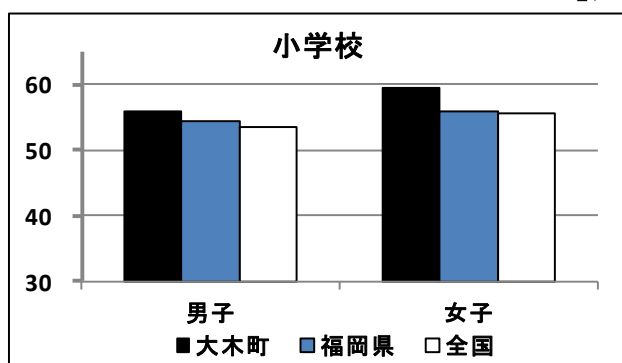
【大川市】



【みやま市】

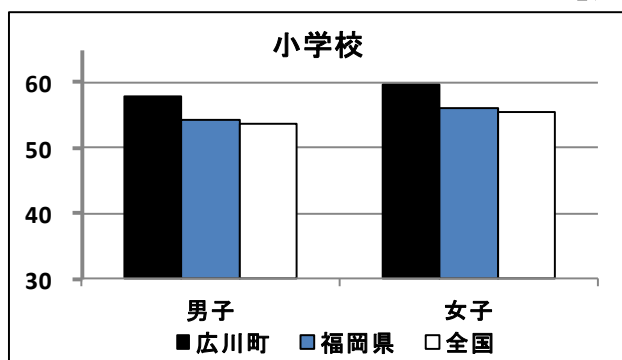


【大木町】



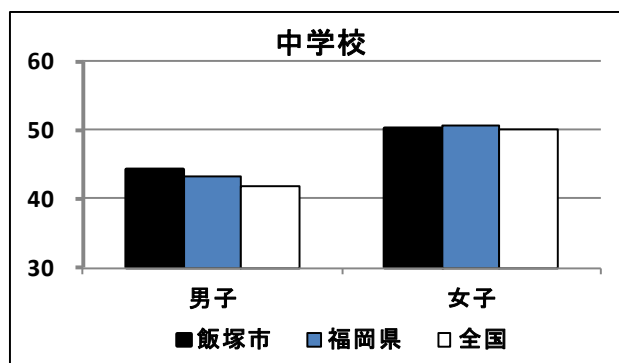
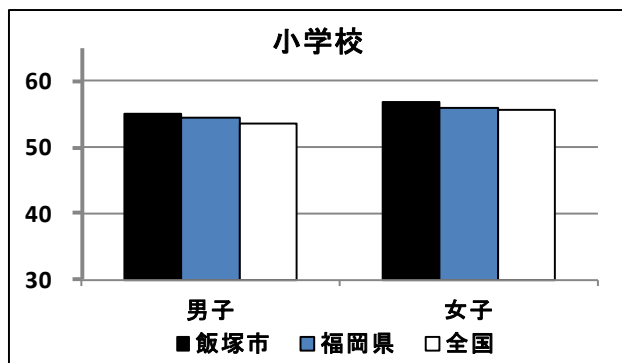
※町立中学校が1校のため、公表しない。

【広川町】

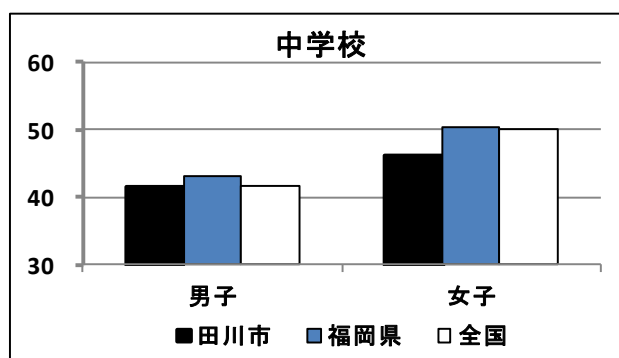
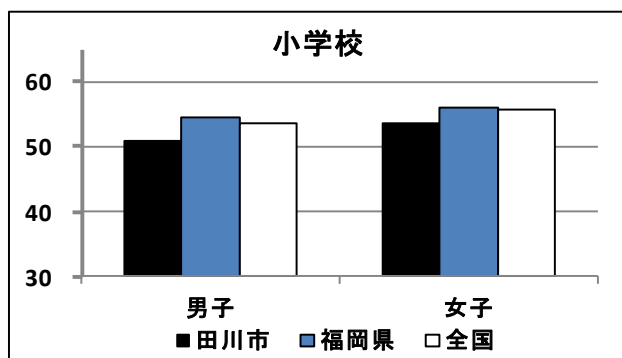


※町立中学校が1校のため、公表しない。

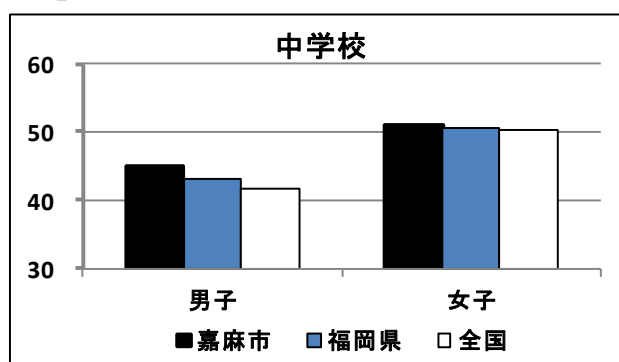
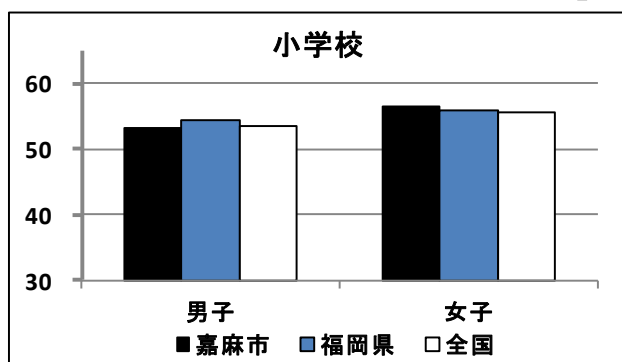
【飯塚市】



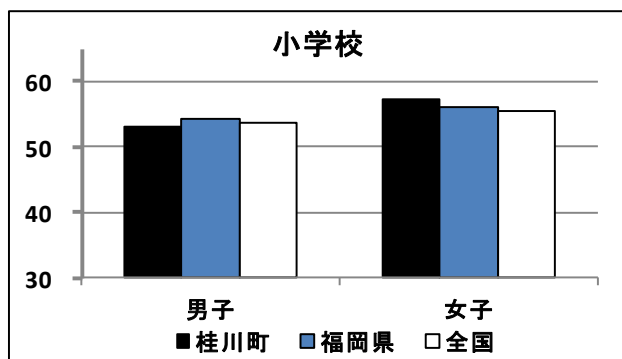
【田川市】



【嘉麻市】

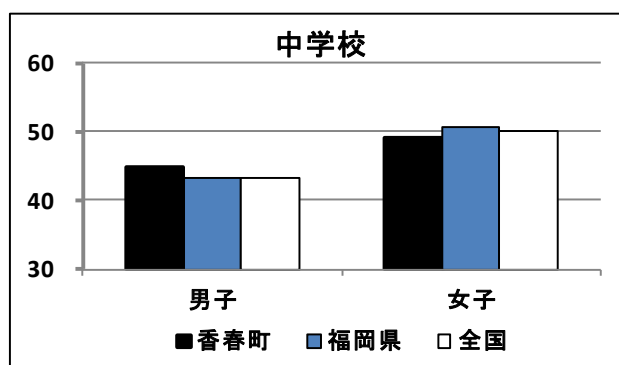
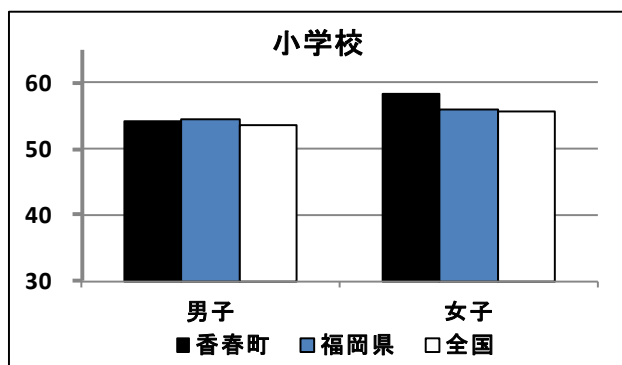


【桂川町】

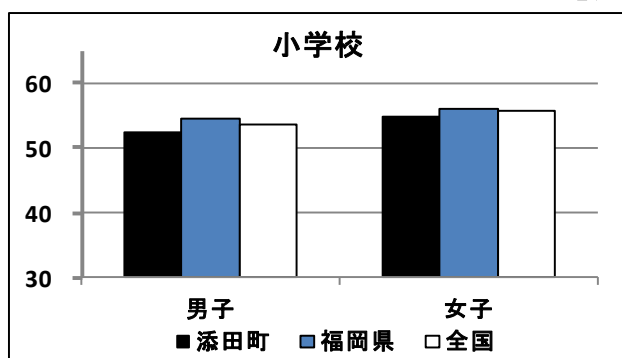


※町立中学校が1校のため、公表しない。

【香春町】



【添田町】



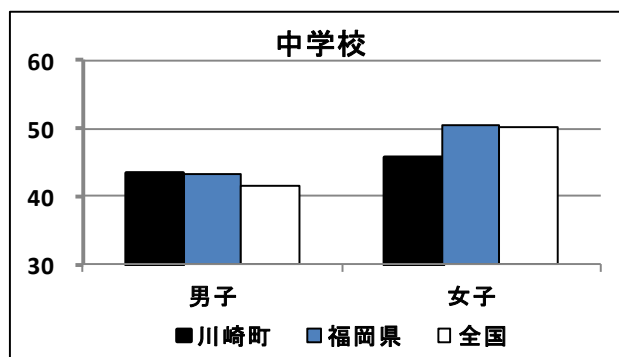
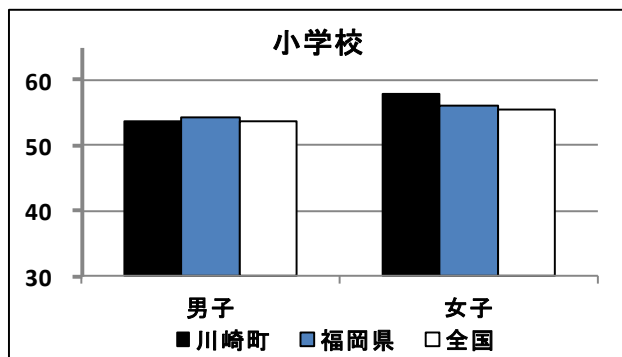
※町立中学校が1校のため、公表しない。

【糸田町】

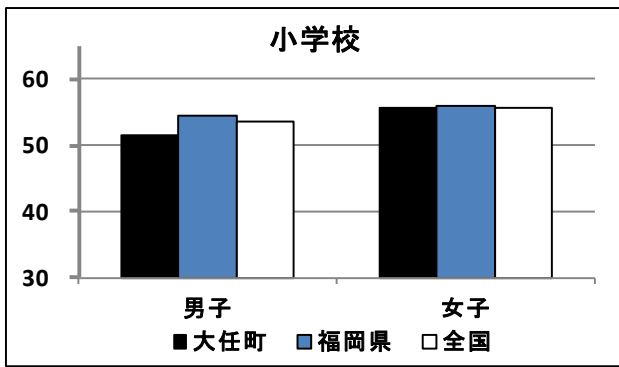
※町立小学校が1校のため、公表しない。

※町立中学校が1校のため、公表しない。

【川崎町】



【大任町】



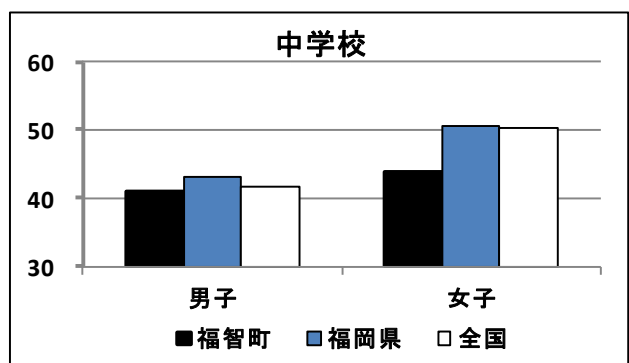
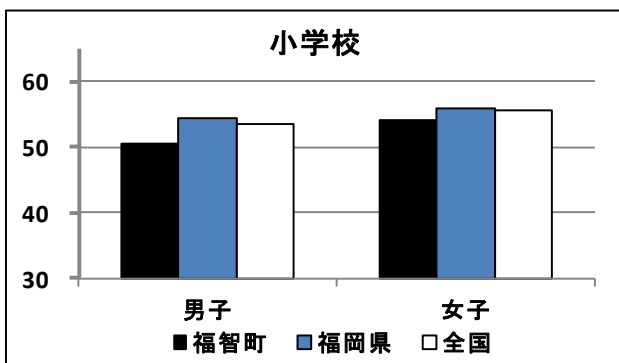
※町立中学校が1校のため、公表しない。

【赤村】

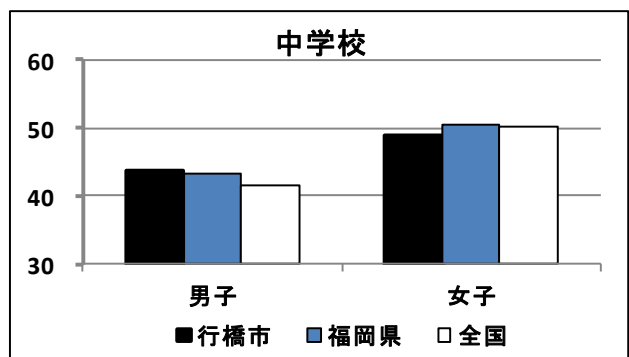
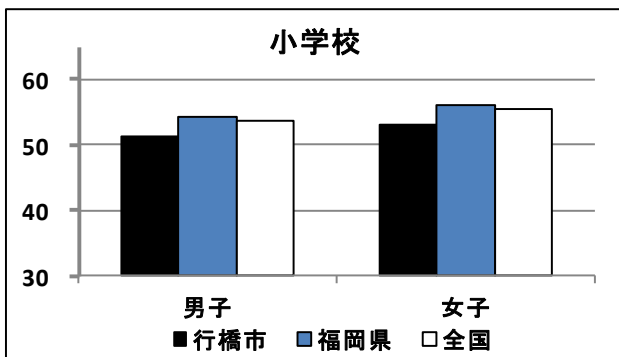
※村立小学校が1校のため、公表しない。

※村立中学校が1校のため、公表しない。

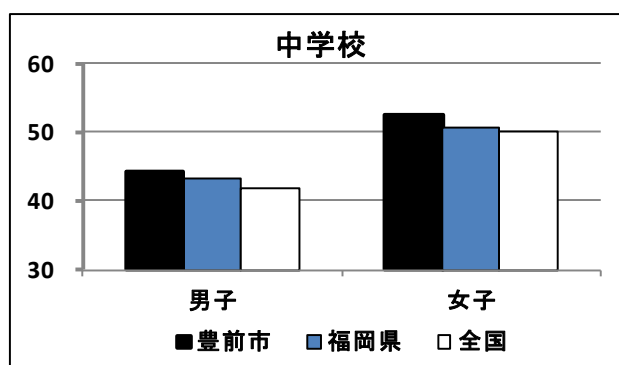
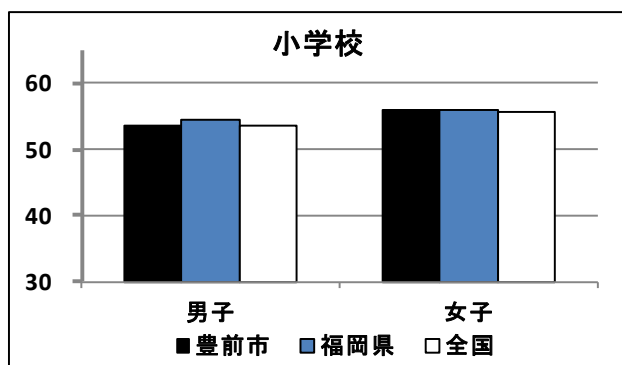
【福智町】



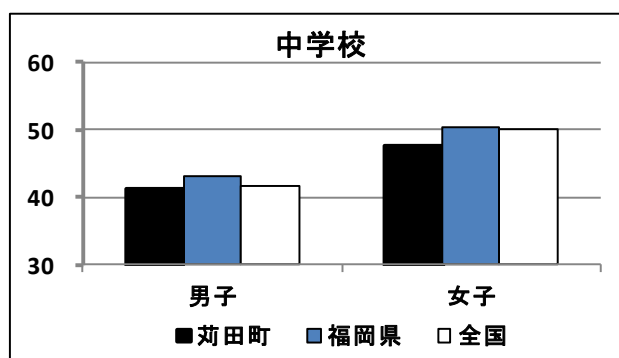
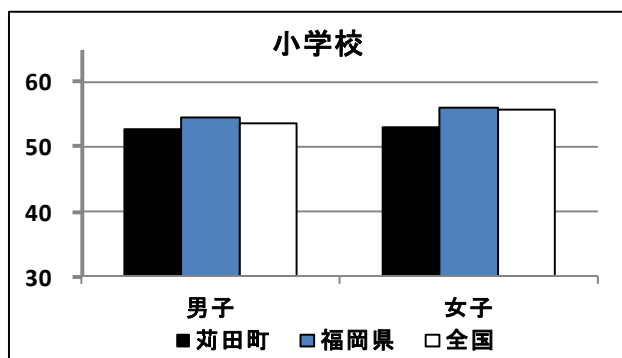
【行橋市】



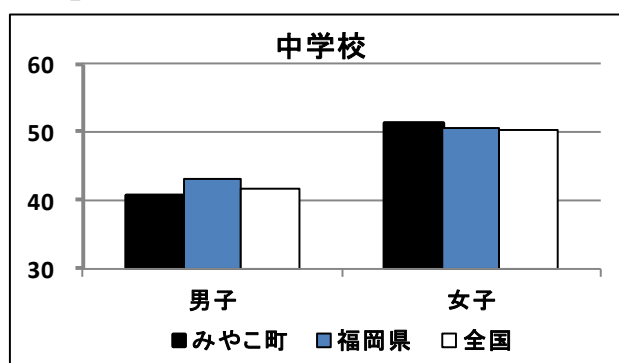
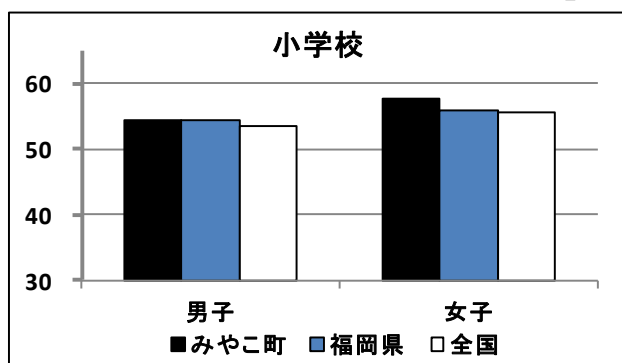
【豊前市】



【苅田町】



【みやこ町】

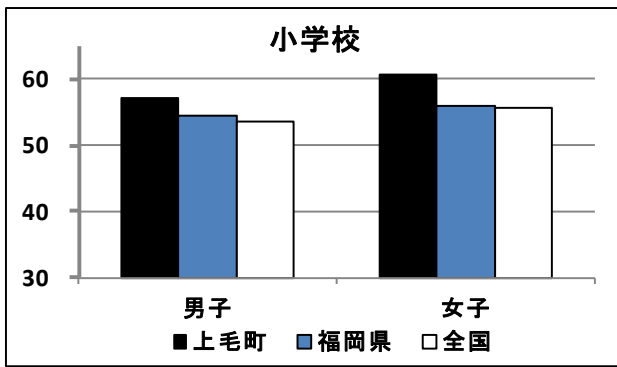


【吉富町】

※町立小学校が1校のため、公表しない。

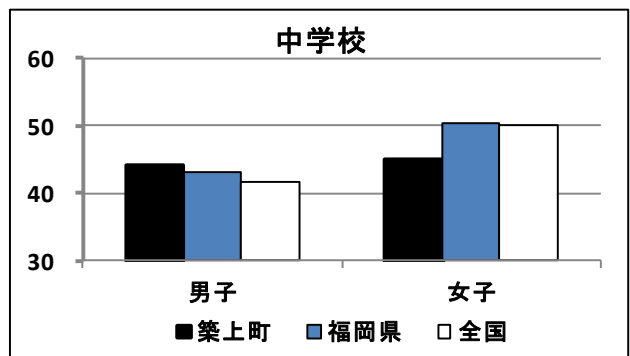
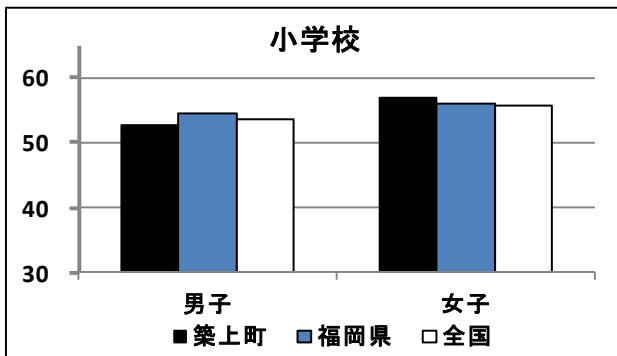
※町外一市中学校組合立中学校が1校のため、公表しない。

【上毛町】

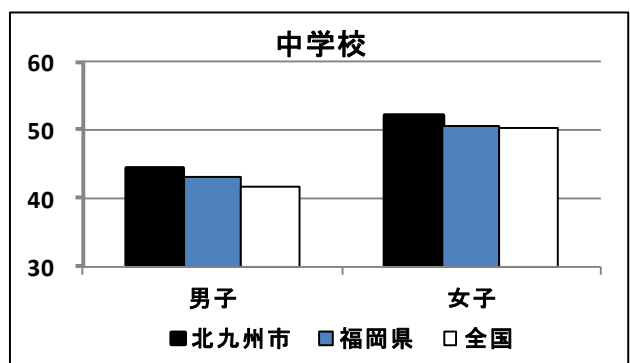
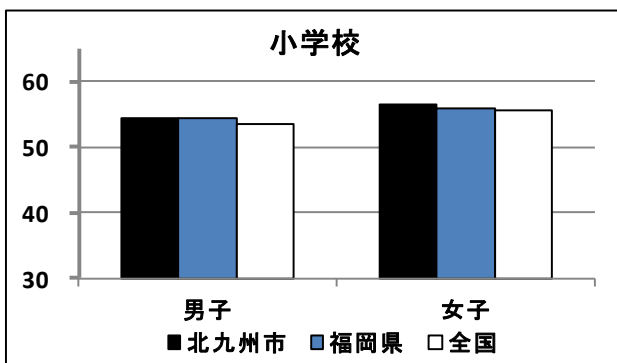


※町立中学校が1校のため、公表しない。

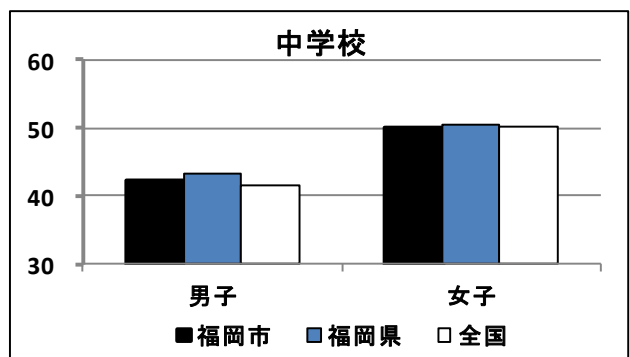
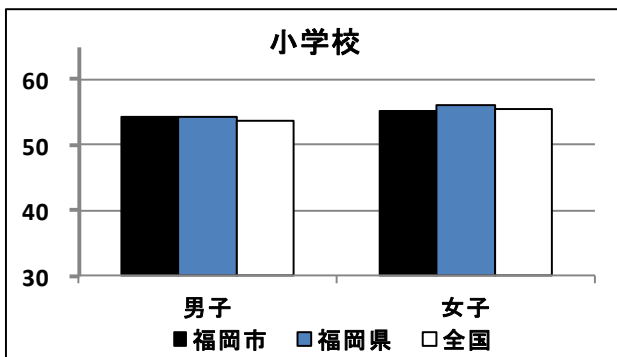
【築上町】



【北九州市】

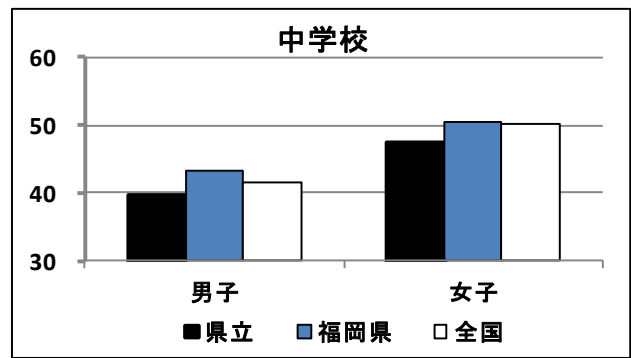


【福岡市】



【県立中学校・県立中等教育学校（前期課程）】

※県立小学校はない。



Ⅱ 児童生徒に対する調査結果の概要

Ⅱ－２ 児童生徒に対する質問紙調査

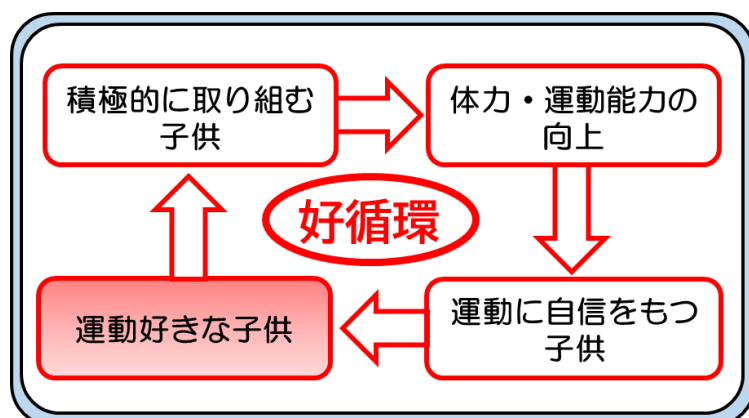
(1) 運動やスポーツに対する意識

○ 児童生徒質問紙「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答

ア 福岡県の推移と全国との比較

イ 各地区の状況

ウ 「運動やスポーツに対する意識」と「体力合計点」とのクロス集計

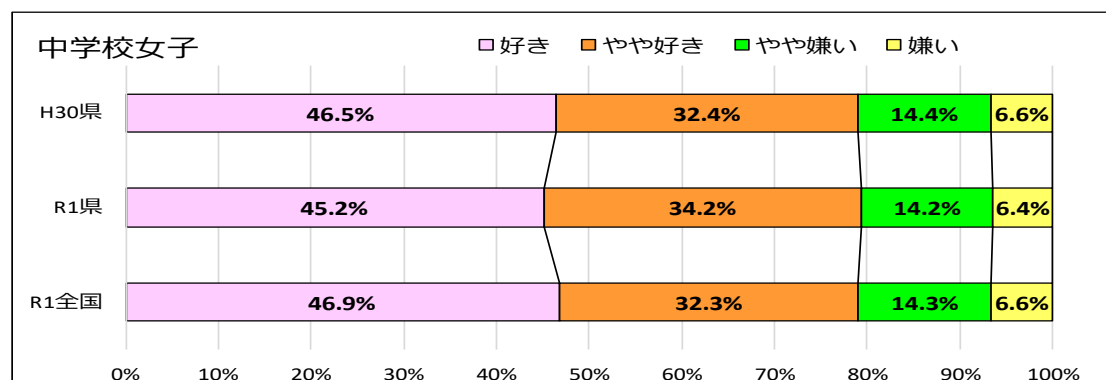
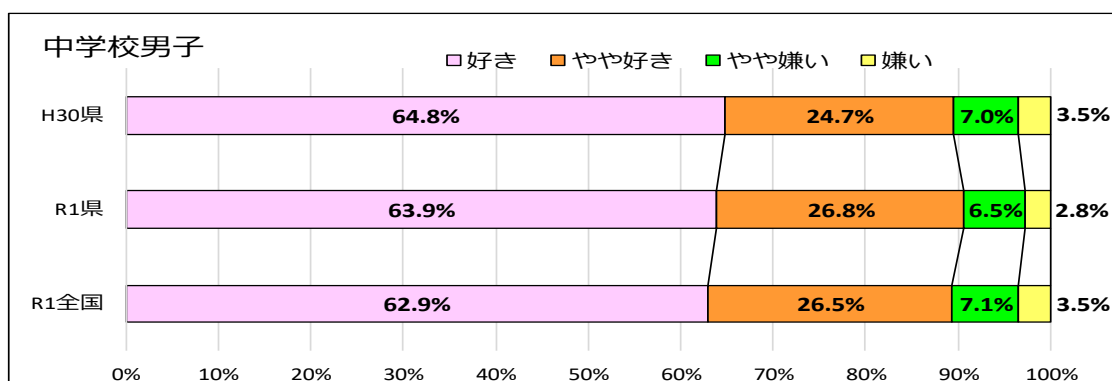
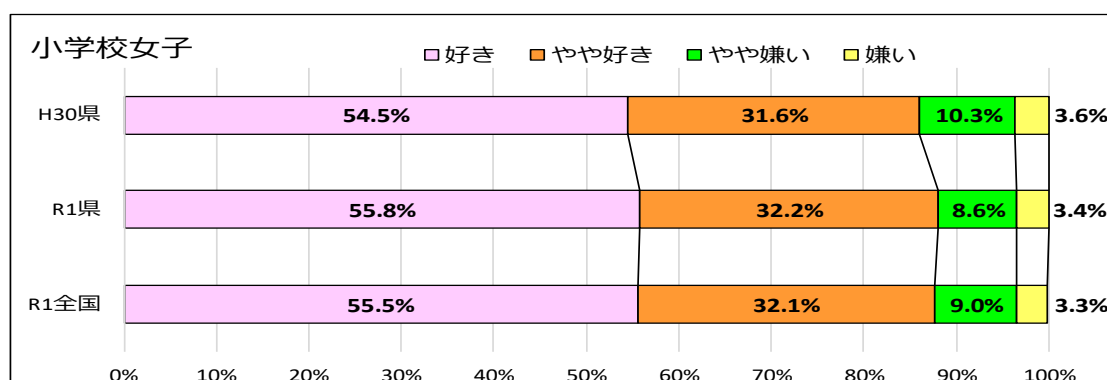
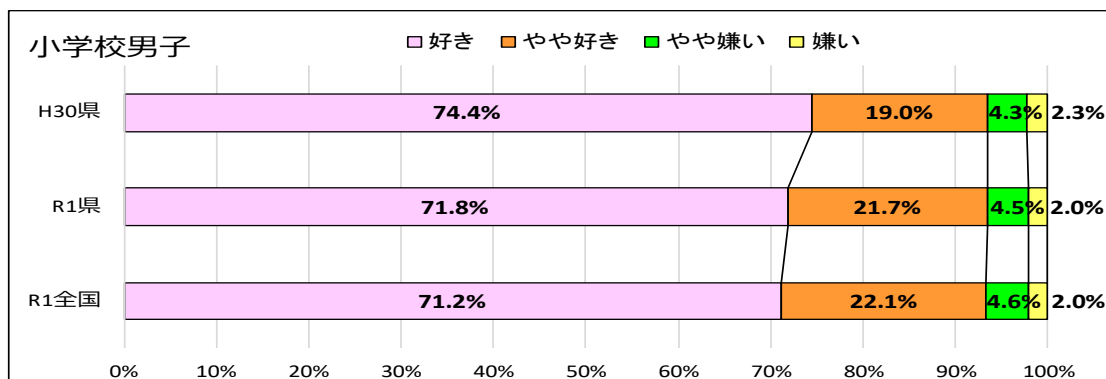


Ⅱ－２ 児童生徒に対する質問紙調査

(１) 運動やスポーツに対する意識

○ 児童生徒質問紙「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答の割合

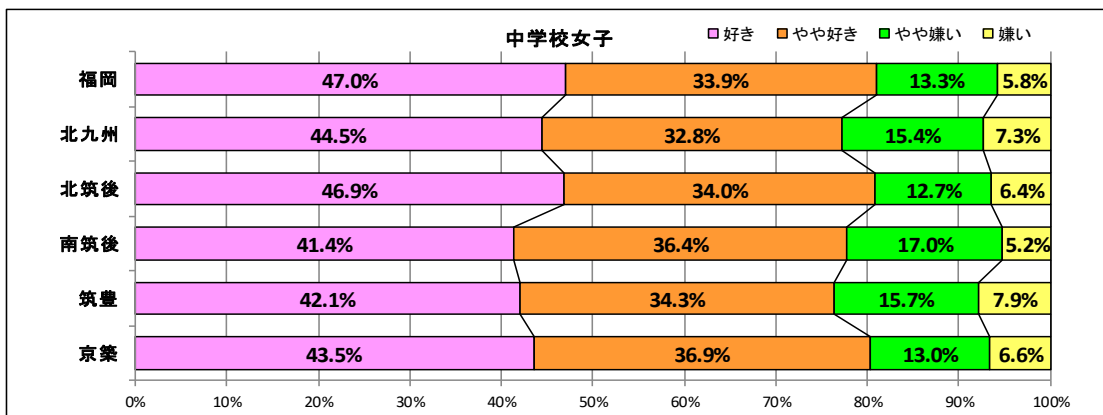
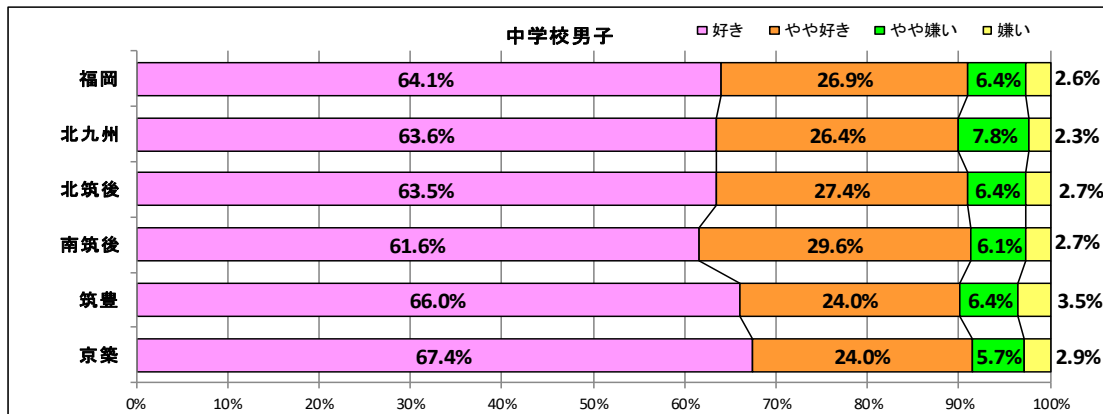
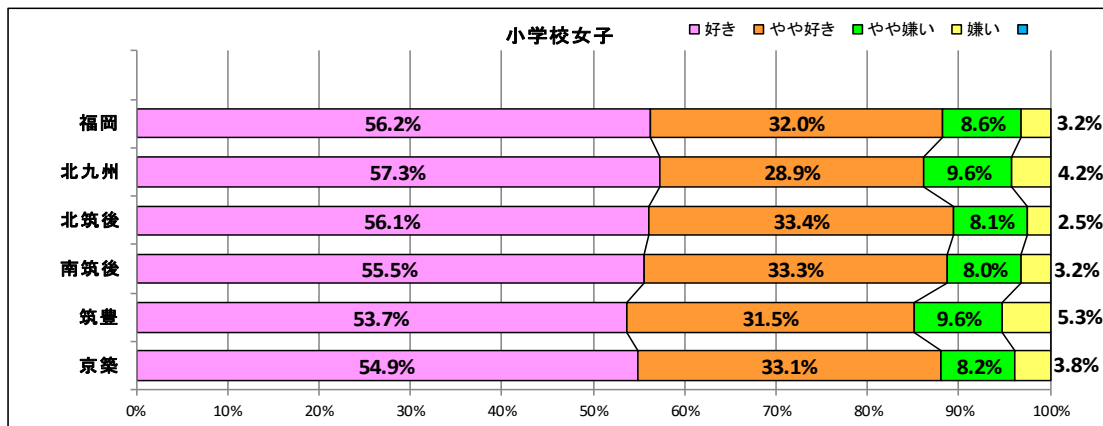
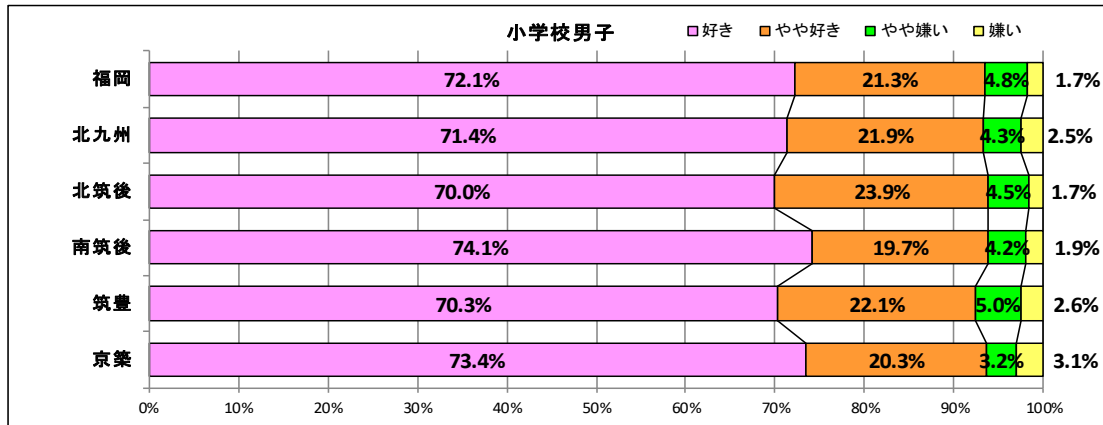
ア 福岡県の推移と全国との比較



【福岡県の状況】

- 昨年度と比較すると、「嫌い・やや嫌い」と回答した児童生徒の割合が、小学校男女及び中学校男女すべての区分において減少している。
- 小学校男女及び中学校男女すべての区分において、「嫌い・やや嫌い」と回答した児童生徒の割合が、全国平均を下回っている。

イ 各地区の状況



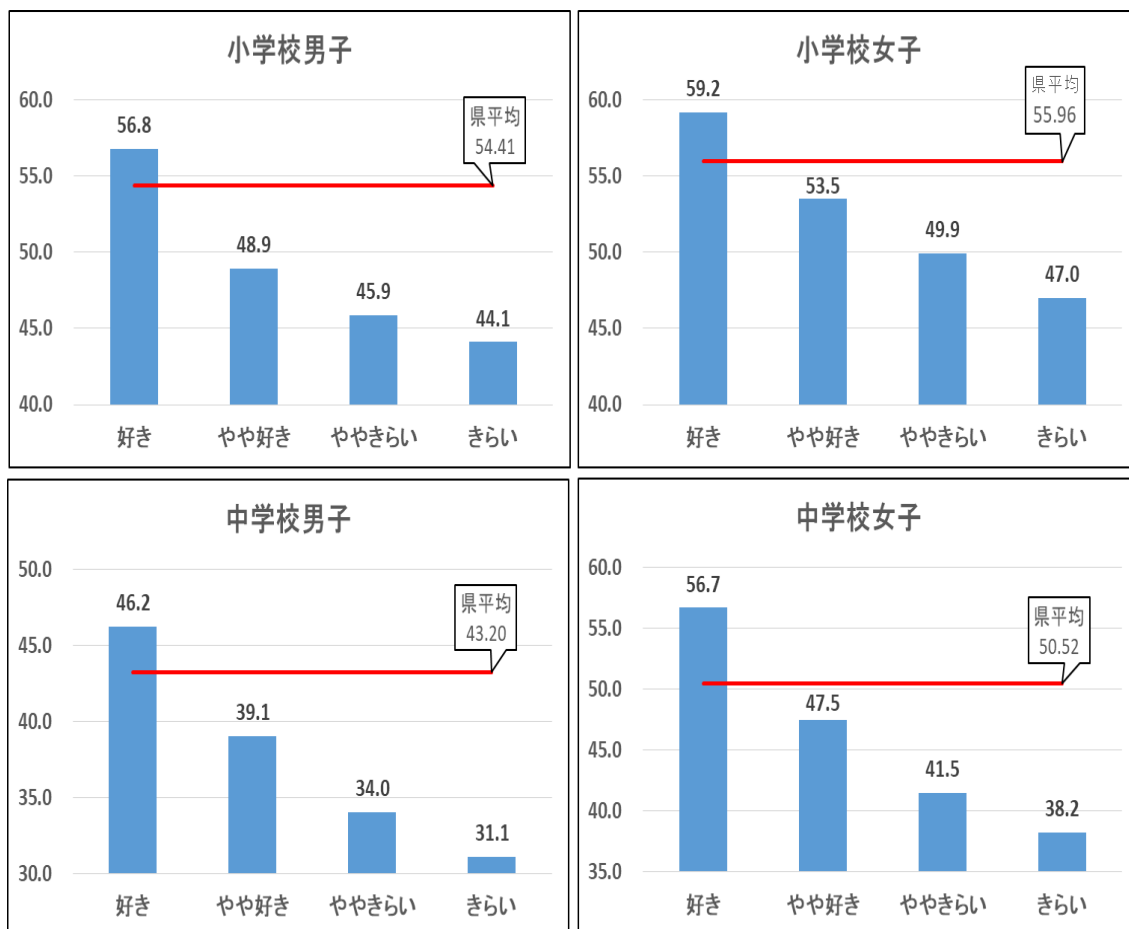
【小学校の状況】

- 「嫌い・やや嫌い」と回答した児童の割合が全国値（男子 6.6% 女子 12.3%）より高いのは、男女ともに、北九州・筑豊であった。

【中学校の状況】

- 「嫌い・やや嫌い」と回答した生徒の割合が全国値（男子 10.6% 女子 20.9%）より高いのは、女子が北九州・南筑後・筑豊であった。

ウ 「運動やスポーツに対する意識」と「体力合計点」とのクロス集計



【小学校の状況】

- 男女ともに、運動やスポーツをすることが「好き」と回答した児童ほど、体力合計点が高かった。また、男女ともに「好き」と回答した児童の体力合計点平均値は、県平均値より高かった。

【中学校の状況】

- 小学校と同様に、男女ともに、運動やスポーツをすることが「好き」と回答した生徒ほど、体力合計点が高かった。また、男女ともに「好き」と回答した生徒の体力合計点平均値は、県平均値より高かった。

Ⅱ 児童生徒に対する調査結果の概要

Ⅱ－２ 児童生徒に対する質問紙調査

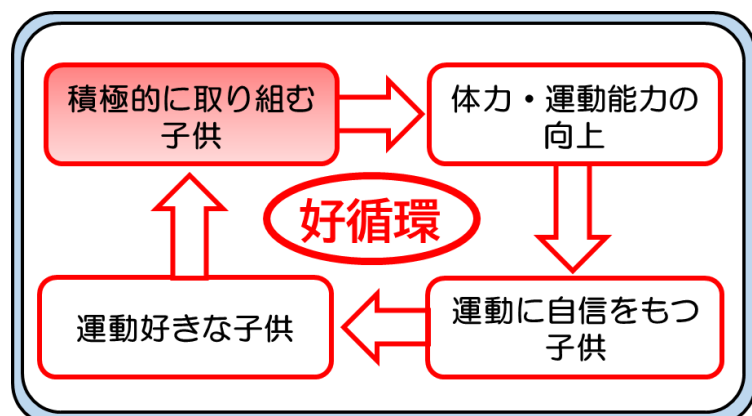
(2) 1 週間の総運動時間

○ 児童生徒質問紙「体育（保健体育）の授業以外で運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをどれくらいしていますか」の回答

ア 福岡県の推移と全国との比較

イ 各地区の状況

ウ 「1 週間の総運動時間」と「体力合計点」とのクロス集計

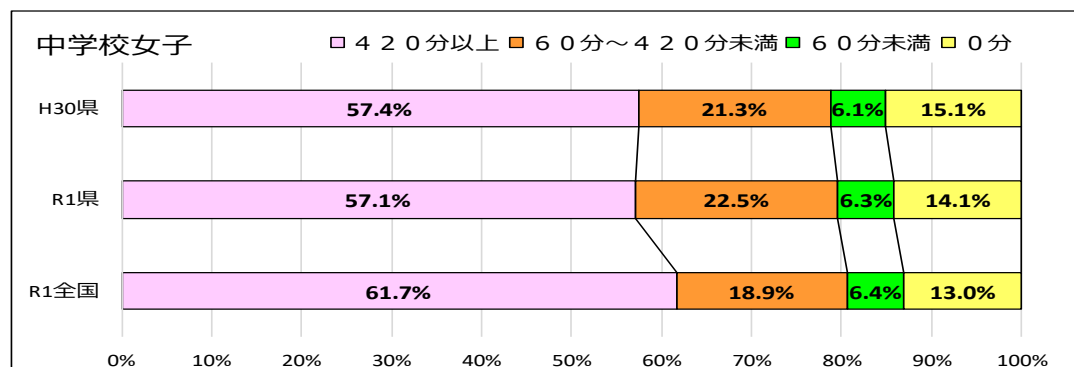
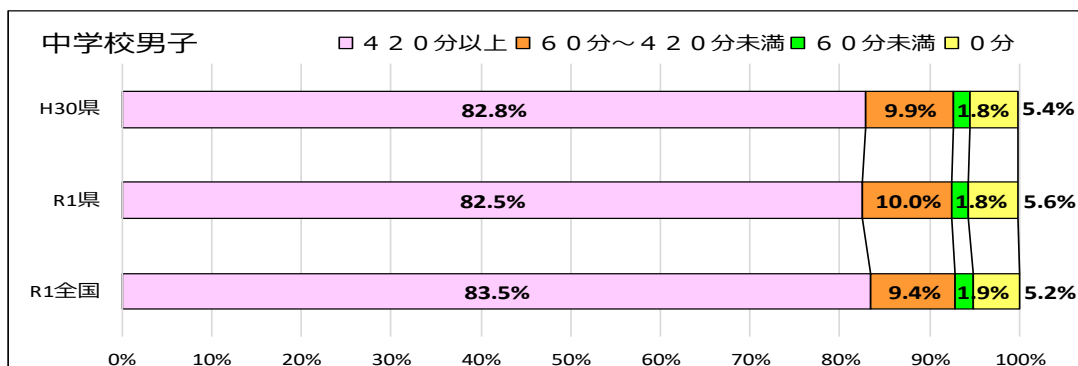
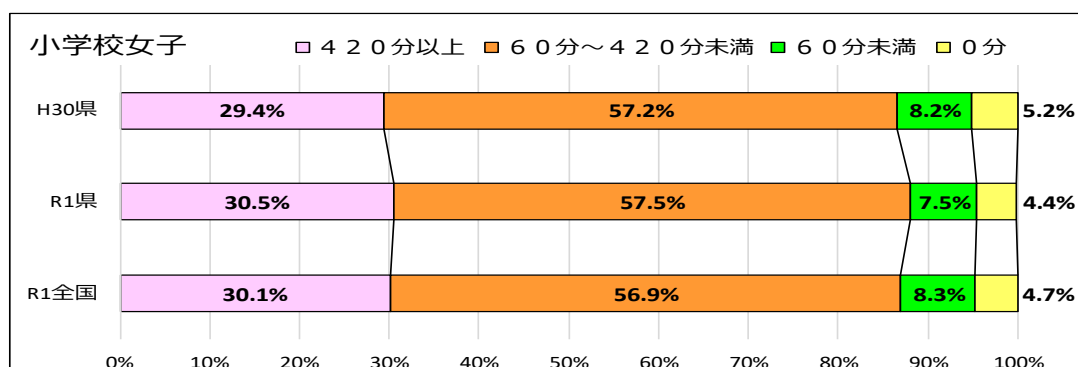
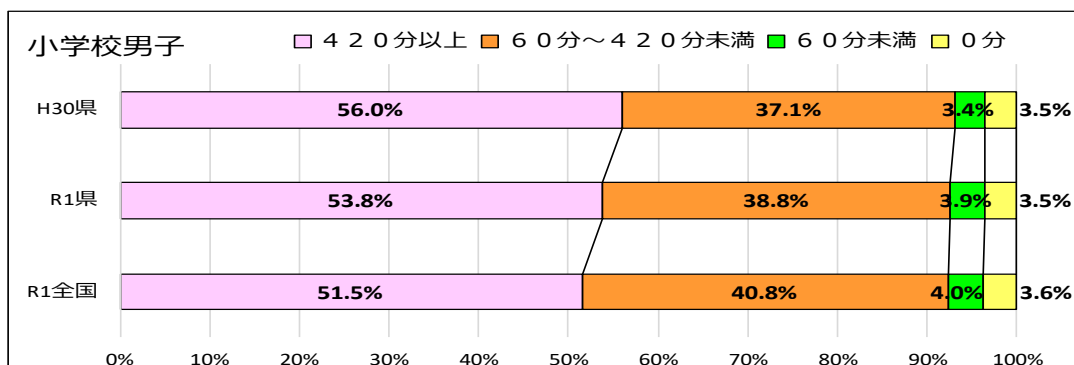


Ⅱ－２ 児童生徒に対する質問紙調査

(２) １週間の総運動時間

- 児童生徒質問紙「体育（保健体育）の授業以外で運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをどれくらいしていますか」の回答の割合

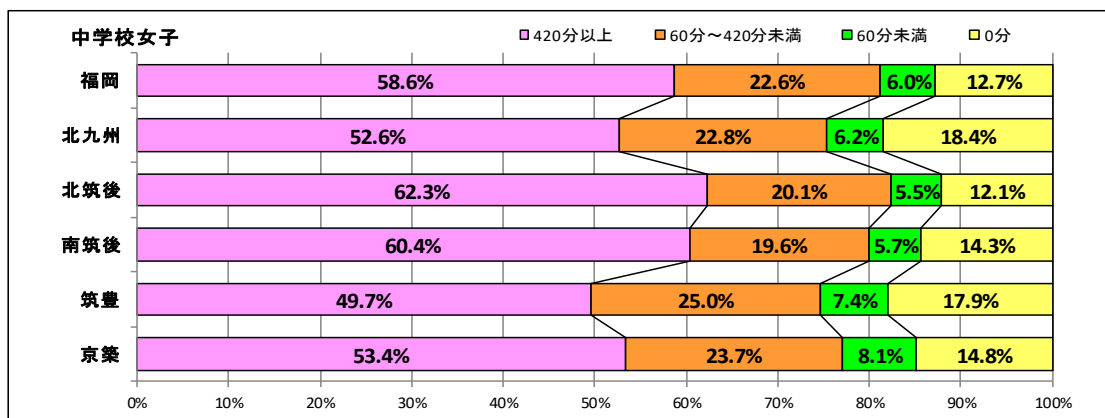
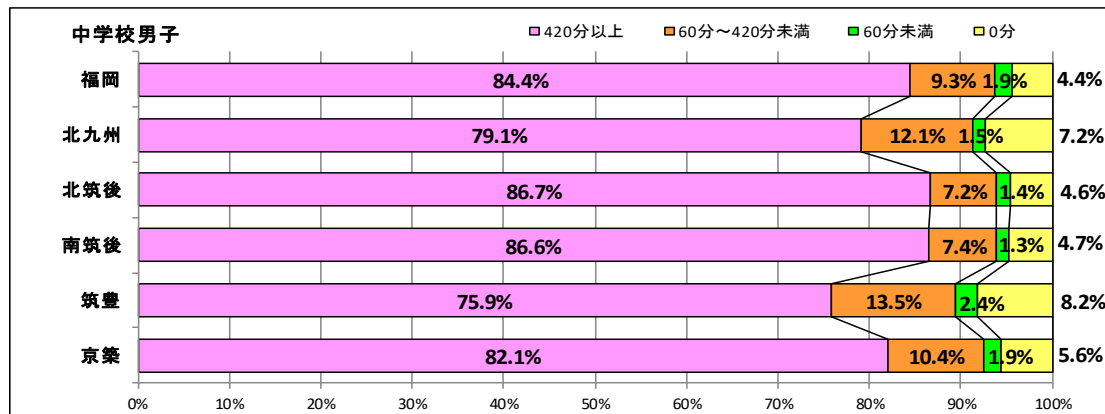
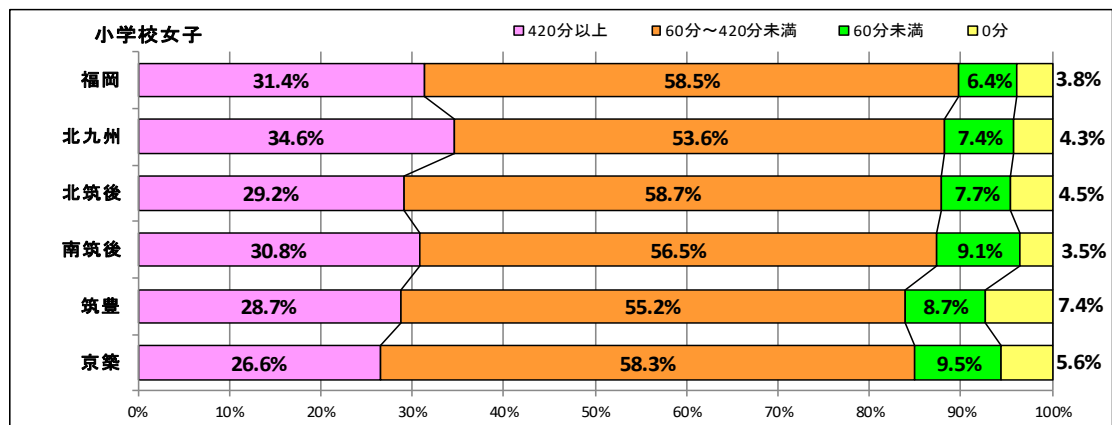
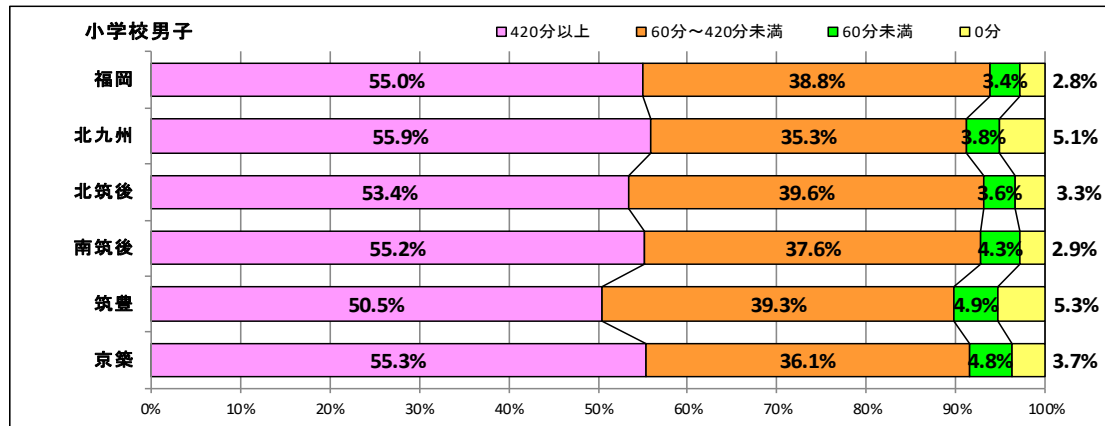
ア 福岡県の推移と全国との比較



【福岡県の状況】

- 昨年度と比較すると、1週間の総運動時間「60分未満」の割合は、小中学校男子において増加し、小中学校女子において減少している。
- 小学校男女の1週間の総運動時間「60分未満」の割合は、全国平均を下回っている。しかし、中学校男女は、全国平均を上回っている。

イ 各地区の状況



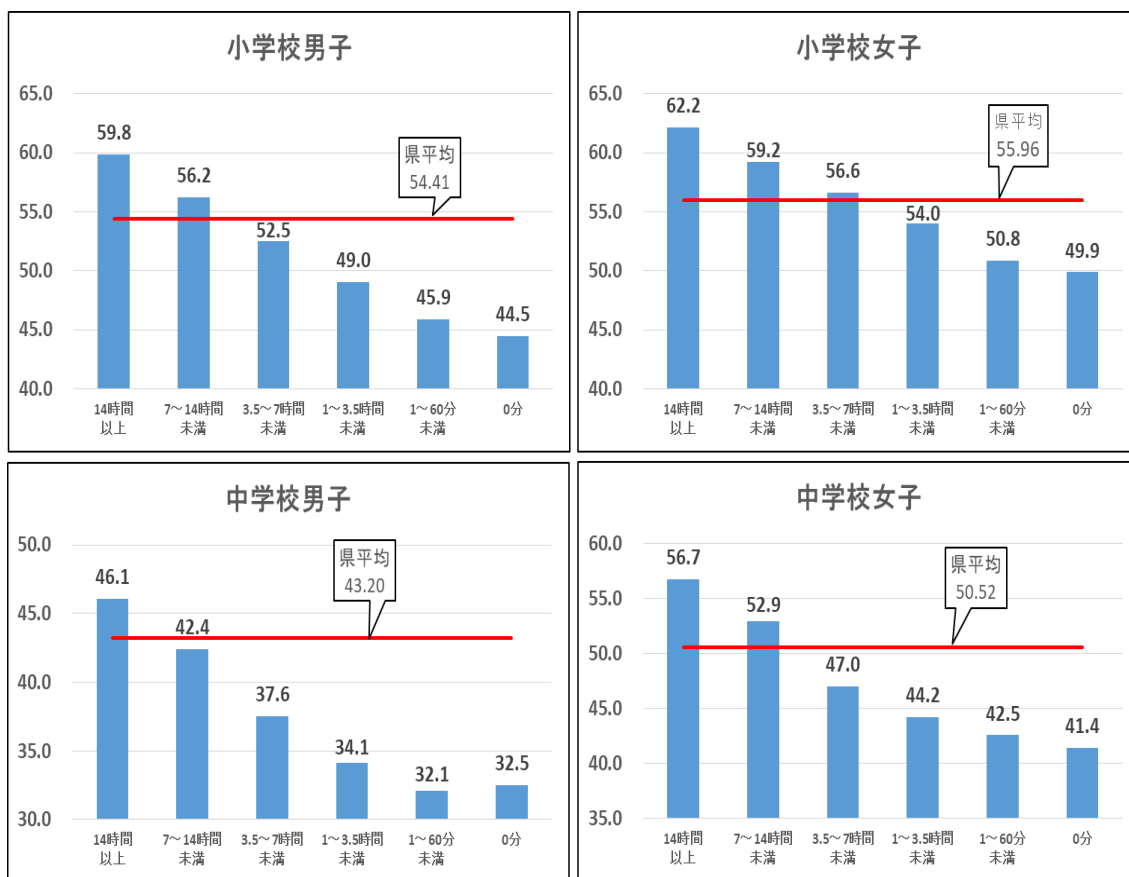
【小学校の状況】

- 1週間の総運動時間「60分未満」の割合が全国値（男子7.6% 女子13.0%）より高いのは、男子が北九州・筑豊・京築、女子が福岡・筑豊・京築であった。

【中学校の状況】

- 1週間の総運動時間「60分未満」の割合が全国値（男子7.1% 女子19.4%）より高いのは、男子が北九州・筑豊・京築、女子が北九州・南筑後・筑豊・京築であった。

ウ 「1週間の総運動時間」と「体力合計点」とのクロス集計



【小学校の状況】

- 男女ともに、1週間の総運動時間が長い児童ほど体力合計点が高かった。また、男子では「7時間以上」、女子では「3.5時間以上」運動をしている児童の体力合計点は、県平均値より高かった。

【中学校の状況】

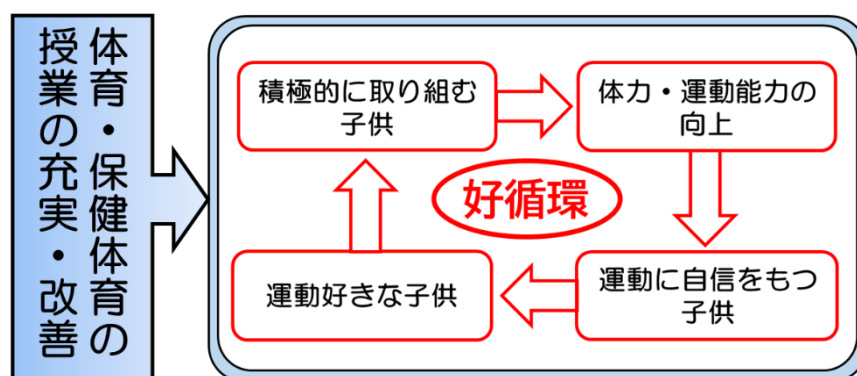
- 小学校と同様に、男女ともに、1週間の総運動時間が長い生徒ほど体力合計点が高かった。また、男子では「14時間以上」、女子では「7時間以上」運動をしている生徒の体力合計点は、県平均値より高かった。

Ⅱ 児童生徒に対する調査結果の概要

Ⅱ－２ 児童生徒に対する質問紙調査

(3) 体育(保健体育)の授業に 対する意識

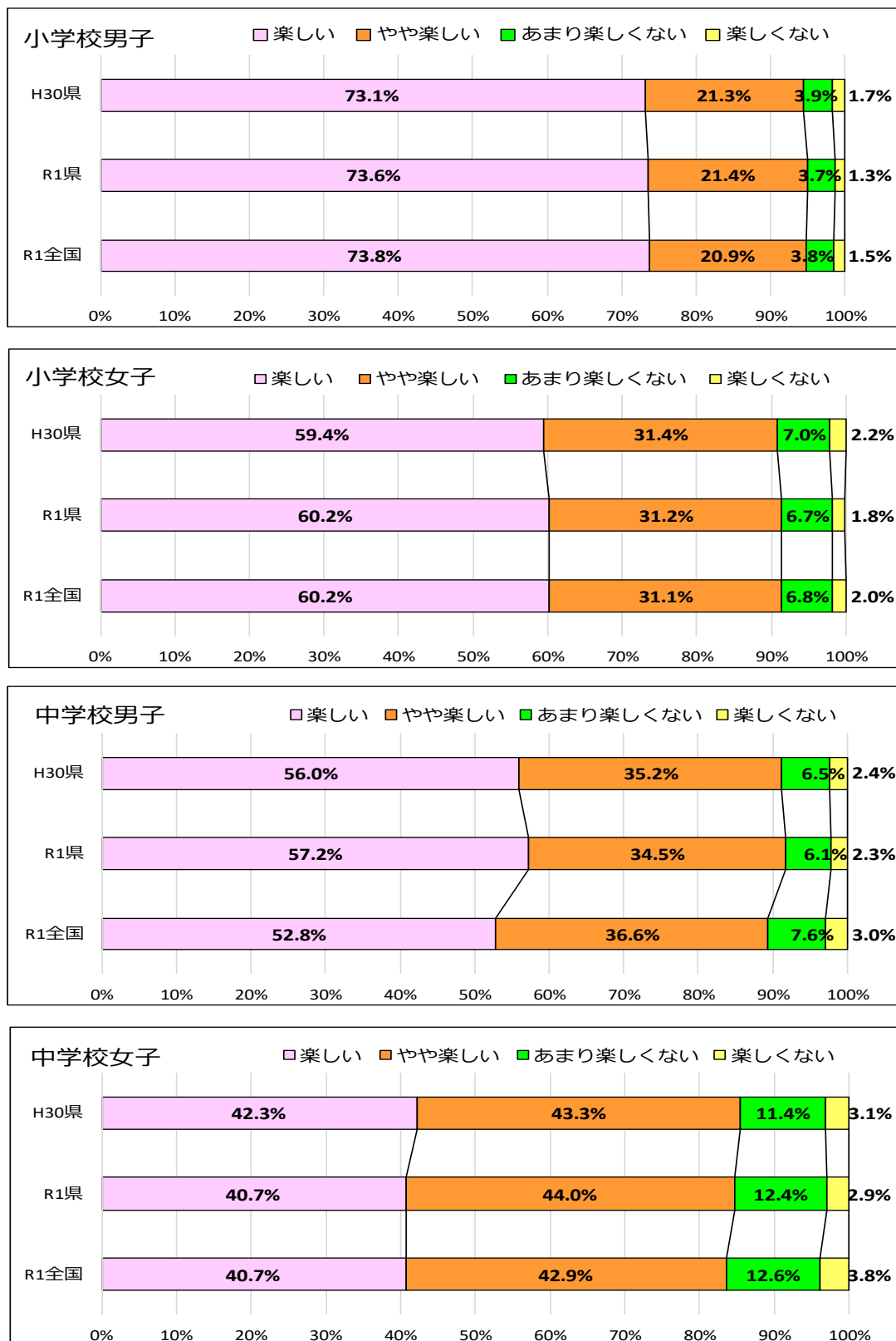
- 児童生徒質問紙「体育(保健体育)の授業は楽しいですか」の回答
- 児童生徒質問紙「体育(保健体育)の授業で、授業の始めに授業の目標(目当て・ねらい)が示されていますか」の回答
- 児童生徒質問紙「体育(保健体育)の授業では、授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っていますか」の回答
- 児童生徒質問紙「体育(保健体育)の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか」の回答
- 児童生徒質問紙「体育(保健体育)の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか」の回答
- 「体育(保健体育)の授業に対する意識」と「体力合計点」とのクロス集計



Ⅱ－２ 児童生徒に対する質問紙調査

（３）体育（保健体育）の授業に対する意識

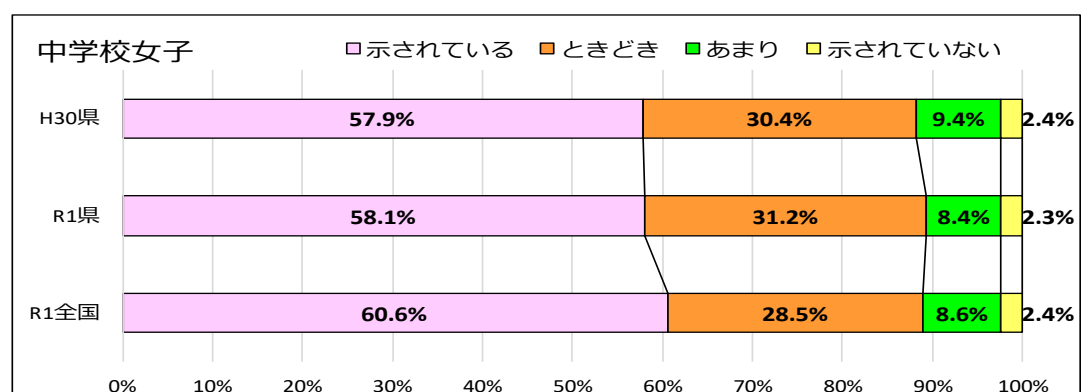
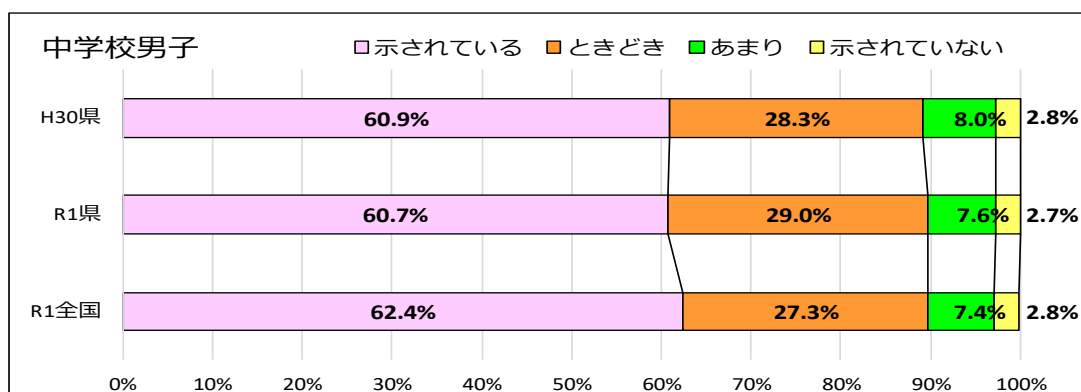
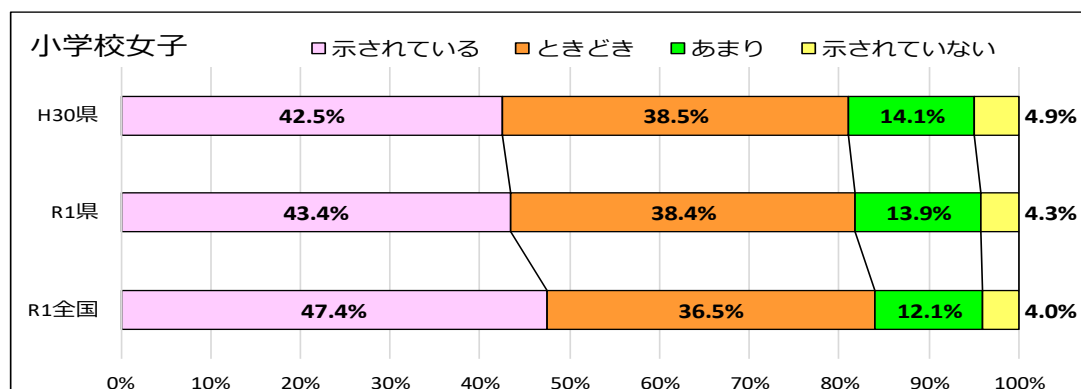
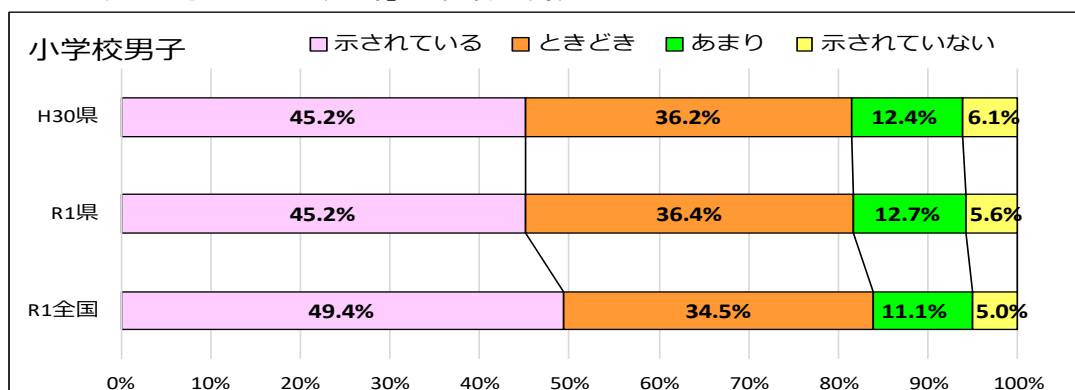
○ 児童生徒質問紙「体育（保健体育）の授業は楽しいですか」の回答の割合



【福岡県の状況】

- 昨年度と比較すると、「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答した児童生徒の割合は、小学校男女及び中学校男子において減少している。
- 小中学校男女すべてにおいて、「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答した児童生徒の割合は、全国平均を下回っている。

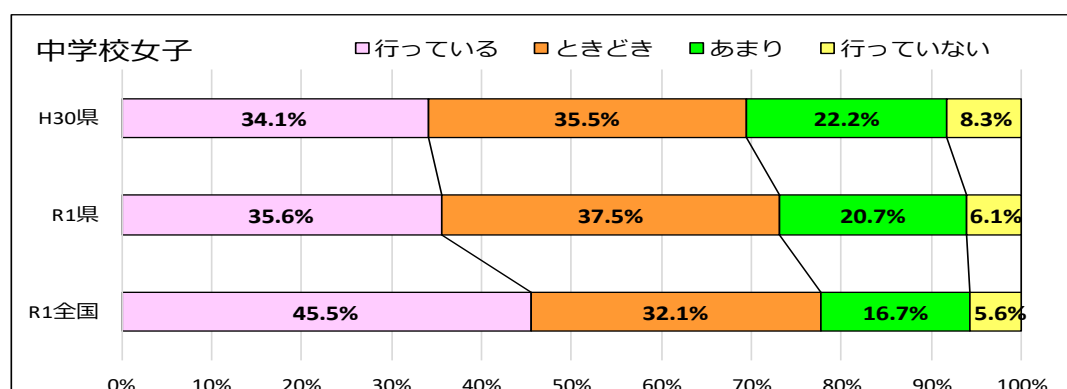
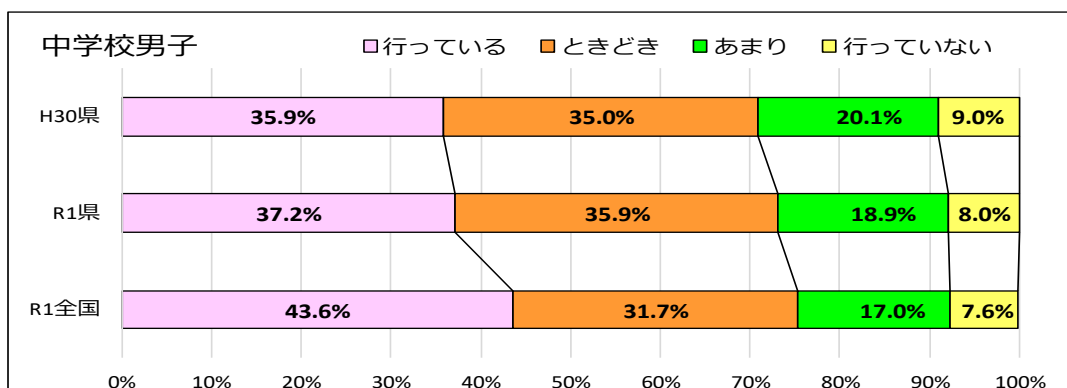
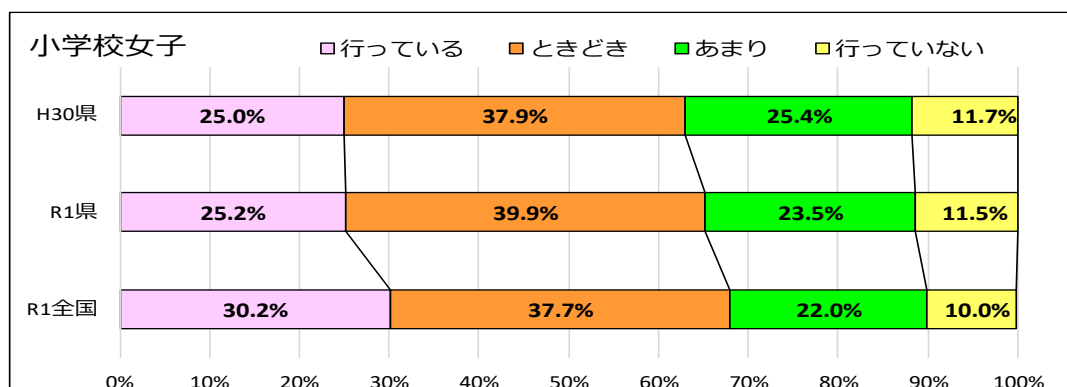
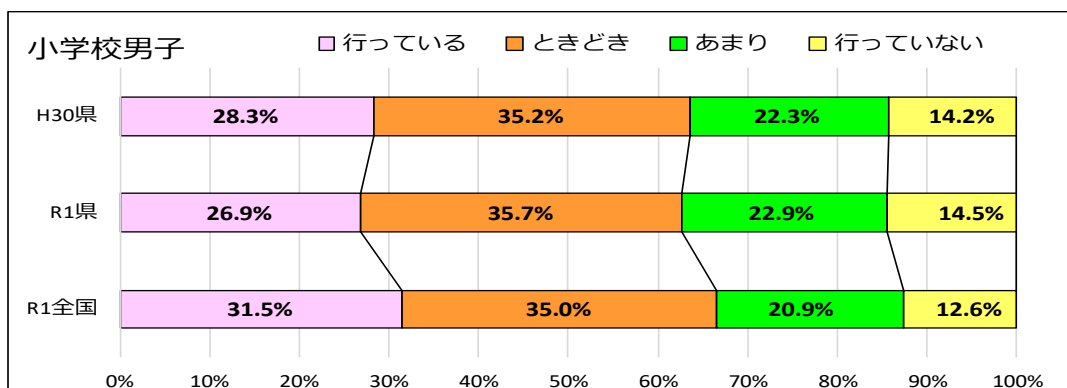
○ 児童生徒質問紙「体育（保健体育）の授業では、授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されていますか。」の回答の割合



【福岡県の状況】

- 昨年度と比較すると、授業の目標（目当て・ねらい）が示されている割合は、小中学校女子において増加している。
- 小中学校男女すべてにおいて、授業の目標（目当て・ねらい）が示されている割合は、全国平均を下回っている。

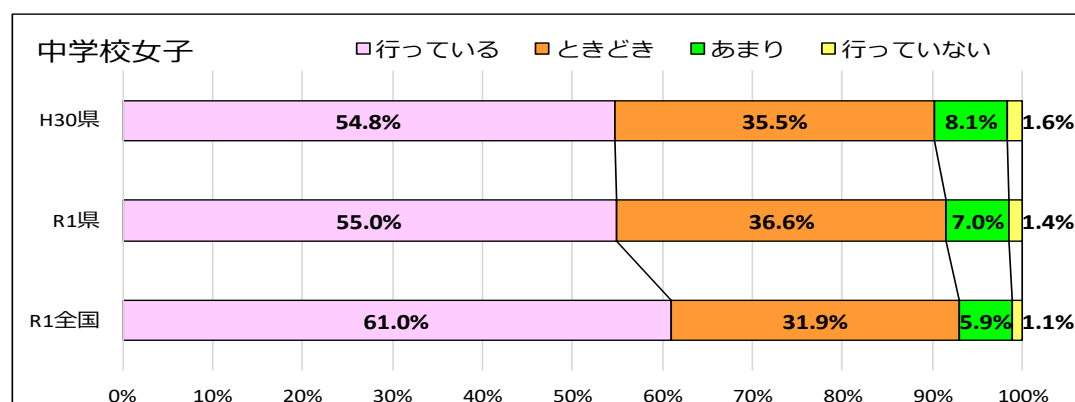
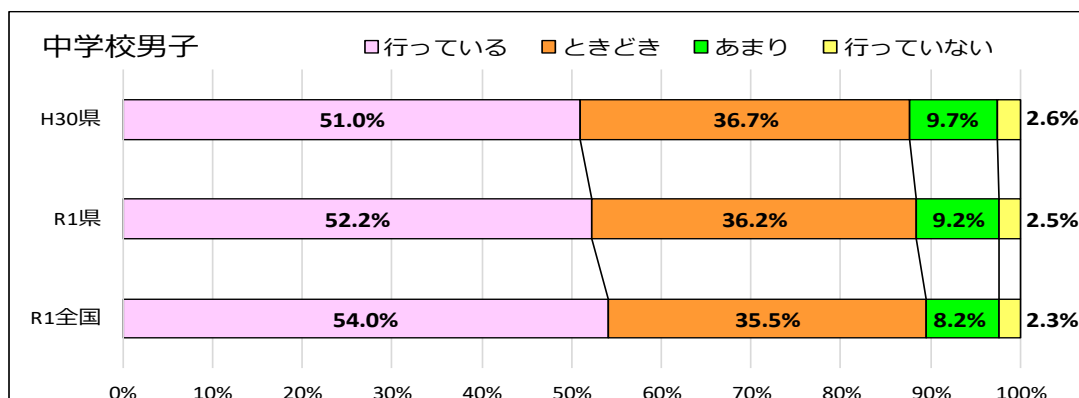
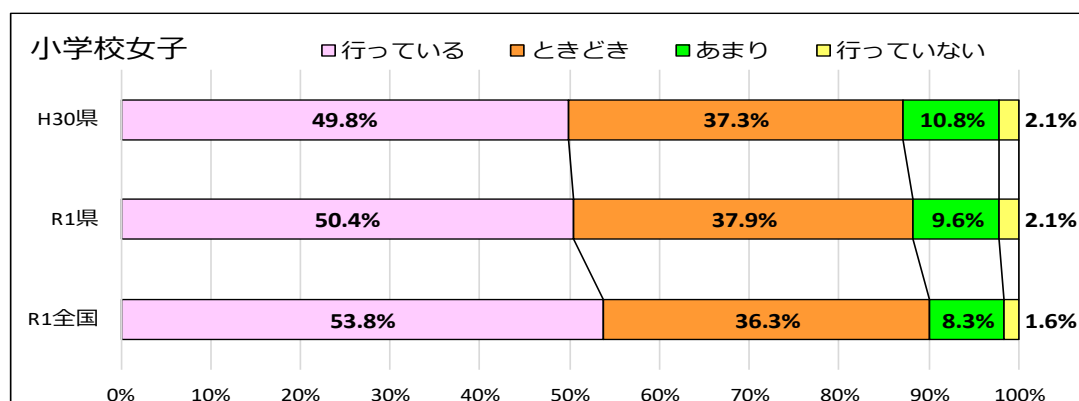
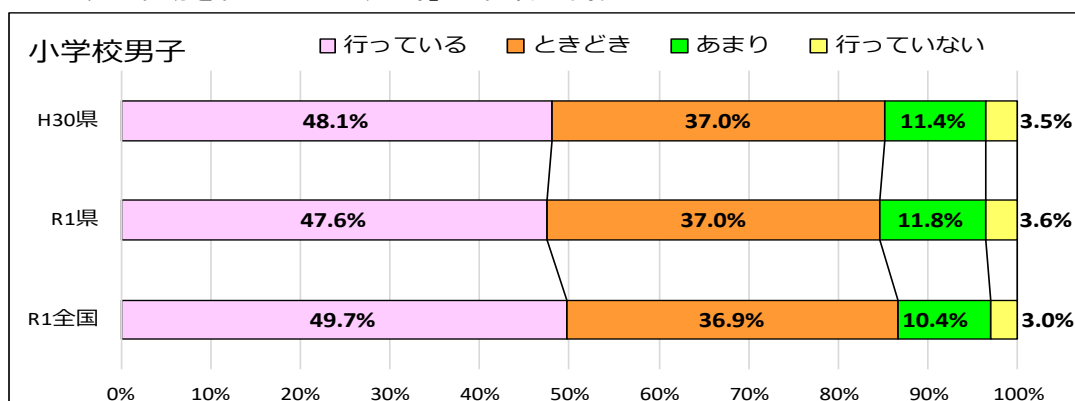
○ 児童生徒質問紙「体育（保健体育）の授業では、授業の最後に今日学んだ内容をふり返る活動を行っていますか。」の回答の割合



【福岡県の状況】

- 昨年度と比較すると、ふり返る活動を行っていると回答した児童生徒の割合は、小学校女子及び中学校男女において増加している。
- 小中学校男女すべてにおいて、ふり返る活動を行っていると回答した児童生徒の割合は、全国平均を下回っている。

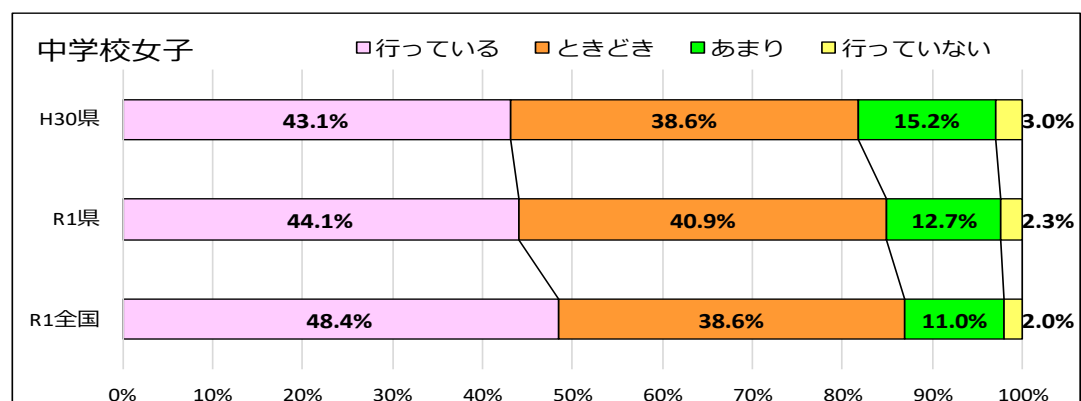
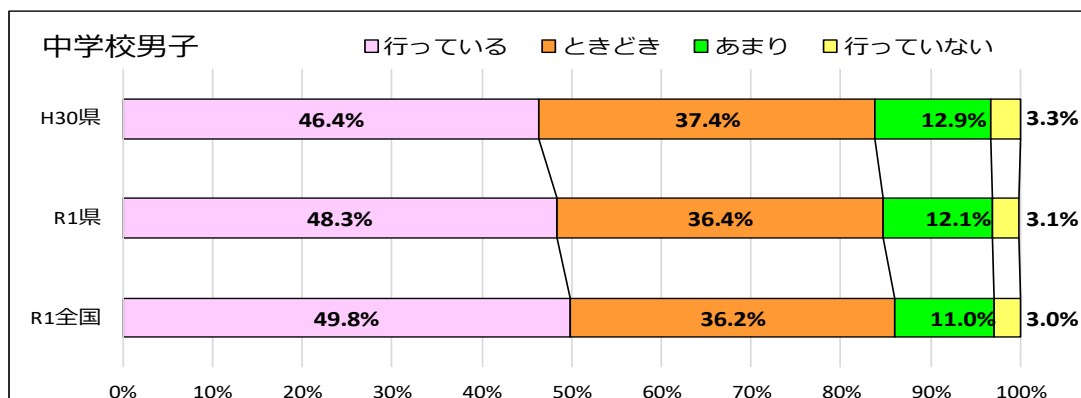
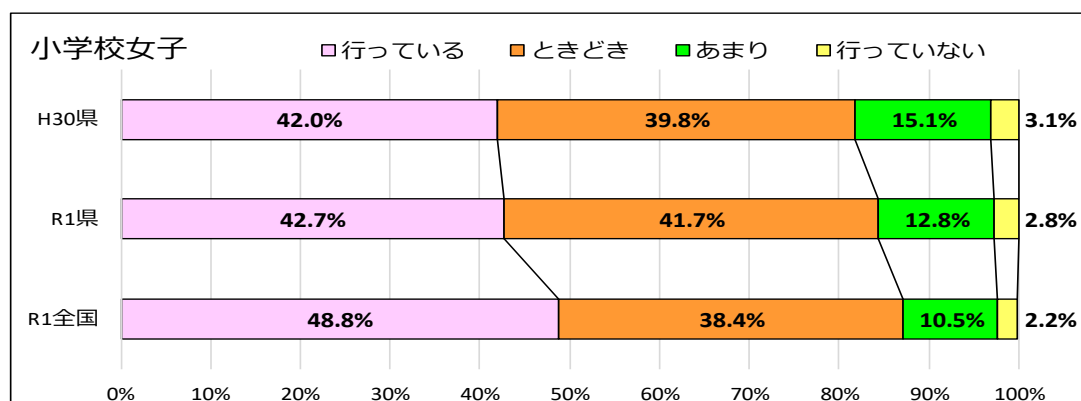
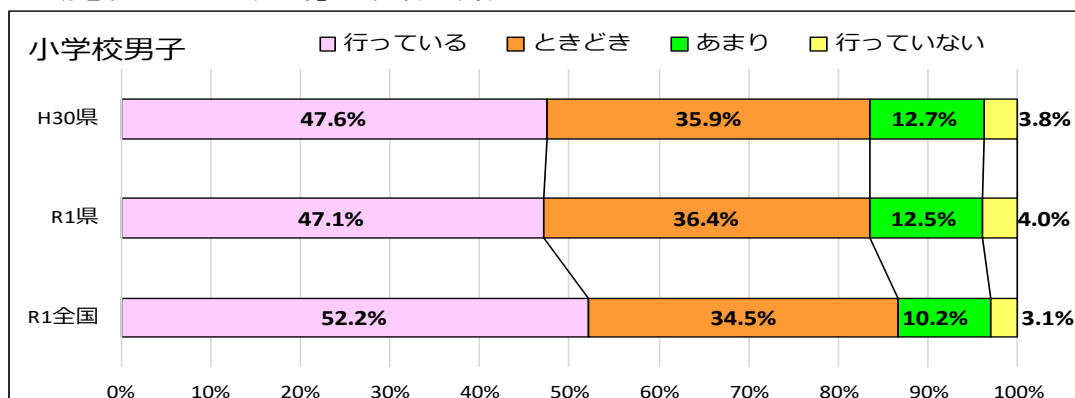
○ 児童生徒質問紙「体育（保健体育）の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。」の回答の割合



【福岡県の状況】

- 昨年度と比較すると、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っているという回答した児童生徒の割合は、小学校女子及び中学校男女において増加している。
- 小中学校男女すべてにおいて、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っているという回答した児童生徒の割合は、全国平均を下回っている。

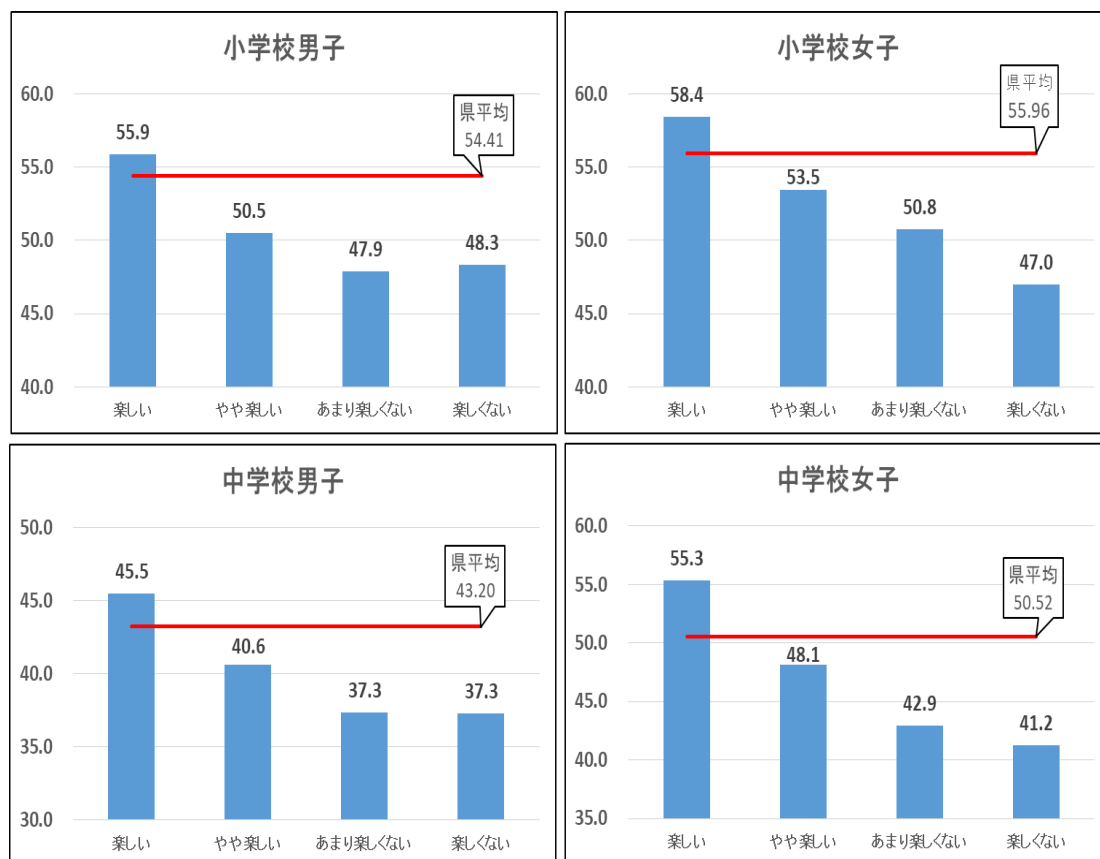
○ 児童生徒質問紙「体育（保健体育）の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか。」の回答の割合



【福岡県の状況】

- 昨年度と比較すると、話し合う活動を行っていると回答した児童生徒の割合は、小学校女子及び中学校男女において増加している。
- 小中学校男女すべてにおいて、話し合う活動を行っていると回答した児童生徒の割合は、全国平均を下回っている。

○ 「体育（保健体育）の授業に対する意識」と「体力合計点」とのクロス集計



【小学校の状況】

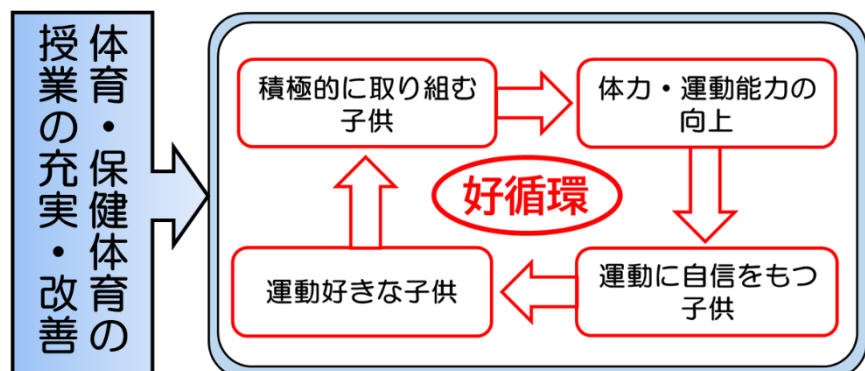
- 男女ともに、体育の授業が「楽しい」と回答した児童ほど体力合計点が高かった。また、男女ともに「楽しい」と回答した児童の体力合計点平均値は、県平均値より高かった。

【中学校の状況】

- 小学校と同様に、男女ともに、保健体育の授業が「楽しい」と回答した生徒ほど体力合計点が高かった。また、男女ともに「楽しい」と回答した生徒の体力合計点平均値は、県平均値より高かった。

Ⅲ 学校に対する調査結果の概要

- 学校質問紙「体育（保健体育）の授業で、目標・振り返る・助け合う・話し合うなどを取り入れていますか」の回答
- 学校質問紙「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の活用状況」の回答

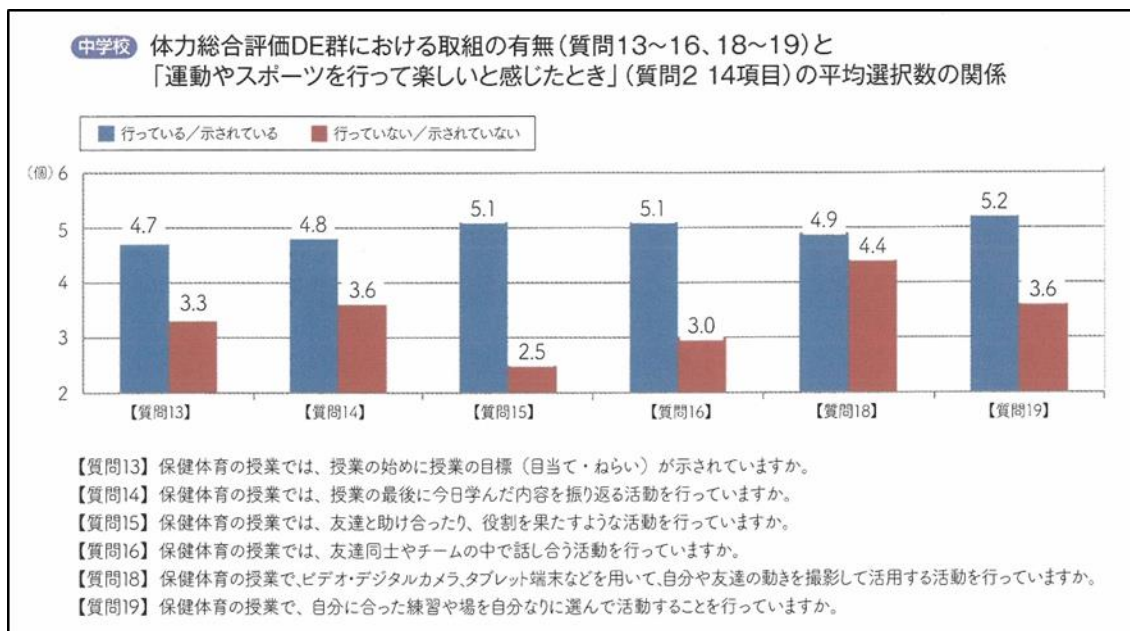
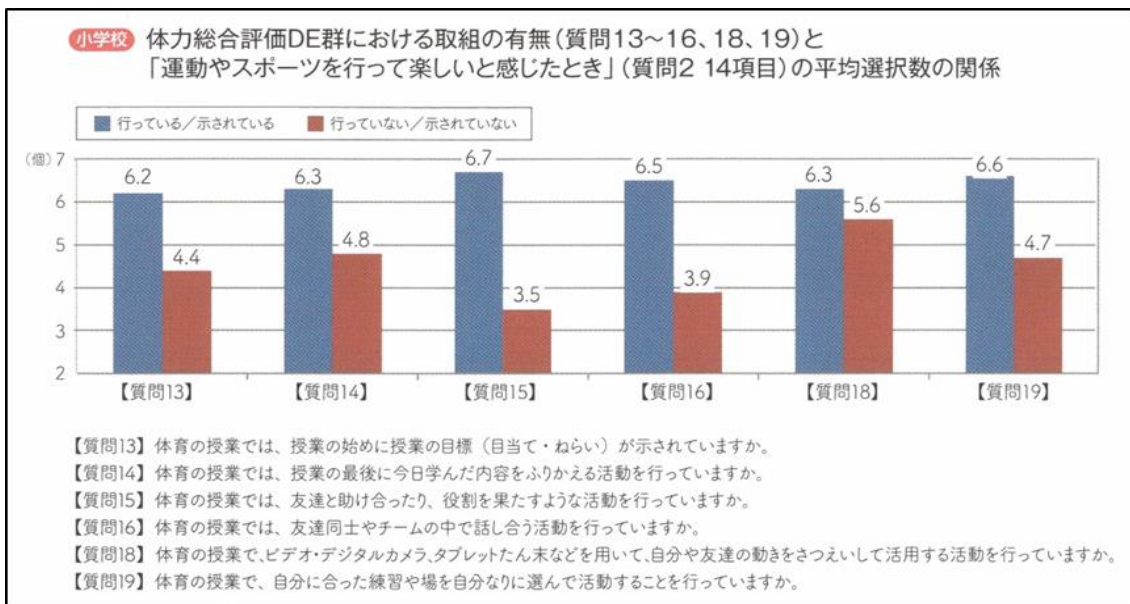


Ⅲ 学校に対する調査結果の概要

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書から

体育（保健体育）授業で様々な取組を行うことが児童生徒の運動やスポーツへの楽しさにつながるようになりました。

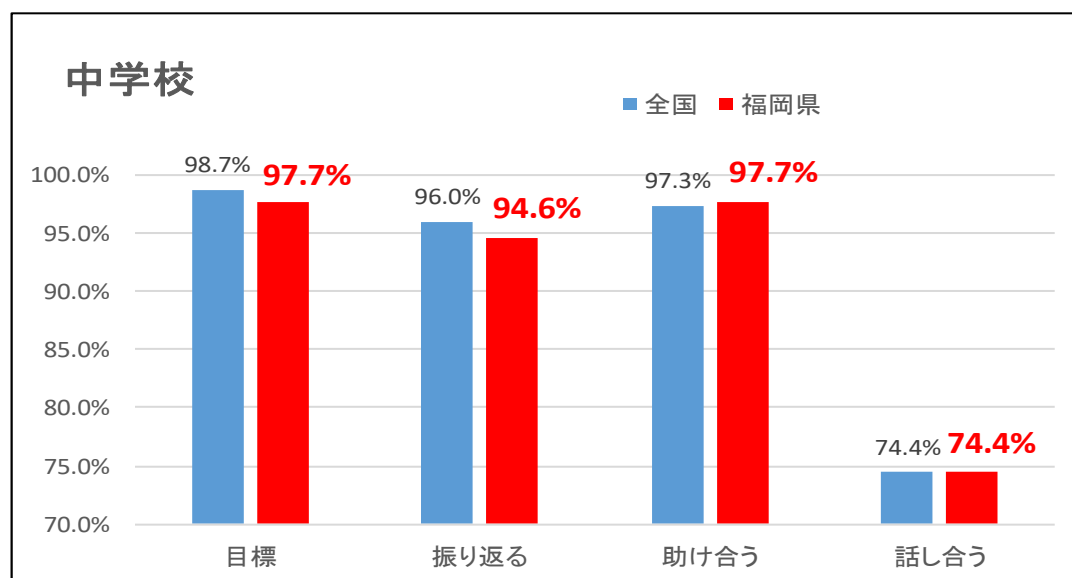
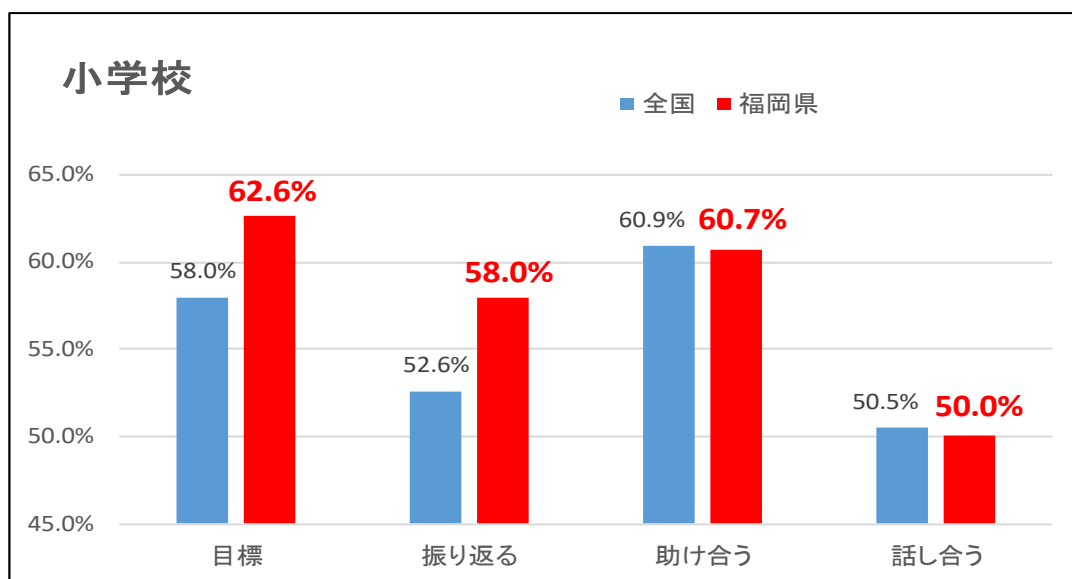
【令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果報告書 学校用確認シート参照】



運動が苦手な児童生徒でも、体育（保健体育）の授業で様々な取組を行っていると、「運動やスポーツを行って楽しいと感じるとき」（質問2 14項目）の選択数が増えることが分かりました。助け合いや話し合い活動による友人との関わりや個の特性に応じた場の設定等の取組が「運動やスポーツの楽しさ」につながることを期待できます。

【スポーツ庁 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果報告書 p44参照】

- 学校質問紙「体育（保健体育）の授業で、目標・振り返る・助け合う・話し合う取組を取り入れていますか」の回答の割合



【目標】体育（保健体育）の授業の冒頭で、その授業の目標（めあて・ねらい等）を児童生徒に示す活動を取り入れていると回答した学校の割合

【振り返る】体育（保健体育）の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動を取り入れていると回答した学校の割合

【助け合う】体育（保健体育）の授業では、児童生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れていると回答した学校の割合

【話し合う】体育（保健体育）の授業では、児童生徒同士で話し合う活動を取り入れていると回答した学校の割合

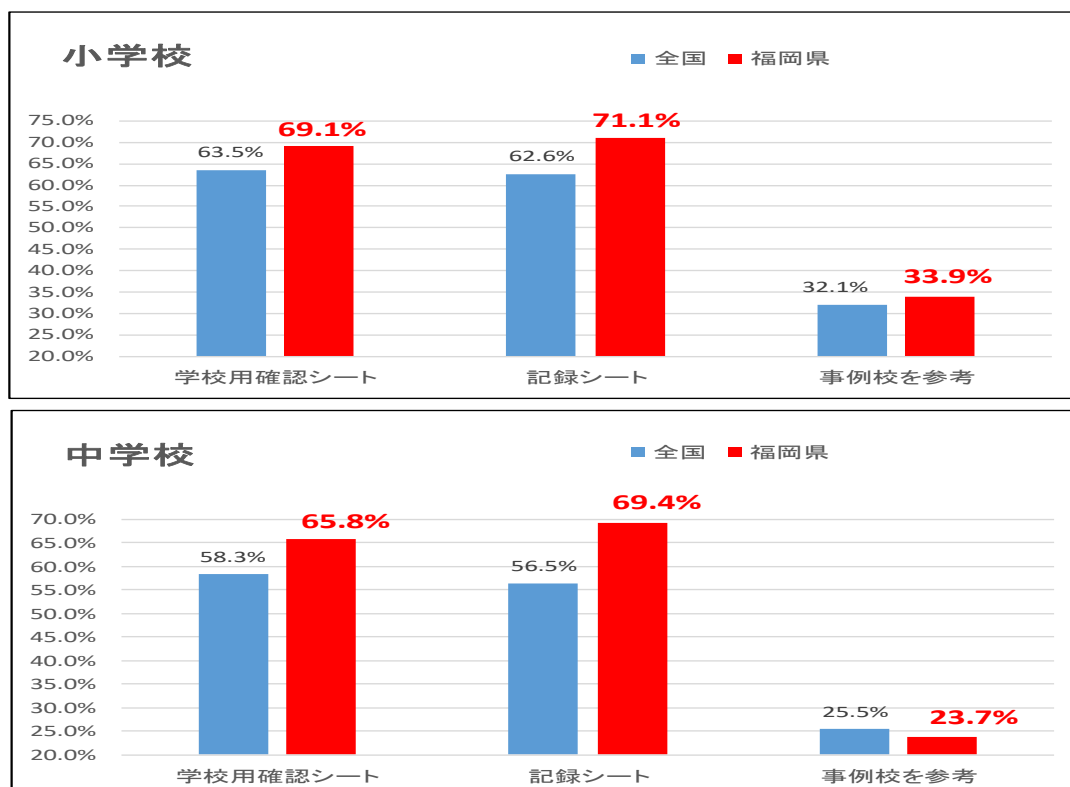
【小学校の状況】

- 「目標を示す活動」「振り返る活動」を取り入れている学校の割合は、全国平均を上回っている。しかし、「助け合う活動」「話し合う活動」を取り入れている学校は、全国平均を下回っている。

【中学校の状況】

- 「助け合う活動」を取り入れている学校の割合は、全国平均を上回っている。

○ 学校質問紙「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の活用状況」の回答の割合



【学校用確認シート】平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「学校用確認シート」（下図参照）を活用したと回答した学校の割合

【記録シート】平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「記録シート」を活用したと回答した学校の割合

【事例校を参考】平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書に掲載した事例校の実践を参考にした取組を行ったと回答した学校の割合

小学校 学校用確認シート

今年度の調査結果について、自校の状況を確認しましょう

1 自校の児童の体力や運動習慣状況を確認し、次年度の取組に活かしましょう

2 今年度は、運動が苦手な児童でも運動やスポーツの楽しさを実感できる授業等の取組について分析しています

中学校 学校用確認シート

今年度の調査結果について、自校の状況を確認しましょう

1 自校の生徒の体力や運動習慣状況を確認し、次年度の取組に活かしましょう

2 今年度は、運動が苦手な生徒でも運動やスポーツの楽しさを実感できる授業等の取組について分析しています

今年度もスポーツ庁から各学校へ送付されています。今年度の調査結果について、自校の状況を確認するためのシートです。

【令和元年度 学校用確認シート ～スポーツ庁～】

Ⅳ 児童生徒の体力低下の 背景について

- 1 週間の総運動時間の推移
- 1 日のスクリーンタイムの推移
- 肥満傾向・痩身傾向の出現率の推移
- 朝食を食べない児童生徒の推移



Ⅳ 児童生徒の体力低下の背景について

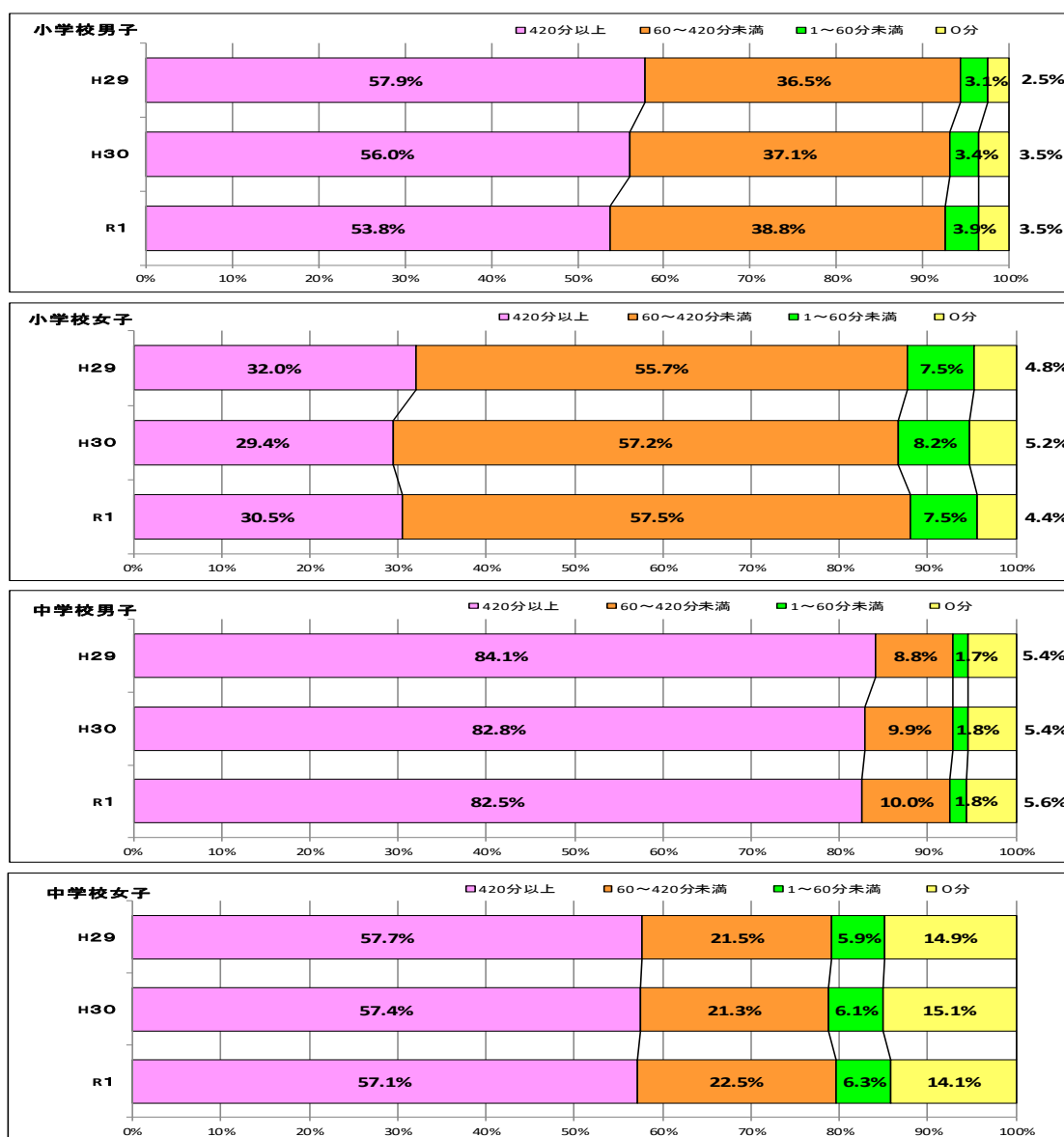
スポーツ庁は、体力合計点の全国平均値が低下したことの背景として以下の4点を挙げています。

- 授業以外の運動時間の減少→「1週間の運動時間が420分以上の割合が、小・中学生ともに減少」
- スクリーンタイムの増加→「小・中学生ともに増加しており、特に男子が長時間化している」
- 肥満である児童生徒の増加→「小・中学生ともに増加」
- 朝食を食べない児童の増加→「小学生が増加。ただし、中学生は変化なし」

※スクリーンタイム…平日1日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間

福岡県の状況

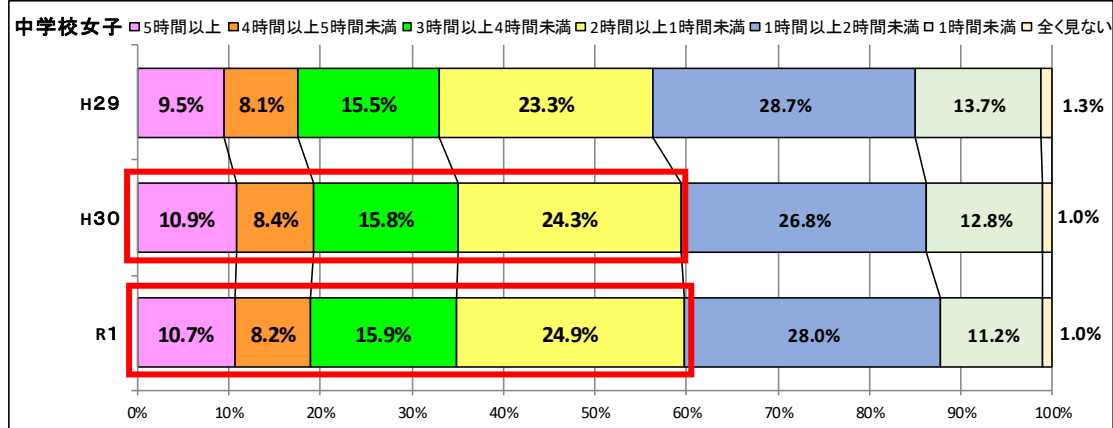
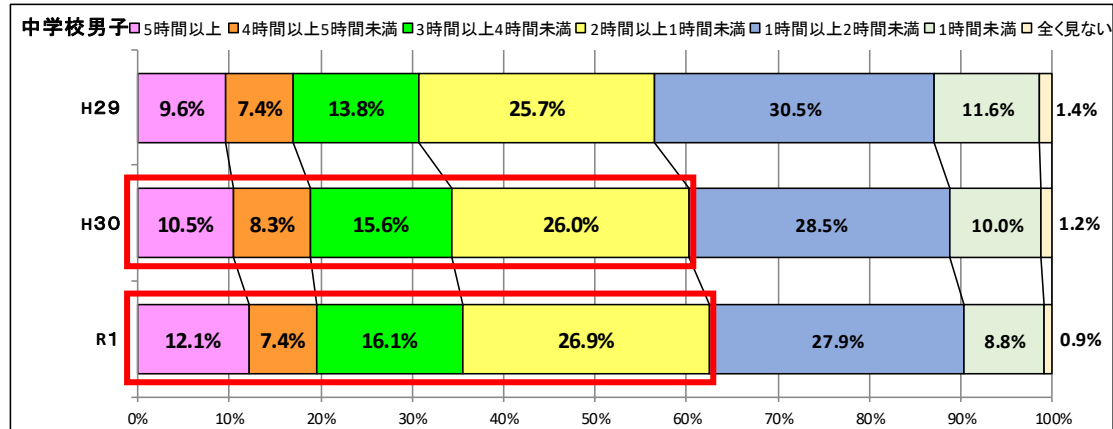
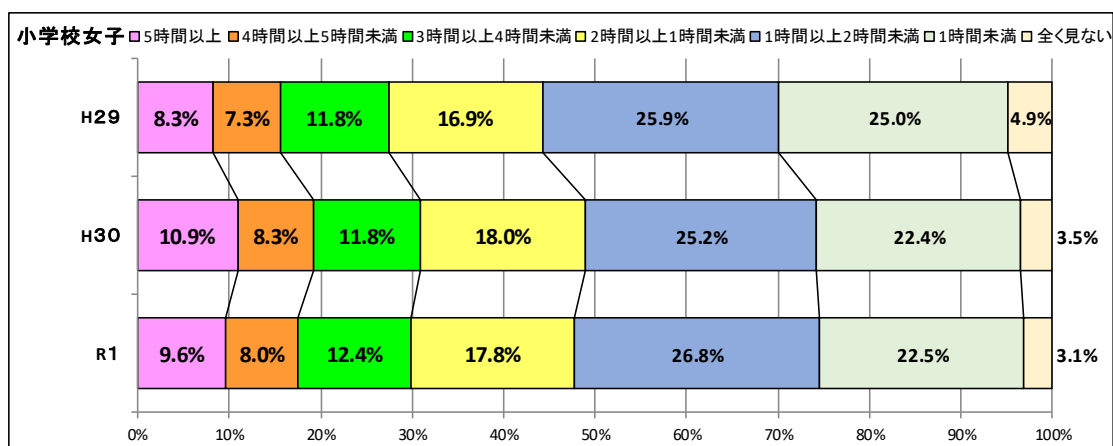
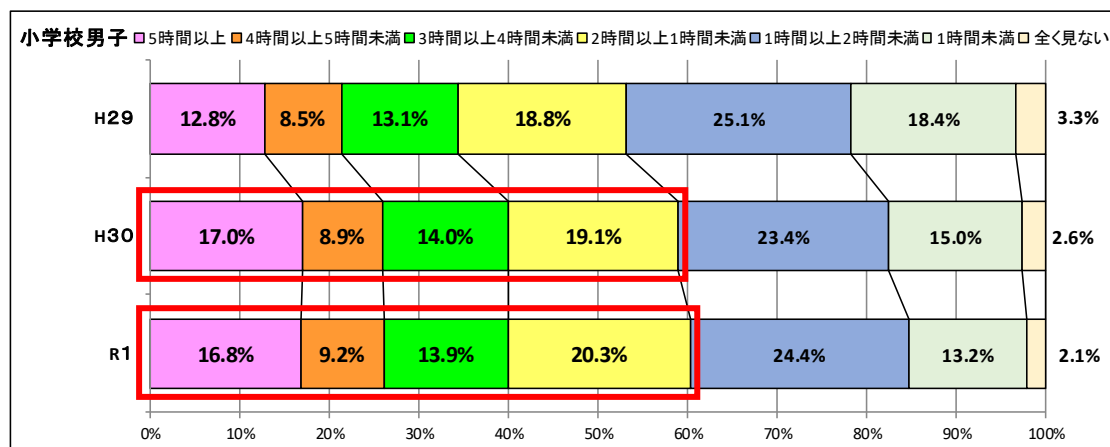
○ 1週間の総運動時間の推移



【福岡県の状況】

- 昨年度と比較すると、1週間の総運動時間「420分以上」の割合が減少していたのは、小学校男子及び中学校男女であった。

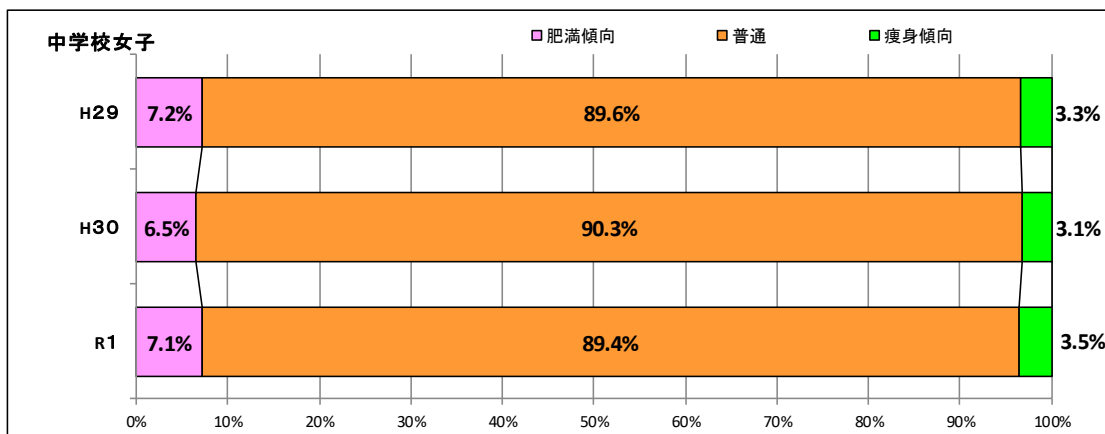
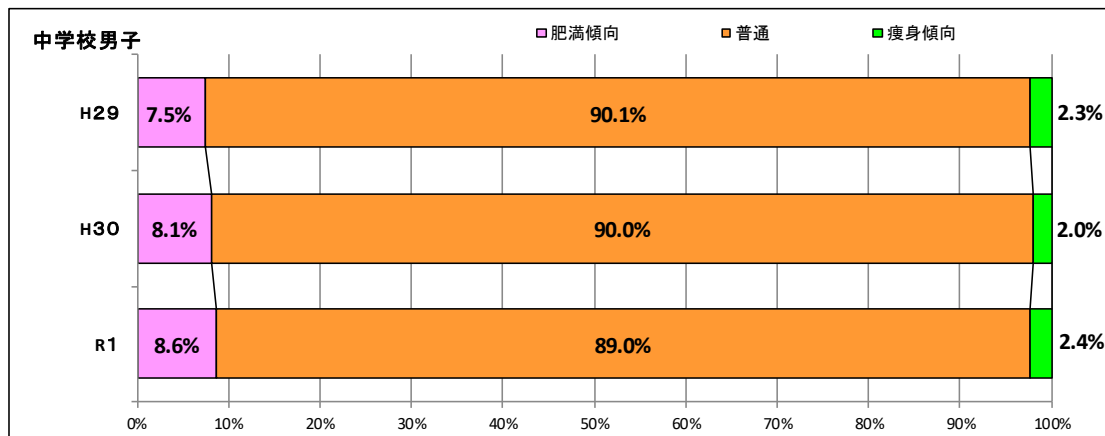
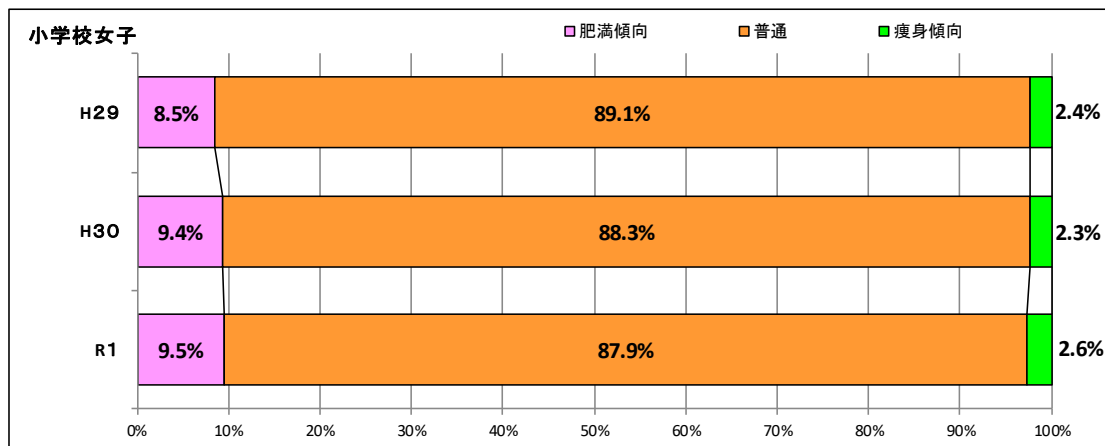
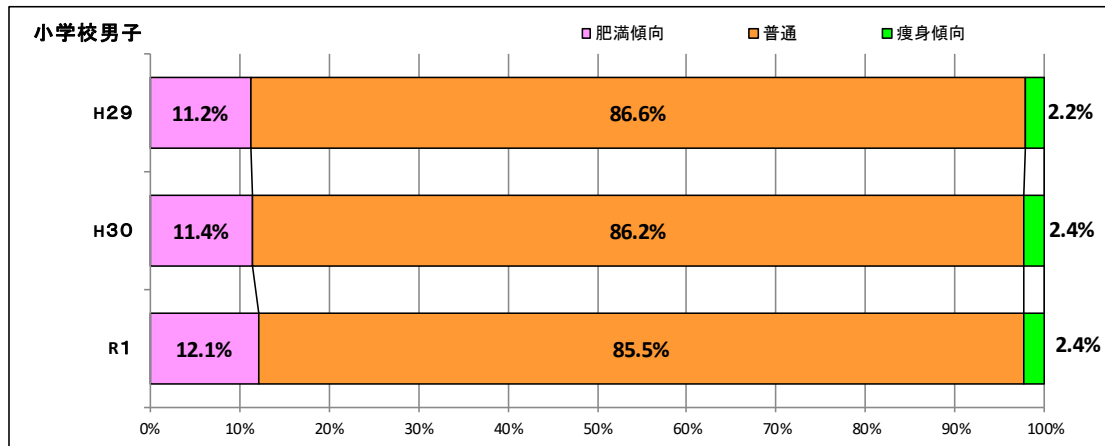
○ 1日のスクリーンタイムの推移



【福岡県の状況】

- 昨年度と比較すると、1日のスクリーンタイムが「2時間以上」の割合が増加していたのは、小学校男子及び中学校男女であった。

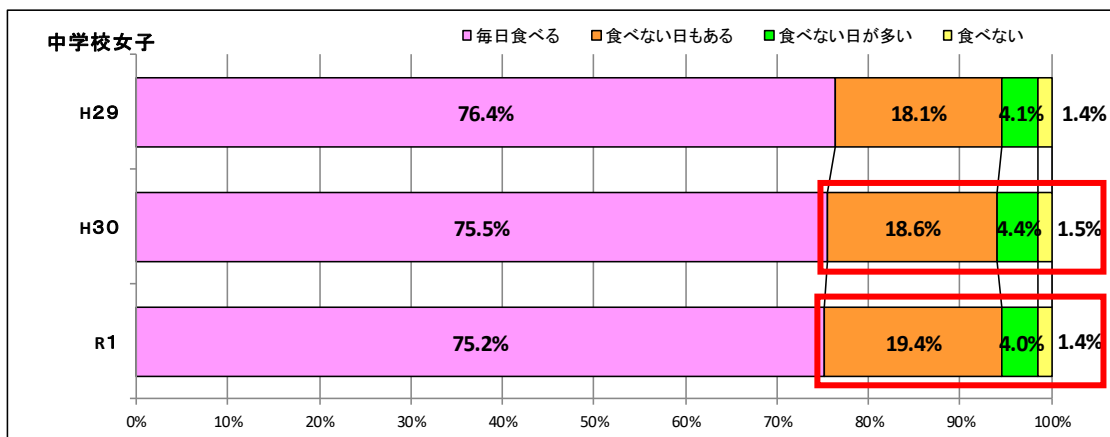
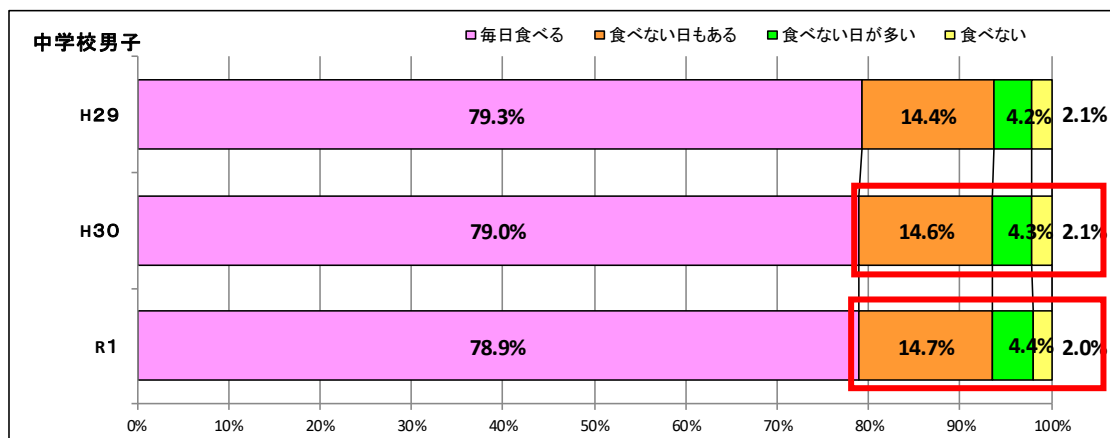
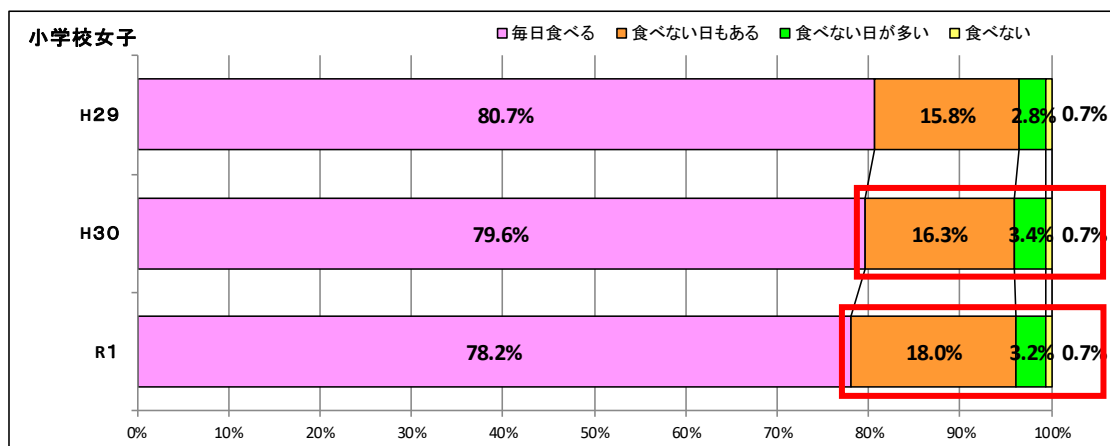
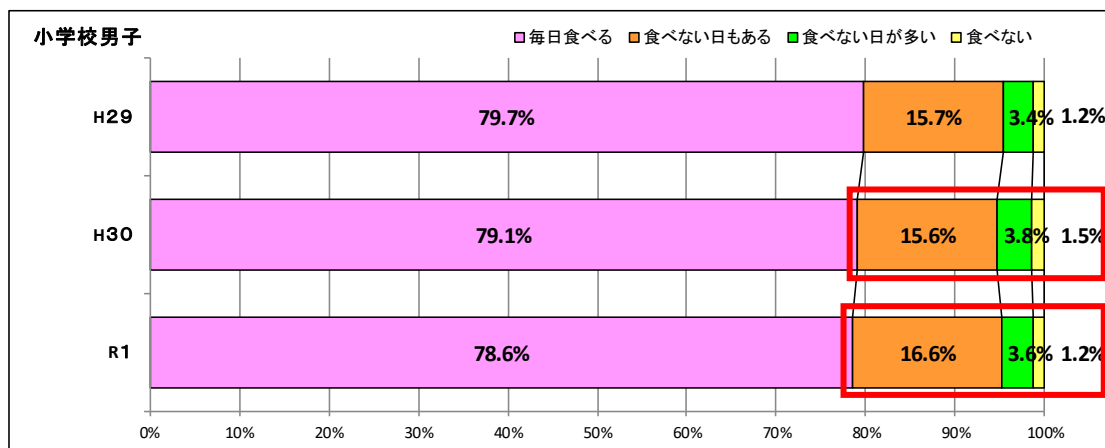
○ 肥満傾向・痩身傾向の出現率の推移



【福岡県の状況】

- 昨年度と比較すると、肥満傾向の割合が増加したのは、小中学校男女すべての区分であった。

○ 朝食を食べない児童生徒の推移



【福岡県の状況】

- 昨年度と比較すると、朝食を食べていない日がある児童生徒の割合が増加したのは、小中学校男女すべての区分であった。

V テーマ分析

「1 週間の総運動時間

60分未満の児童生徒の特徴」

- V－1 福岡県の低位群の割合の3年間の推移
- V－2 1週間の総運動時間「60分未満」の児童生徒の特徴
- V－3 1週間の総運動時間「60分未満」の児童生徒に対する体育（保健体育）授業における有効な取組



V テーマ分析「1週間の総運動時間60分未満の児童生徒の特徴」

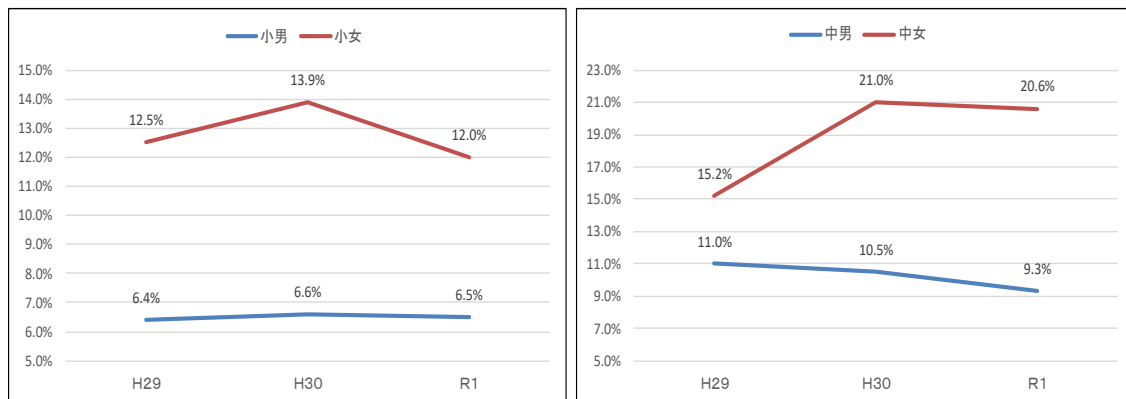
福岡県では、子供の体力向上に向けて、「運動が好きな子供」→「積極的に取り組む子供」→「体力・運動能力の向上」→「運動に自信をもつ子供」といった「好循環」を目指しています。

今年度は、運動やスポーツをすることが「嫌い・やや嫌い」、1週間の総運動時間「60分未満」、体力総合評価「DE群」といった低位群に着目し、「1週間の総運動時間60分未満の児童生徒」を切り口として、その特徴について分析しました。

なお、本年度の本報告書においては、「Ⅱ」「Ⅲ」についても、「嫌い」「60分未満」「DE群」といった低位群の結果を重点的に示しています。

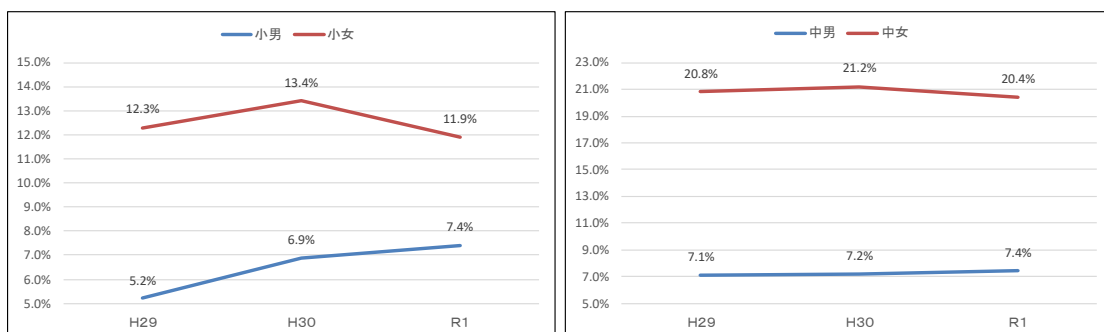
V-1 福岡県の低位群の割合の3年間の推移

〔図1〕運動やスポーツをすることが「嫌い・やや嫌い」と回答した児童生徒の割合の推移



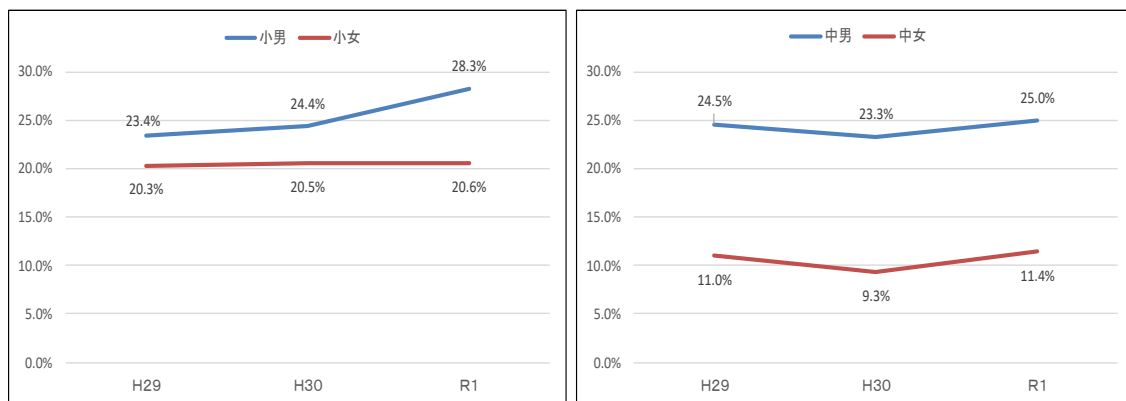
「嫌い」「やや嫌い」と回答した子供の割合は、小学校男子がほぼ横ばい、中学校男子が減少傾向であった。小中学校女子は、昨年度は増加し、今年度は減少しているが、中学校女子は20.6%と高い割合であった。

〔図2〕1週間の総運動時間「60分未満」と回答した児童生徒の割合の推移



1週間の総運動時間「60分未満」の児童生徒の割合は、小学校男子が増加傾向、中学校男女はほぼ横ばいであった。小学校女子は、今年度は減少しているものの11.9%、中学校女子は、20.4%と依然として高い割合であった。

〔図 3〕 総合評価「D＋E」の割合の推移



体力総合評価「DE群」は、昨年度と比較すると、小中学校男女すべてにおいて増加していた。小学校男子が一番高く 28.3%、続いて中学校男子が 25.0%、小学校女子が 20.6%、中学校女子が 11.4% であった。小中学校男女すべてにおいて、ここ 3 年間で一番高い割合であった。

まず始めに、低位群の割合について、本県の現状をまとめる。

運動やスポーツをすることが「嫌い・やや嫌い」と回答した児童生徒の割合については、全区分で昨年度を下回っており、改善傾向にある。しかし、中学校女子は依然として 20% を超えている。〔図 1〕

1 週間の総運動時間が「60 分未満」の割合については、小中学校女子が昨年度を下回った。しかし、中学校女子は依然として 20% を超えている。〔図 2〕

本県の体力合計点については、ここ 5 年ほど向上傾向であった。(p5) しかし、総合評価「DE群」の割合に関しては、全区分で昨年度を上回り、ここ 3 年間で一番高かった。〔図 3〕

本年度は、運動やスポーツをすることが「嫌い・やや嫌い」の割合が全区分で、1 週間の総運動時間が「60 分未満」の割合が女子において、改善の傾向が見られている。しかし、依然として中学校女子は 20% を超えている。総合評価「DE群」の割合は、小学校男女及び中学校男子が 20% を超えている。

あらためて低位群に着目すると、本県の課題の一つに、**「体力・運動能力が低い児童生徒」「運動やスポーツへの意識が低い児童生徒」「運動時間の短い児童生徒」を減らす**ことが考えられる。

これまで、県内の多くの学校において見られていた「体力を高める取組」のみでなく、「運動が嫌い」「運動習慣が定着していない」児童生徒に対して、「**運動好きにする取組**」や「**運動の習慣化を図る取組**」にシフトチェンジしていく必要がある。

今後は、各学校において「**運動やスポーツをすることが嫌い**」、**1 週間の総運動時間が「60 分未満」**、「**実技の総合評価 DE群**」の児童生徒に着目することが必要である。

次ページから、今年度の調査で、1 週間の総運動時間が「60 分未満」だった児童生徒（小男 898 名、小女 1414 名、中男 788 名、中女 2019 名）を取り出し、クロス集計を行うこととした。

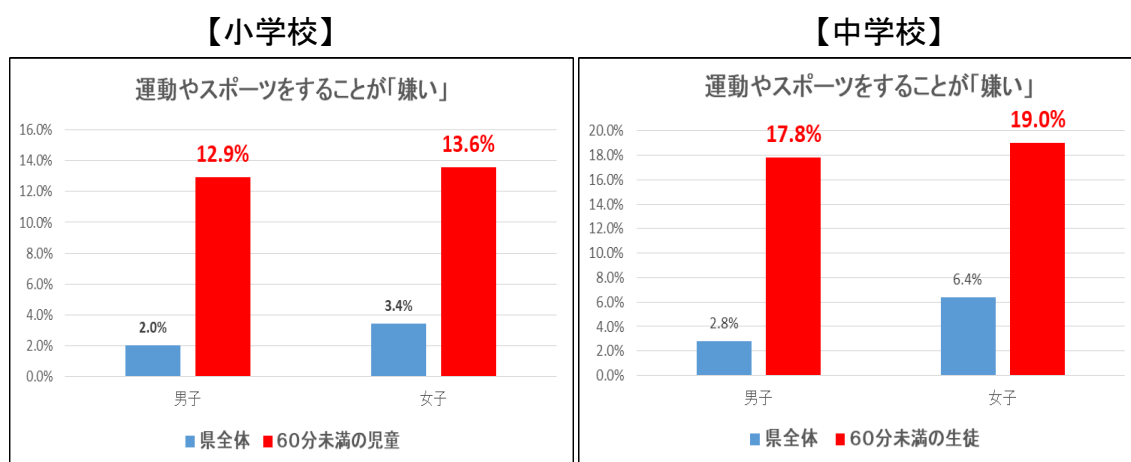
V-2 1週間の総運動時間「60分未満」の児童生徒の特徴

運動やスポーツに対する意識と1週間の総運動時間の関連性をみるため、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか（児童生徒質問1）」と「体育（保健体育）の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを合計で1日およそどれくらいの時間していますか（児童生徒質問5・6）」における「嫌い」と「60分未満」のクロス集計を行った。

「60分未満」の児童生徒は、県全体より「嫌い」と回答する割合が高かった。[図4]

運動やスポーツに対する肯定的な意識を高めることが、運動を積極的に行うことにつながることを期待できる。

[図4] 運動やスポーツをすることが「好き」とのクロス集計

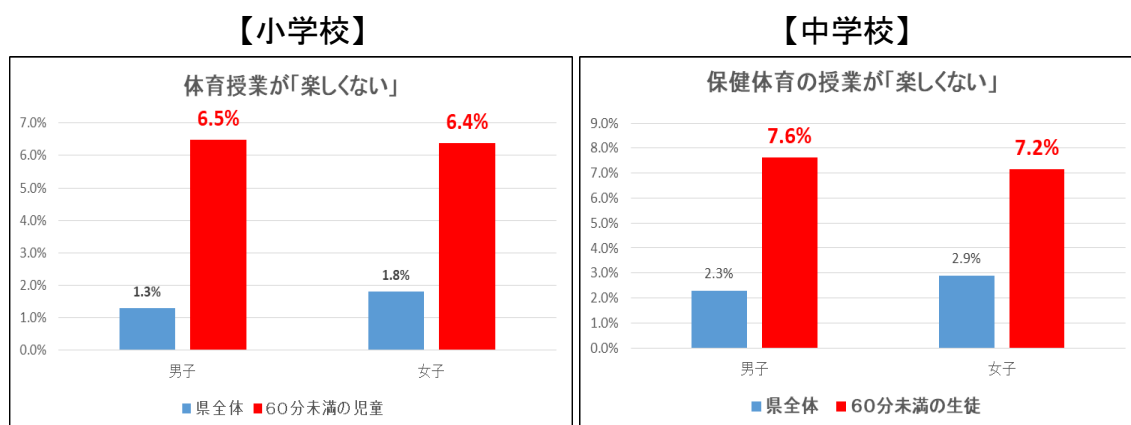


次に体育（保健体育）の授業に対する意識と1週間の総運動時間の関連性をみるため、「体育（保健体育）の授業は楽しいですか（児童生徒質問11）」と「体育（保健体育）の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを合計で1日およそどれくらいの時間していますか（児童生徒質問5・6）」における「楽しくない」と「60分未満」のクロス集計を行った。

「60分未満」の児童生徒は、県全体より「楽しくない」と回答する割合が高かった。[図5]

体育（保健体育）の授業が楽しいと感じる経験を増やすことが、運動を積極的に行うことにつながることを期待できる。

[図5] 体育授業が「楽しい」とのクロス集計

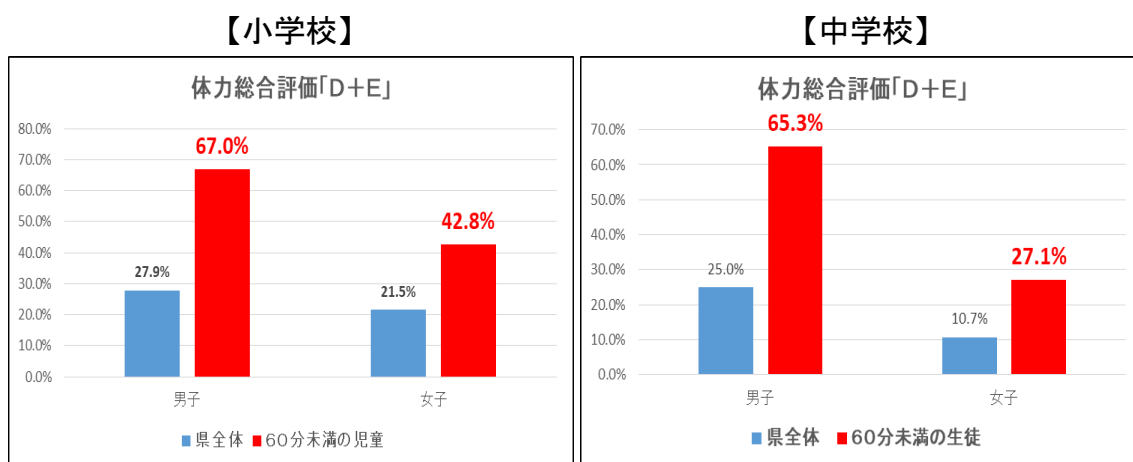


次に体力・運動能力と1週間の総運動時間の関連性をみるため、「体力合計点の総合評価（実技調査）」と「体育（保健体育）の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを合計で1日およそどれくらいの時間していますか（児童生徒質問5・6）」における「D+E群」と「60分未満」のクロス集計を行った。

「60分未満」の児童生徒は、県全体より「D+E」の割合が高かった。[図6]

運動を積極的に行っていない児童生徒は、体力・運動能力が低い傾向が見られた。

[図6] 体力総合評価とのクロス集計



以上のことから、1週間の総運動時間「60分未満」の児童生徒は、県全体に比べ、体育（保健体育）の授業が「楽しくない」と感じる傾向にあり、運動やスポーツが「嫌い」で、体力・運動能力が低い傾向が見られた。

低位群の児童生徒が、運動やスポーツに「楽しさ」を感じることができるよう、体育（保健体育）の授業において「楽しい」と感じる経験を多くすることが必要である。

さらに、体育（保健体育）の授業のみでなく、日常的に「楽しく」積極的に運動に取り組む（目安：週3日以上）ことにより、「D+E」群の体力向上につながることを期待できる。

今後は、各学校において、低位群の児童生徒に対する、楽しい体育（保健体育）の授業づくりを行うことが必要である。

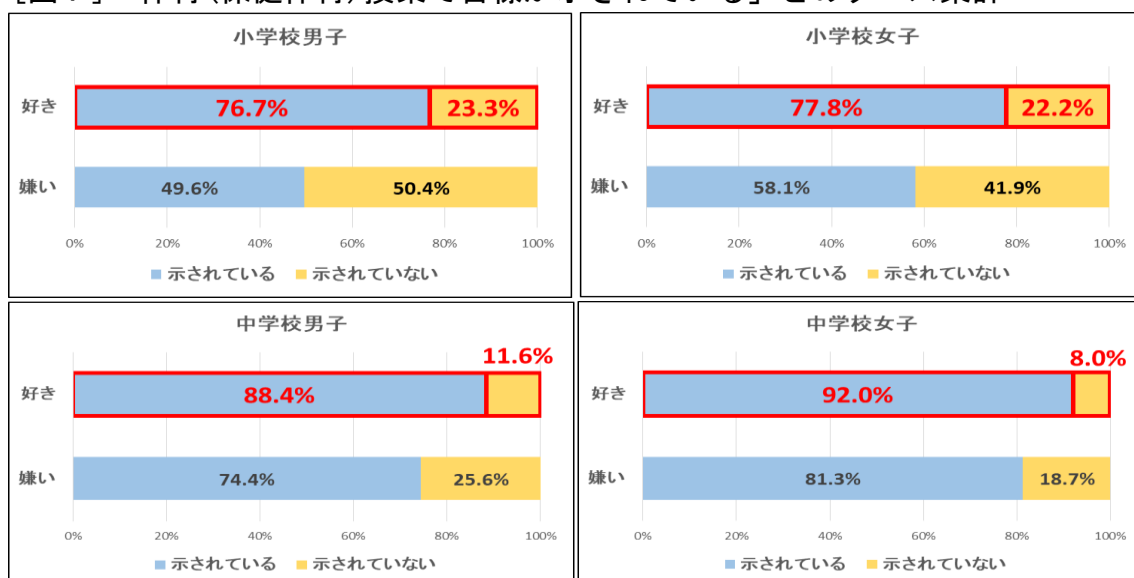
次ページ以降、1週間の総運動時間が「60分未満」だった児童生徒が、楽しいと感じる体育（保健体育）の授業の取組についてクロス集計を行う。

V-3 1週間の総運動時間「60分未満」の児童生徒に対する体育（保健体育）授業における有効な取組

ここからは、1週間の総運動時間「60分未満」と回答した児童生徒における「運動やスポーツが好き」と「授業の取組」のクロス集計を行った。

「授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されていますか（児童生徒質問13）」において、「好き」と回答した児童生徒は、目標が「示されている」場合が、「示されていない」場合に比べ、小学校男子で約3倍、小学校女子で約3.5倍、中学校男子で約7.5倍、中学校女子で約11.5倍であった。[図7]

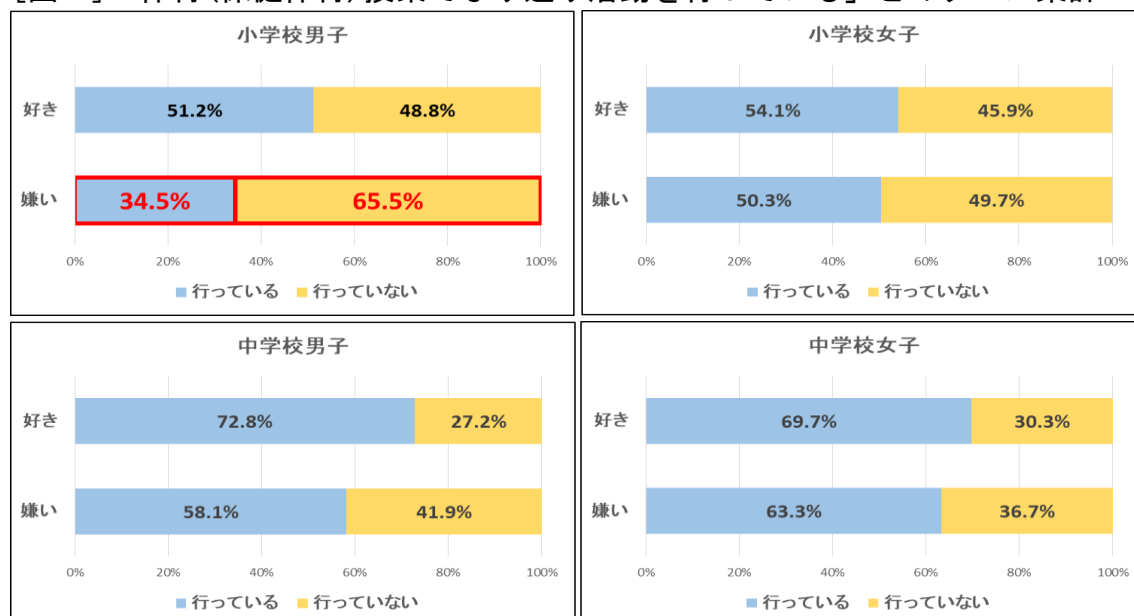
〔図7〕「体育（保健体育）授業で目標が示されている」とのクロス集計



次に、「授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っていますか（児童生徒質問14）」においては、「好き」と回答した児童生徒と「嫌い」と回答した児童生徒の傾向に、大きな差は見られなかった。

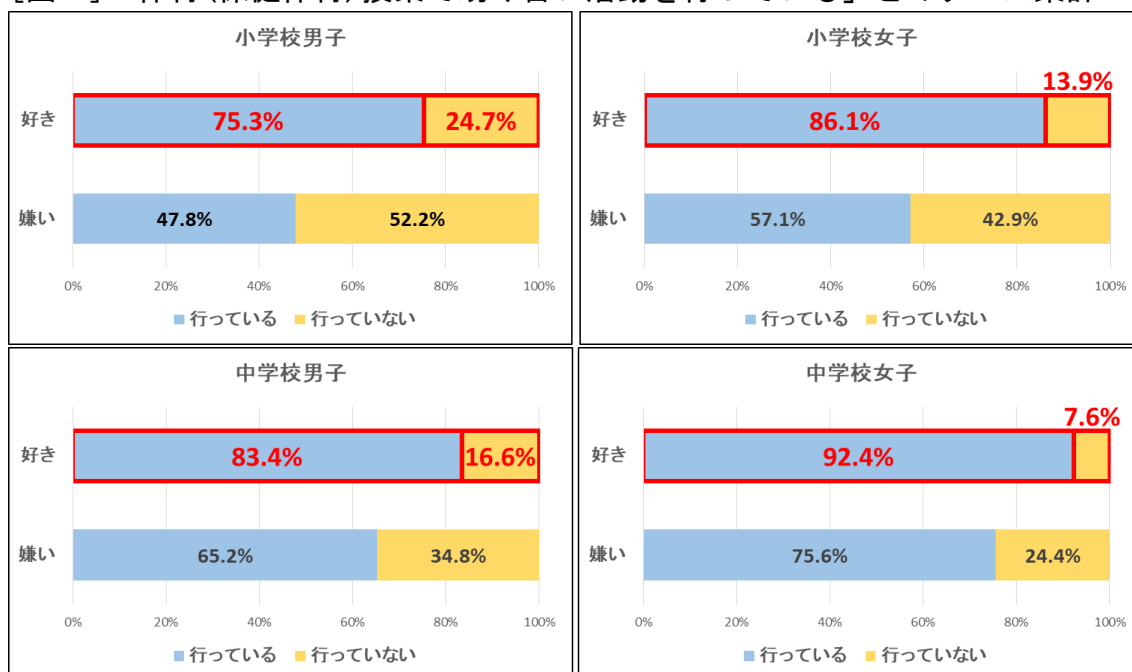
しかし、小学校男子の「嫌い」と回答した児童においては、「振り返る活動を行っていない」場合が、「行っている」場合に比べ、2倍近く多かった。[図8]

〔図8〕「体育（保健体育）授業で振り返り活動を行っている」とのクロス集計



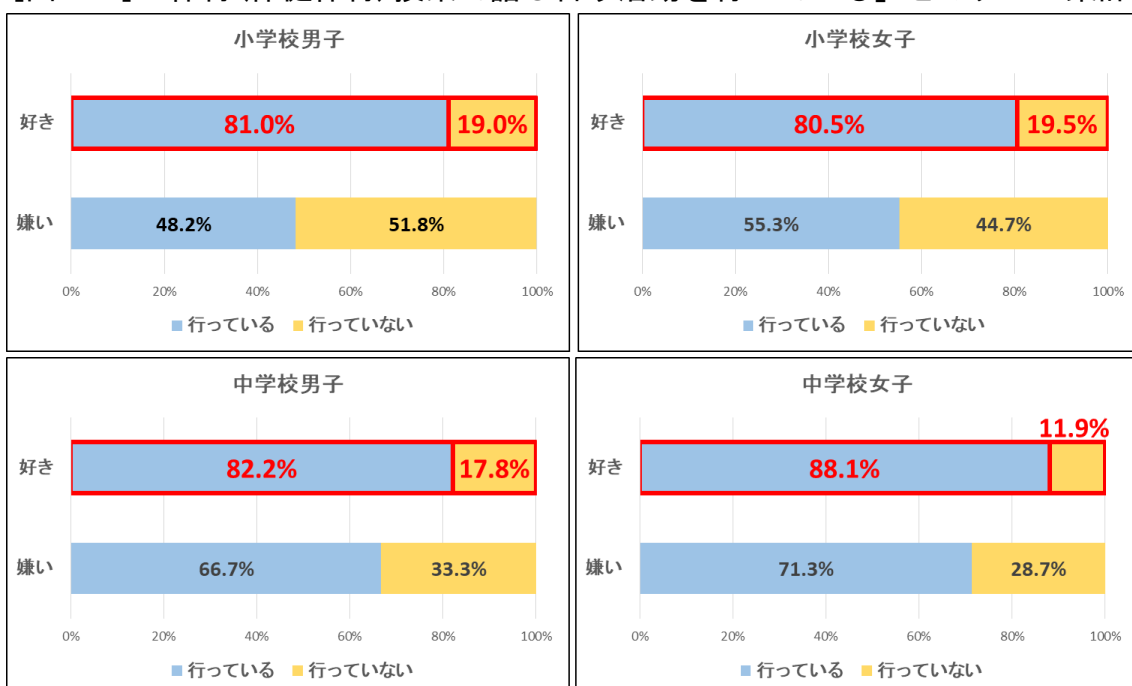
「友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか（児童生徒質問 15）」において、「好き」と回答した児童生徒は、助け合ったり役割を果たすような活動を「行っている」場合が、「行っていない」場合に比べ、小学校男子で約 3 倍、小学校女子で約 6 倍、中学校男子で約 5 倍、中学校女子で約 1.2 倍であった。[図 9]

[図 9] 「体育(保健体育)授業で助け合い活動を行っている」とのクロス集計



「友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか（児童生徒質問 16）」において、「好き」と回答した児童生徒は、話し合う活動を「行っている」場合が、「行っていない」場合に比べ、小学校男女で約 4 倍、中学校男子で約 4.5 倍、中学校女子で約 7.5 倍であった。[図 10]

[図 10] 「体育(保健体育)授業で話し合う活動を行っている」とのクロス集計



以上のことから、1週間の総運動時間「60分未満」の児童生徒において、運動やスポーツが「好き」と回答した児童生徒は、体育（保健体育）の授業で「目標設定」「ふり返り」「助け合い」「話し合い」を行っている割合が、非常に高い傾向が見られた。

運動を日常的に行っていない児童生徒において、体育（保健体育）の授業で「目標設定」「ふり返り」「助け合い」「話し合い」を行うことが、体育の授業が「楽しい」と感じる経験をし、運動「好き」につながることを期待できる。

また、「目標設定」「助け合い」「話し合い」の3項目においては同様の傾向が見られたが、「ふり返り[図8]」においては、他の3項目と違いが見られた。小学校と中学校の校種による特徴にも違いが見られた。

ふり返る活動は、子供が次の目標を設定することができるように、これまでの取組を振り返らせ、学ぶ意欲や自尊感情の高まりにつなげる活動である。

よって、感想を記入させるだけで終わらせるのではなく、プロセスと結果をつなげて評価し、自他の努力の過程や記録の向上、動きの高まり等に気付かせるなどの工夫が必要である。

また、「目標設定」「助け合い」「話し合い」についても、目的意識をもつなどの子供にとって意味のある活動になるための支援等について、更に考えていく必要がある。

Ⅵ 今後に向けて



VI 今後に向けて

ここまでの内容から、今後は、以下の二つについて重点的に取り組みましょう。

★ すべての子供

(特に、「運動が苦手な子供」や
「運動に意欲的でない子供」) **が、**

運動が好きな子供 になる

楽しい **体育・保健体育の授業**

を目指しましょう。

★ 体を動かす習慣づくりのため、

体育授業以外の **楽しい** **取組**

を行いましょう。

上記の二つを中心に

① 課題の明確化

・自校の児童生徒の実態 (**数値**) を適切に把握・分析

② 目標の設定 (**数値化**)

・分析結果を反映させた体力向上プランの作成

③ PDCAサイクルの機能化

・全教職員による組織的な取組

VI-1 楽しい「体育・保健体育の授業」について

すべての児童生徒が、運動「好き」になるよう、体育・保健体育の授業づくりのポイント「目標設定」「ふり返し」等について、具体的にイメージできるように例を示します。

はじめ

1 めあてをつくる「目標設定の活動」について

キーワードは…

自己決定 必要感
個に応じた 易しい



○目標設定活動の【例】

試しにやってみる 思いや願いを話す

易しい運動を試行し、どんなところが楽しかったか、どうするともっと楽しくなるのか話し合う



比べる

そのために必要な、写真・絵図・動画等と自分の動きを比べて、課題を見付ける



めあてをつくる

解決の見通しをもち、自己のめあてを自己決定する（発表・ノート記入など）



本時のめあて【例】

みんなが楽しめるハラハラドキドキのゲームになるように、規則（フリーシュートゾーンの位置）を考えよう。



運動嫌いにする

やらないように注意！

- ・教師が一方向的に強制的に与えた目標
- ・子供はやりたくないことを嫌々やらされている
- ・長時間の集団行動や補強運動
- ・導入の時間が長い



1 単位時間の

学習活動（例）

はじめ

1 めあてをつくる「目標設定の活動」

やりたい！

なか

2 仲間と共に課題解決に取り組む「挑む活動」

課題が解決できた！
楽しさが増した！

おわり

3 学習の成果を「振り返る活動」

やってよかった！
もっとやりたい！

おわ

3 学習の成果を「振り返る」

キーワードは…

成就感 次につな

○振り返る活動の【例】

話し合う



学習の成果について、一人で、チームで、全体でふり返る

成果を生かしてみんなでやってみよう

本時の振り返りやまとめが

頑張りをいっぱい褒

体育・保健体育の授業では、「楽しさ」、「目標」、「運動量」、「安全」、すべて大事です。1つも欠けることなく、偏りのないよう、バランスのよい授業をめざしましょう。

の展開 〈例〉

指導上の留意点

○主運動につながる準備運動を工夫する（補強運動ではなく）。
○子供の思いや願いを取り出す。

○個の課題に応じた場づくり
○ルール（規則）の工夫

○意味のある運動（質的）を十分（量的）に保証する。
○教え合いや話し合いが活性化するようにグループ編成を工夫する。

○用具の片付けを迅速に安全に行わせる（安全の手引きを参照）

っり

る活動」について

なげる



成果を発表する



てみる



がない（計画がない）

褒めましょう！

な か

2 仲間と共に課題解決に取り組む「挑む活動」について

キーワードは…



助け合い 話し合い
明確な視点 運動量

○挑む活動の【例】

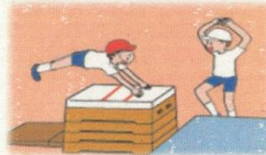


課題を解決するための視点を明確にして、仲間と助け合って運動を行う

やってみる

話し合う

視点にそって、互いにアドバイスをし合ったり、チームで話し合ったりする



★拍手やハイタッチをする等、笑顔・声・汗いっぱいの主活動にしましょう！



やらないように注意！

運動嫌いにする



- ・視点をもてず、解決に向かわず、一人で同じことを繰り返している子供を放置している
- ・主運動に取り組む時間が短い

個の課題に応じた場づくり
ルール（規則）の工夫

については、次のページへ



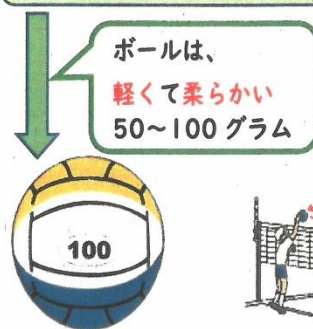
教材（「場づくり」や「ルール（規則）の工夫」）について

全ての子供が、各運動のもつ特有の楽しさを味わうことができるように！



○集団【ボール運動系（ネット型）の例】

誰もが楽しくゲームに参加できていますか？



ネットの
高さは、
少し高め
(理由)ラ
リーが続
く、触球数
も増える

人数は3人(毎回ローテーション)、
1人1回、
3回で返球、
1回目キャッチ可、
サーブは下から
(理由)ラリーが続く、必ず触球できる



○個人【陸上運動系（走り幅跳び）の例】

体力や技能の程度にかかわらず競争に勝つことができますか？

競争の仕方は、
・「目標記録との差」や「伸び」を得点化
・チーム合計点による対抗戦

一人一人の課題に応じた練習の場が用意されていますか？



※ 授業の前には、「運動をすることが好き」「体育の授業が楽しい」等の児童生徒の「意識面」についても、質問紙等を使って実態把握をしましょう。そして、授業後、同じ質問に関する回答を比較することで、授業の改善に努めていきましょう。

VI-2 体育・保健体育の授業以外の「楽しい取組」について

特に、授業以外の取組については、全教職員で共通理解を図り、組織的に進めていくことが重要です。その際、一年間を通した仮説検証サイクルの中で「体力向上プラン」を活用します。（※「令和2年度の作成及び活用について」を参照）

授業以外の取組についても、授業同様、事前に児童生徒の実態について把握・分析することが必要です。その際は、「運動に対する意識」「運動習慣」についても、具体的な数値を元に把握・分析しましょう。そして、「運動に対する意識」と「運動習慣」の両面から成果指標（具体的な数値）を設定し、その達成に向けた取組を設定しましょう。例えば、運動習慣の面から（週3日以上運動をする児童生徒の割合50%以上）を目指した取組例を以下に紹介しますので参考としてください。

【小学校】	「体育科の授業以外の取組」の取組【例】
	○体育科の授業と関連付け、休み時間の運動の場を提供する ○各学級において、児童が主体となったクラス全員で遊ぶ「みんな遊び」の企画と実施を行う ○委員会が主体となった運動の奨励(呼び掛け)や異学年交流・運動イベント(月2回)の企画と実施を行う ○体育委員会主体で、校舎内散歩や教室で椅子に座って行うストレッチ等、手軽に楽しく運動することの良さを発信する ○運動チャレンジカード(体力アップシート)を活用し、個人と学級の目標に向けて取り組む ○スポコン広場チャレンジランキングゾーンに年間を通じて取り組み、記録を随時更新し校内に掲示する ○登下校を利用した運動を促進する
【中学校】	「保健体育科の授業以外の取組」の取組【例】
	○生徒会が主体となった運動奨励や、スポーツ大会の取組を企画し、実施(每学期1回)する ○体育委員会が主体となって、帰りのホームルーム前に(毎月1週間)教室で椅子に座って行う運動を実施する ○体育委員会が主体となって、「外遊び週間」(毎月1回)を実施する ○昼休み、学年割当をして体育館・運動場を開放する ○昼休み、バドミントン用具やフリスビー、ティーボールセット等の用具の貸出をする ○体育大会等の種目と関連付け、主体的・日常的な運動種目への取組を奨励する ○登下校を利用した運動を促進する(自転車通学・10分は徒歩通学の奨励) ○保健体育科の授業と学校行事やクラスマッチ(每学期1回)とを関連付けて実施する
【高等学校】	「保健体育科の授業以外の取組」の取組【例】
	○生徒会が主体となって、勉強の合間に歩いたり教室で椅子に座って行うストレッチ等をするを紹介・励行する ○登下校を利用した運動を促進する(一駅歩き等の奨励) ○昼休み等、体育館・運動場を開放する ○昼休み等、バドミントン用具やフリスビー、ティーボールセット等の用具の貸出をする